

令和6年度

主 要 な 施 策 の 成 果 及 び
予算の執行実績に関する報告書

青 森 市

令和 6 年度青森市一般会計及び各特別会計の決算
を議会の認定に付するに当たり、地方自治法第 2 3 3
条第 5 項の規定により、主要な施策の成果及び予算の
執行の実績に関する報告書を次のとおり提出する。

令和 7 年 8 月 2 7 日

青森市長 西 秀 記

本報告書をもって、地方教育行政の組織及び運営に
関する法律第 2 6 条第 1 項に規定する教育に関する
事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に
関する報告書とし、同項の規定により、次のとおり提
出する。

令和 7 年 8 月 2 7 日

青森市教育委員会

目 次

第 1. 令和 6 年度の財政運営と決算の概要	1
第 2. 予算の執行実績等	3
1. 各会計の予算執行実績	3
2. 一般会計	4
3. 特別会計	1 9
4. 財政指標	3 3
第 3. 主要な施策の成果の説明	3 9
1. 仕事をつくる	4 0
2. 人をまもり・そだてる	5 6
3. まちをデザインする	9 1
4. 政策を実現するために	1 0 7

第 1. 令和 6 年度の財政運営と決算の概要

【令和 6 年度の予算編成】

令和 6 年度の予算編成は、財政面においては、歳入の根幹となる市税収入の大幅な伸びが期待できない状況にある中、高齢化の進展による医療・介護等の社会保障関連経費の増加や公共施設の老朽化に伴う改修・更新需要、長期化する物価高騰や政府主導による賃上げ基調等の歳出増要因により、依然として厳しい財政環境にあるという認識のもと、財源調整のための基金取崩しの抑制や投資的経費に充当する新規市債発行額の抑制に意を用いた予算編成を行いました。

また、政策面においては、「市民力+民間力 AOMORI次なる舞台へ」のスローガンの下、市民一人ひとりが力を合わせ、市民全員が参加して市政を作り上げていく市民力、そして、民間の企業や団体が力を合わせる民間力、その二つの力を集結させて、青森市を「みんなで未来を育てるまちに」するため、限られた資源を最大限に活用しながら、市長公約の「仕事をつくる」「人をまもり・そだてる」「まちをデザインする」の 3 つの柱に沿って予算編成を行いました。

【令和 6 年度一般会計予算】

令和 6 年度の一般会計当初予算は、前年度に比べて約 57 億円増（4.7%増）の約 1,286 億円を計上しました。

その後、県の交付金を活用した子ども医療費助成の対象年齢引上げ及び所得制限の撤廃や 2 歳児クラス保育料の全額公費負担などの子育て支援施策の大幅な拡充、国の補正予算に対応した小・中学校校舎改築事業、災害級の豪雪に対応するための除排雪対策事業、その他急施を要する事業などについて約 152 億円の補正を行いました。

結果、補正後の予算額は約 1,438 億円となり、これに前年度からの繰越額約 27 億円を加えた最終予算額は約 1,465 億円となりました。

【令和 6 年度一般会計決算及び財政指標】

これに対する決算額は、歳入総額が約 1,425 億 2 千万円、歳出総額が約 1,386 億 8 千万円、歳入歳出差引額は約 38 億 4 千万円となり、翌年度への繰越事業に充当する繰越財源約 1 億 9 千万円を差し引いた実質収支額、いわゆる剰余金は約 36 億 5 千万円となりました。

また、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき公表している本市の 4 つの健全化判断比率の状況は、実質赤字比率は赤字額なし（早期健全化基準値 11.25%）、連結実質赤字比率は赤字額なし（早期健全化基準値 16.25%）、実質公債費比率は 10.9%（早期健全化基準値 25.0%）、将来負担比率は 81.6%（早期健全化基準値 350.0%）となり、いずれも早期健全化基準値を下回りました。

第2. 予算の執行実績等

1. 各会計の予算執行実績

(単位：千円)

会 計 名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引額	翌年度に繰越 すべき財源	実質収支額
一 般 会 計	142,517,401	138,679,304	3,838,097	185,629	3,652,468
特 別 会 計	95,045,666	94,115,010	930,656		930,656
競 輪 事 業	30,741,677	30,722,784	18,893		18,893
国民健康保険事業	26,188,303	26,130,689	57,614		57,614
卸 売 市 場 事 業	844,155	830,503	13,652		13,652
介 護 保 険 事 業	32,550,718	31,915,028	635,690		635,690
母子父子寡婦福祉資金貸付金	177,673	107,098	70,575		70,575
後 期 高 齢 者 医 療	4,303,729	4,190,789	112,940		112,940
駐 車 場 事 業	239,411	218,119	21,292		21,292
計	237,563,067	232,794,314	4,768,753	185,629	4,583,124

2. 一般会計

(1) 令和6年度予算の推移

①歳入

(単位：千円)

款	令和6年度 当初	6月補正	9月補正	10月9日 専決	12月補正	12月補正 その2	12月補正 その3	1月補正	3月補正	3月補正 その2	合計
1 市 税	33,563,211	0	0	0	0	0	0	0	0	314,411	33,877,622
2 地 方 譲 与 税	966,792	0	0	0	0	0	0	0	0	0	966,792
3 利 子 割 交 付 金	17,310	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,310
4 配 当 割 交 付 金	83,889	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83,889
5 株式等譲渡所得割 交 付 金	83,888	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83,888
6 法人事業税交付金	506,739	0	0	0	0	0	0	0	0	0	506,739
7 地方消費税交付金	6,935,901	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,935,901
8 ゴルフ場利用税 交 付 金	20,505	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,505
9 環 境 性 能 割 交 付 金	79,888	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79,888
10 国有提供施設等 所在市助成交付金	3,080	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,080
11 地方特例交付金	1,354,450	0	0	0	34,516	0	0	0	0	0	1,388,966
12 地 方 交 付 税	28,838,627	0	△332,805	0	0	0	0	1,137,763	0	905,674	30,549,259
13 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	33,966	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33,966
14 分担金及び負担金	558,049	△79,329	0	0	316	0	0	0	△9,618	0	469,418
15 使用料及び手数料	1,499,064	15,853	0	0	0	0	0	0	△65,910	0	1,449,007
16 国 庫 支 出 金	29,430,054	8,734	174,148	0	197,141	28,515	1,412,759	787,715	82,379	0	32,121,445
17 県 支 出 金	9,161,678	430,445	33,933	98,350	119,405	18,734	0	78,500	168,454	0	10,109,499
18 財 産 収 入	295,641	0	3,625	0	0	0	0	0	△34,551	0	264,715
19 寄 附 金	858,689	0	0	0	455,133	0	0	0	379,219	0	1,693,041
20 繰 入 金	3,430,283	282,355	1,264,434	△34,788	1,121,570	699,805	0	2,318,966	△730,429	0	8,352,196
21 繰 越 金	1	0	0	0	0	0	0	0	2,946,571	0	2,946,572
22 諸 収 入	3,545,737	409,779	11,888	0	135,081	0	0	0	△754,678	0	3,347,807
23 市 債	7,356,558	58,500	48,643	0	400	0	0	0	1,037,900	0	8,502,001
歳 入 合 計	128,624,000	1,126,337	1,203,866	63,562	2,063,562	747,054	1,412,759	4,322,944	3,019,337	1,220,085	143,803,506

②歳出

(単位：千円)

款	令和6年度 当初	6月補正	9月補正	10月9日 専決	12月補正	12月補正 その2	12月補正 その3	1月補正	3月補正	3月補正 その2	合計
1 議 会 費	599,786	0	0	0	4,447	7,036	0	0	△2,504	0	608,765
2 総 務 費	12,676,672	0	17,650	63,562	1,095,261	215,411	0	430,031	△79,412	0	14,419,175
3 民 生 費	58,867,634	176,856	905,784	0	552,793	179,861	1,412,759	820,547	1,306,658	0	64,222,892
4 衛 生 費	9,093,161	670,926	191,043	0	20,166	54,752	0	44,942	647,482	0	10,722,472
5 労 働 費	30,726	0	0	0	1,472	0	0	0	389	0	32,587
6 農 林 水 産 業 費	1,526,711	0	22,228	0	45,958	15,741	0	22,606	△40,187	0	1,593,057
7 商 工 費	1,959,997	0	14,208	0	82,584	29,833	0	0	26,260	0	2,112,882
8 土 木 費	11,977,281	65,000	50,493	0	△48,054	50,290	0	3,004,818	△521,222	1,220,085	15,798,691
9 消 防 費	4,157,472	0	△56,030	0	△76,889	117,837	0	0	9,464	0	4,151,854
10 教 育 費	10,955,648	213,555	58,490	0	264,430	76,293	0	0	1,690,885	0	13,259,301
11 災 害 復 旧 費	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
12 公 債 費	15,590,260	0	0	0	48,969	0	0	0	△18,812	0	15,620,417
13 諸 支 出 金	1,088,651	0	0	0	22,425	0	0	0	336	0	1,111,412
14 予 備 費	100,000	0	0	0	50,000	0	0	0	0	0	150,000
歳 出 合 計	128,624,000	1,126,337	1,203,866	63,562	2,063,562	747,054	1,412,759	4,322,944	3,019,337	1,220,085	143,803,506

(2) 歳入歳出予算比較

①歳入

(単位：千円・%)

款	予算現額	構成比	収入済額	構成比	予算に対する増減額	執行率
1 市 税	33,877,622	23.1	33,902,827	23.8	25,205	100.1
2 地 方 譲 与 税	966,792	0.7	958,433	0.7	△ 8,359	99.1
3 利 子 割 交 付 金	17,310	0.0	15,211	0.0	△ 2,099	87.9
4 配 当 割 交 付 金	83,889	0.1	134,689	0.1	50,800	160.6
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	83,888	0.1	164,448	0.1	80,560	196.0
6 法 人 事 業 税 交 付 金	506,739	0.3	512,788	0.4	6,049	101.2
7 地 方 消 費 税 交 付 金	6,935,901	4.7	7,587,607	5.3	651,706	109.4
8 ゴルフ場利用税交付金	20,505	0.0	22,687	0.0	2,182	110.6
9 環 境 性 能 割 交 付 金	79,888	0.1	89,592	0.1	9,704	112.1
10 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 助 成 交 付 金	3,080	0.0	3,113	0.0	33	101.1
11 地 方 特 例 交 付 金	1,388,966	0.9	1,390,931	1.0	1,965	100.1
12 地 方 交 付 税	30,549,259	20.8	32,354,540	22.7	1,805,281	105.9
13 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	33,966	0.0	30,802	0.0	△ 3,164	90.7
14 分 担 金 及 び 負 担 金	469,418	0.3	453,096	0.3	△ 16,322	96.5
15 使 用 料 及 び 手 数 料	1,449,007	1.0	1,423,195	1.0	△ 25,812	98.2
16 国 庫 支 出 金	33,195,258	22.7	32,022,691	22.5	△ 1,172,567	96.5
17 県 支 出 金	10,278,451	7.0	9,763,212	6.8	△ 515,239	95.0
18 財 産 収 入	264,715	0.2	249,279	0.2	△ 15,436	94.2
19 寄 附 金	1,693,041	1.2	1,576,465	1.1	△ 116,576	93.1
20 繰 入 金	8,352,196	5.7	5,798,683	4.1	△ 2,553,513	69.4
21 繰 越 金	3,222,622	2.2	3,222,622	2.2	0	100.0
22 諸 収 入	3,347,807	2.3	3,247,389	2.3	△ 100,418	97.0
23 市 債	9,680,201	6.6	7,593,101	5.3	△ 2,087,100	78.4
合 計	146,500,521	100.0	142,517,401	100.0	△ 3,983,120	97.3

②歳出

(単位：千円・%)

款	予算現額	構成比	支出済額	構成比	差引比較	執行率
1 議 会 費	608,765	0.4	587,243	0.4	21,522	96.5
2 総 務 費	14,498,244	9.9	13,627,624	9.8	870,620	94.0
3 民 生 費	64,863,486	44.3	63,014,685	45.4	1,848,801	97.1
4 衛 生 費	10,734,274	7.3	9,807,223	7.1	927,051	91.4
5 労 働 費	32,587	0.0	30,258	0.0	2,329	92.9
6 農 林 水 産 業 費	1,636,631	1.1	1,543,103	1.1	93,528	94.3
7 商 工 費	2,112,882	1.4	2,010,226	1.5	102,656	95.1
8 土 木 費	16,306,304	11.1	14,979,792	10.8	1,326,512	91.9
9 消 防 費	4,151,854	2.8	4,151,854	3.0	0	100.0
10 教 育 費	14,744,376	10.1	12,311,096	8.9	2,433,280	83.5
11 災 害 復 旧 費	1	0.0	0	0.0	1	0.0
12 公 債 費	15,620,417	10.7	15,610,441	11.3	9,976	99.9
13 諸 支 出 金	1,111,412	0.8	1,005,759	0.7	105,653	90.5
14 予 備 費	79,288	0.1	0	0.0	79,288	0.0
合 計	146,500,521	100.0	138,679,304	100.0	7,821,217	94.7

(3) 歳入歳出決算の科目別内訳

①歳入

(単位：千円・％)

科 目	予算現額 (A)	調定額 (B)	予算現額 に対する 調定額の 割合 (B/A)	収入済額 (C)	不納欠損 額 (D)	収入未済額 (B)-(C) -(D)+(E)	予算現額に 対する増減 (C)-(A)	未還付額 (E)	収納率 (C)/(B)
1 市 税	33,877,622	35,291,155	104.2	33,902,827	87,737	1,315,082	25,205	14,491	96.1
普 通 税	33,831,455	35,236,906	104.2	33,848,578	87,737	1,315,082	17,123	14,491	96.1
目 的 税	46,167	54,249	117.5	54,249	0	0	8,082	0	100.0
2 地 方 譲 与 税	966,792	958,433	99.1	958,433	0	0	△ 8,359	0	100.0
3 利 子 割 交 付 金	17,310	15,211	87.9	15,211	0	0	△ 2,099	0	100.0
4 配 当 割 交 付 金	83,889	134,689	160.6	134,689	0	0	50,800	0	100.0
5 株式等譲渡所得割交付金	83,888	164,448	196.0	164,448	0	0	80,560	0	100.0
6 法 人 事 業 税 交 付 金	506,739	512,788	101.2	512,788	0	0	6,049	0	100.0
7 地 方 消 費 税 交 付 金	6,935,901	7,587,607	109.4	7,587,607	0	0	651,706	0	100.0
8 ゴルフ場利用税交付金	20,505	22,687	110.6	22,687	0	0	2,182	0	100.0
9 環 境 性 能 割 交 付 金	79,888	89,592	112.1	89,592	0	0	9,704	0	100.0
10 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 助 成 交 付 金	3,080	3,113	101.1	3,113	0	0	33	0	100.0
11 地 方 特 例 交 付 金	1,388,966	1,390,931	100.1	1,390,931	0	0	1,965	0	100.0
12 地 方 交 付 税	30,549,259	32,354,540	105.9	32,354,540	0	0	1,805,281	0	100.0
13 交通安全対策特別交付金	33,966	30,802	90.7	30,802	0	0	△ 3,164	0	100.0
14 分 担 金 及 び 負 担 金	469,418	518,785	110.5	453,096	3,577	62,112	△ 16,322	0	87.3
15 使 用 料 及 び 手 数 料	1,449,007	1,472,510	101.6	1,423,195	462	48,883	△ 25,812	30	96.7
使 用 料	864,882	911,532	105.4	864,363	43	47,126	△ 519	0	94.8
手 数 料	584,125	560,978	96.0	558,832	419	1,757	△ 25,293	30	99.6
16 国 庫 支 出 金	33,195,258	32,022,691	96.5	32,022,691	0	0	△ 1,172,567	0	100.0
国 庫 負 担 金	24,179,448	24,203,867	100.1	24,203,867	0	0	24,419	0	100.0
国 庫 補 助 金	8,949,642	7,755,332	86.7	7,755,332	0	0	△ 1,194,310	0	100.0
委 託 金	66,168	63,492	96.0	63,492	0	0	△ 2,676	0	100.0

(単位：千円・％)

科 目	予算現額 (A)	調定額 (B)	予算現額 に対する 調定額の 割合 (B/A)	収入済額 (C)	不納欠損 額 (D)	収入未済額 (B) - (C) - (D) + (E)	予算現額に 対する増減 (C) - (A)	未還付額 (E)	収納率 (C) / (B)
17 県 支 出 金	10,278,451	9,763,212	95.0	9,763,212	0	0	△ 515,239	0	100.0
県 負 担 金	7,980,695	7,555,724	94.7	7,555,724	0	0	△ 424,971	0	100.0
県 補 助 金	1,774,923	1,683,320	94.8	1,683,320	0	0	△ 91,603	0	100.0
委 託 金	522,833	524,168	100.3	524,168	0	0	1,335	0	100.0
18 財 産 収 入	264,715	279,523	105.6	249,279	0	30,244	△ 15,436	0	89.2
財 産 運 用 収 入	142,699	169,080	118.5	138,836	0	30,244	△ 3,863	0	82.1
財 産 売 払 収 入	122,016	110,443	90.5	110,443	0	0	△ 11,573	0	100.0
19 寄 附 金	1,693,041	1,576,465	93.1	1,576,465	0	0	△ 116,576	0	100.0
20 繰 入 金	8,352,196	5,798,683	69.4	5,798,683	0	0	△ 2,553,513	0	100.0
特 別 会 計 繰 入 金	469,849	469,849	100.0	469,849	0	0	0	0	100.0
財 産 区 繰 入 金	10,235	8,896	86.9	8,896	0	0	△ 1,339	0	100.0
基 金 繰 入 金	7,872,112	5,319,938	67.6	5,319,938	0	0	△ 2,552,174	0	100.0
21 繰 越 金	3,222,622	3,222,622	100.0	3,222,622	0	0	0	0	100.0
22 諸 収 入	3,347,807	3,810,354	113.8	3,247,389	19,786	543,208	△ 100,418	29	85.2
延滞金加算金及び過料	45,577	33,010	72.4	33,039	0	0	△ 12,538	29	100.1
市 預 金 利 子	118	4,118	3,489.8	4,118	0	0	4,000	0	100.0
公営企業貸付金元利収入	46,468	46,466	100.0	46,466	0	0	△ 2	0	100.0
貸 付 金 元 利 収 入	333,669	338,010	101.3	333,175	0	4,835	△ 494	0	98.6
受 託 事 業 収 入	181,749	178,950	98.5	178,950	0	0	△ 2,799	0	100.0
雑 入	2,740,226	3,209,800	117.1	2,651,641	19,786	538,373	△ 88,585	0	82.6
23 市 債	9,680,201	7,593,101	78.4	7,593,101	0	0	△ 2,087,100	0	100.0
歳入合計	146,500,521	144,613,942	98.7	142,517,401	111,562	1,999,529	△ 3,983,120	14,550	98.6

市税の税目別決算内訳

税 目	区 分	予算現額			調定額		
		現年度分	滞納 繰越分	計(A)	現年度分	滞納 繰越分	計(B)
1 普通税		33,552,678	278,777	33,831,455	33,952,010	1,284,896	35,236,906
市民税		14,405,450	133,852	14,539,302	14,520,590	491,590	15,012,180
固定資産税		16,026,137	135,207	16,161,344	16,332,799	758,705	17,091,504
軽自動車税		905,038	9,718	914,756	890,600	34,601	925,201
市たばこ税		2,215,716	0	2,215,716	2,207,709	0	2,207,709
鉱産税		337	0	337	312	0	312
特別土地 保有税		0	0	0	0	0	0
2 目的税		46,166	1	46,167	54,249	0	54,249
入湯税		46,166	1	46,167	54,249	0	54,249
事業所税		0	0	0	0	0	0
合 計		33,598,844	278,778	33,877,622	34,006,259	1,284,896	35,291,155

(単位：千円・%)

収入額			予算 執行率 (C)/(A)	収入割合				対前年 度比較 (決算額) (C)/(D)
現年度分	滞納 繰越分	計(C)		現年 度分	滞納 繰越分	計 (C)/(B)	前年度 決算額 (D)	
33,627,068	221,510	33,848,578	100.1	99.0	17.2	96.1	34,411,060	98.4
14,380,539	96,934	14,477,473	99.6	99.0	19.7	96.4	15,005,438	96.5
16,157,856	117,891	16,275,747	100.7	98.9	15.5	95.2	16,280,485	100.0
880,652	6,685	887,337	97.0	98.9	19.3	95.9	872,214	101.7
2,207,709	0	2,207,709	99.6	100.0	0.0	100.0	2,252,619	98.0
312	0	312	92.6	100.0	0.0	100.0	304	102.6
0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
54,249	0	54,249	117.5	100.0	0.0	100.0	46,810	115.9
54,249	0	54,249	117.5	100.0	0.0	100.0	46,727	116.1
0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	83	皆減
33,681,317	221,510	33,902,827	100.1	99.0	17.2	96.1	34,457,870	98.4

②歳出

科 目		予算現額	支出済額	執行率	市民1人当たり 支出額	1世帯当たり 支出額
		千円	千円	%	円	円
1 議会費		608,765	587,243	96.5	2,248	4,327
2 総務費		14,498,244	13,627,624	94.0	52,168	100,404
	1 総務管理費	9,806,018	9,394,617	95.8	35,963	69,216
	2 徴税費	3,579,731	3,221,729	90.0	12,333	23,737
	3 戸籍住民 基本台帳費	766,894	690,774	90.1	2,644	5,089
	4 選挙費	165,222	150,759	91.2	577	1,111
	5 統計調査費	50,276	41,412	82.4	159	305
	6 監査委員費	130,103	128,333	98.6	491	946
3 民生費		64,863,486	63,014,685	97.1	241,226	464,272
	1 社会福祉費	32,865,937	31,729,929	96.5	121,465	233,776
	2 児童福祉費	18,494,312	17,830,909	96.4	68,258	131,372
	3 生活保護費	13,473,100	13,424,803	99.6	51,391	98,910
	4 国民年金費	30,137	29,044	96.4	111	214
4 衛生費		10,734,274	9,807,223	91.4	37,543	72,256
	1 保健衛生費	6,431,789	5,695,169	88.5	21,802	41,960
	2 清掃費	3,659,175	3,551,130	97.0	13,594	26,164
	3 斎場費	517,539	446,074	86.2	1,708	3,287
	4 霊園費	125,771	114,850	91.3	440	846
5 労働費		32,587	30,258	92.9	116	223
6 農林水産業費		1,636,631	1,543,103	94.3	5,907	11,369
	1 農業費	1,334,409	1,272,124	95.3	4,870	9,373
	2 林業費	134,140	129,514	96.6	496	954
	3 水産業費	168,082	141,465	84.2	542	1,042
7 商工費		2,112,882	2,010,226	95.1	7,695	14,811

摘 要
議員定数32名、職員数17名、定例会4回、臨時会1回、常任委員会15回、特別委員会20回
広報あおもり配布回数12回（通常号12回）、世帯配布部数毎回約121,475部、交通災害共済加入者数49,585人
納税貯蓄組合40組合、組合員数1,718人
住民基本台帳人口 261,227 人、世帯数 135,728 世帯
委員数4名、職員数7名、永久選挙人名簿登録者数229,341人（7.3.1現在）
統計調査総務費23,505千円、基幹統計調査費17,907千円
委員数4名（識見を有する者2名、議会選出2名）、職員数8名
民生児童委員594人、母子・父子自立支援員2名・相談件数1,801件、身体障害者手帳交付者数10,604人、養護老人ホーム措置人員123人、老人クラブ121クラブ、愛護手帳交付者数3,194人、精神障害者保健福祉手帳交付者数4,239人
認定こども園49か所（1号認定利用人員延9,834人、2号・3号認定利用人員延37,143人）、保育所50か所（利用人員延35,970人）、幼稚園（新制度）12か所（利用人員延4,122人）、小規模保育事業所8か所（利用人員延1,415人）、児童手当受給者数延60,972人
世帯数6,467世帯、人員7,644人、保護率1,000人当たり29.25人（いずれも月平均）
高齢基礎年金受給者数84,252人
予防接種人員延103,344人、健康診査及びがん検診等受診者数延52,274人、乳幼児健康診査受診者数5,147人、健康増進センター等の運動施設利用者数延39,160人
清掃収集人口264,321人（6.10.1現在）、塵芥収集量49,782.06 t（可燃物46,569.70 t 不燃物3,212.36 t）、し尿収集人口9,777人（7.4.1現在）、し尿処理量10,313.74 k l、浄化槽汚泥処理量44,352.35 k l
人体火葬数4,226件、動物火葬数1,240件、その他99件
労働諸費8,796千円、勤労青少年ホーム費1,995千円、勤労青少年体育施設費3,395千円、働く女性の家費16,072千円
農業委員会費（農業委員定数38名、職員数14名）182,384千円、農業総務費292,242千円、農業振興費174,981千円、畜産業費49,555千円、土地改良費453,495千円、農業振興センター費119,467千円
林業総務費37,153千円、林業振興費54,490千円、造林費37,871千円
水産業総務費49,705千円、水産業振興費65,099千円、水産振興センター費26,661千円
商工総務費1,051,599千円、商工業振興費411,072千円、観光費186,415千円、観光地整備事業費351,765千円、計量検査費9,375千円

科 目		予算現額	支出済額	執行率	市民1人当たり 支出額	1世帯当たり 支出額
8 土木費		16,306,304	14,979,792	91.9	57,344	110,366
	1 土木管理費	871,796	841,093	96.5	3,220	6,197
	2 道路橋梁費	10,420,447	9,451,144	90.7	36,180	69,633
	3 港湾費	462,144	460,364	99.6	1,762	3,392
	4 都市計画費	3,959,432	3,745,952	94.6	14,340	27,599
	5 住宅費	526,600	415,504	78.9	1,591	3,061
	6 緑花費	65,885	65,735	99.8	252	484
9 消防費		4,151,854	4,151,854	100.0	15,894	30,590
10 教育費		14,744,376	12,311,096	83.5	47,128	90,704
	1 教育総務費	1,910,834	1,826,535	95.6	6,992	13,457
	2 小学校費	4,594,372	2,899,129	63.1	11,098	21,360
	3 中学校費	1,344,416	988,532	73.5	3,784	7,283
	4 公立大学費	625,776	604,729	96.6	2,315	4,455
	5 社会教育費	2,039,400	1,937,653	95.0	7,418	14,276
	6 保健体育費	4,229,578	4,054,518	95.9	15,521	29,872
11 災害復旧費		1	0	0.0	0	0
	1 公共土木施設災害復旧費	1	0	0.0	0	0
12 公債費		15,620,417	15,610,441	99.9	59,758	115,013
13 諸支出金		1,111,412	1,005,759	90.5	3,850	7,410
14 予備費		79,288	0	0.0	0	0
歳出合計		146,500,521	138,679,304	94.7	530,877	1,021,744

摘 要
土木総務費685,877千円、建築指導費155,216千円
道路橋梁総務費437,232千円、道路維持費8,199,910千円、道路新設改良費700,356千円、水路費113,646千円
港湾費460,364千円
都市計画総務費492,505千円、街路事業費399,223千円、公共下水道費2,638,019千円、公園費214,975千円、土地地区画整理事業費1,230千円
住宅総務費415,042千円、住宅建設費462千円
緑花費65,735千円
職員数490人、消防団員数1,566人、分団数40分団、広域事務組合負担金3,825,754千円、非常備消防費326,100千円
教育委員数5名、委員会開催（定例会12回、臨時会4回）、奨学資金972千円
本校42校、児童数11,363人、学級数575学級（6.5.1現在）
本校19校、生徒数6,193人、学級数255学級（6.5.1現在）
青森公立大学法人運営費交付金604,651千円、青森市地方独立行政法人評価委員会費78千円
市民センター活動等（青森地区11館、浪岡地区6館）（7.3.31現在）
医療給付16千円、医療給付人員数延2人
長期債元金償還金15,079,418千円、長期債利子償還金530,097千円、一時借入金利子償還金926千円
自動車運送事業会計支出金1,005,759千円

歳出決算の経費分解

区 分	1 議会費	2 総務費	3 民生費	4 衛生費	5 労働費	6 農林水産業費	7 商工費
1 消費的経費	587,243	13,283,805	62,591,666	8,408,108	29,783	1,388,287	2,007,080
1 人件費	506,684	5,474,907	2,445,795	1,249,987	1,309	666,298	769,578
1 議員報酬手当	223,932	0	0	0	0	0	0
2 委員等報酬	0	882,414	759,481	89,587	1,309	32,144	750
3 長等特別職給与	76,137	57,650	0	0	0	0	0
4 任期の定めのない常勤職員	108,980	2,657,317	1,306,548	902,021	0	450,415	635,042
1 給料	67,599	1,645,980	838,563	583,895	0	280,057	386,130
2 職員手当	41,381	1,011,337	467,985	318,126	0	170,358	248,912
5 任期付職員	0	7,333	0	12,623	0	0	0
1 給料	0	4,770	0	7,273	0	0	0
2 職員手当	0	2,563	0	5,350	0	0	0
6 再任用職員	0	111,194	10,980	7,709	0	5,313	2,627
1 給料	0	88,638	8,661	6,321	0	4,214	2,107
2 職員手当	0	22,556	2,319	1,388	0	1,099	520
7 会計年度任用職員（フルタイム）	8,129	35,748	11,011	32,866	0	26,945	0
1 給料	5,835	34,969	8,873	23,232	0	21,925	0
2 職員手当	2,294	779	2,138	9,634	0	5,020	0
8 共済費	88,696	607,225	305,944	194,056	0	96,855	130,714
9 退職手当	0	1,021,053	0	0	0	50,394	0
10 恩給及び退職年金	0	0	0	0	0	0	0
11 災害補償費	0	400	0	0	0	0	0
12 その他人件費	810	94,573	51,831	11,125	0	4,232	445
2 扶助費	440	2,075,880	46,280,887	149,493	0	4,815	5,585
1 生活保護費	0	0	12,702,590	0	0	0	0
2 その他扶助費	440	2,075,880	33,578,297	149,493	0	4,815	5,585
3 公債費	0	0	0	0	0	0	0
1 元利償還金	0	0	0	0	0	0	0
2 一時借入金利子	0	0	0	0	0	0	0
義務的経費計	507,124	7,550,787	48,726,682	1,399,480	1,309	671,113	775,163
4 物件費	50,538	3,594,565	1,194,550	3,573,201	20,455	195,086	523,236
1 旅費	14,542	26,313	7,097	2,838	49	1,165	7,224
2 交際費	241	1,034	0	0	0	0	0
3 需用費	11,856	382,198	81,397	477,632	1,115	34,001	11,275
4 役務費	571	203,153	122,721	27,331	147	3,675	5,020
5 委託料	21,534	2,505,547	953,147	3,028,200	19,144	141,763	455,560
6 備品購入費	0	15,084	3,127	5,890	0	3,773	2,903
7 その他物件費	1,794	461,236	27,061	31,310	0	10,709	41,254
5 維持補修費	0	7,832	29,805	26,935	2,298	21,564	13,724
6 補助費等	29,581	638,584	1,037,714	3,408,492	4,533	500,522	246,642
1 負担金・寄附金	2,204	355,145	50,796	484,771	583	33,818	133,330
2 補助及び交付金	27,350	118,414	304,167	24,954	3,845	269,151	111,500
3 その他補助費	27	165,025	682,751	2,898,767	105	197,553	1,812
7 繰出金	0	150,639	11,602,896	0	0	0	275,315
8 積立金	0	1,311,198	19	0	0	2	0
9 投資及び出資金	0	0	0	0	0	0	0
10 貸付金	0	30,200	0	0	1,188	0	173,000
11 前年度繰上充用金	0	0	0	0	0	0	0
12 予備費	0	0	0	0	0	0	0
2 投資的経費	0	343,819	423,019	1,399,115	475	154,816	3,146
13 普通建設事業費	0	343,819	423,019	1,399,115	475	154,816	3,146
1 補助事業費	0	0	223,460	3,354	0	19,005	0
2 単独事業費	0	343,819	199,559	1,395,761	475	40,243	3,146
3 国直轄事業負担金	0	0	0	0	0	911	0
4 県営事業負担金	0	0	0	0	0	94,657	0
5 同級他団体施行事業負担金	0	0	0	0	0	0	0
6 受託事業費	0	0	0	0	0	0	0
14 災害復旧事業費	0	0	0	0	0	0	0
15 失業対策事業費	0	0	0	0	0	0	0
歳出合計	587,243	13,627,624	63,014,685	9,807,223	30,258	1,543,103	2,010,226
構成比(%)	0.4	9.8	45.4	7.1	0.0	1.1	1.5

(単位：千円・%)

8 土木費	9 消防費	10 教育費	11 災害 復旧費	12 公債費	13 諸支出金	14 予備費	合 計	構成比
12,943,015	4,151,854	10,380,713	0	15,610,441	1,005,759	0	132,387,754	95.5
1,431,119	0	2,505,345	0	0	0	0	15,051,022	10.8
0	0	0	0	0	0	0	223,932	0.2
15,991	0	294,127	0	0	0	0	2,075,803	1.5
0	0	10,720	0	0	0	0	144,507	0.1
1,099,335	0	1,710,158	0	0	0	0	8,869,816	6.4
681,744	0	1,103,518	0	0	0	0	5,587,486	4.0
417,591	0	606,640	0	0	0	0	3,282,330	2.4
0	0	58	0	0	0	0	20,014	0.0
0	0	0	0	0	0	0	12,043	0.0
0	0	58	0	0	0	0	7,971	0.0
22,400	0	14,142	0	0	0	0	174,365	0.1
17,935	0	11,327	0	0	0	0	139,203	0.1
4,465	0	2,815	0	0	0	0	35,162	0.0
52,830	0	14,878	0	0	0	0	182,407	0.1
38,990	0	11,149	0	0	0	0	144,973	0.1
13,840	0	3,729	0	0	0	0	37,434	0.0
232,143	0	389,099	0	0	0	0	2,044,732	1.5
0	0	53,408	0	0	0	0	1,124,855	0.8
0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
0	0	0	0	0	0	0	400	0.0
8,420	0	18,755	0	0	0	0	190,191	0.1
14,430	0	180,340	0	0	0	0	48,711,870	35.1
0	0	0	0	0	0	0	12,702,590	9.1
14,430	0	180,340	0	0	0	0	36,009,280	26.0
0	0	0	0	15,610,441	0	0	15,610,441	11.3
0	0	0	0	15,609,515	0	0	15,609,515	11.3
0	0	0	0	926	0	0	926	0.0
1,445,549	0	2,685,685	0	15,610,441	0	0	79,373,333	57.2
833,214	0	5,758,694	0	0	0	0	15,743,539	11.4
5,405	0	9,068	0	0	0	0	73,701	0.1
0	0	90	0	0	0	0	1,365	0.0
58,100	0	2,703,885	0	0	0	0	3,761,459	2.7
4,162	0	76,339	0	0	0	0	443,119	0.3
708,653	0	2,502,410	0	0	0	0	10,335,958	7.5
10,033	0	170,939	0	0	0	0	211,749	0.1
46,861	0	295,963	0	0	0	0	916,188	0.7
7,928,922	0	179,423	0	0	0	0	8,210,503	5.9
2,735,330	4,151,854	888,682	0	0	1,005,759	0	14,647,693	10.6
36,143	4,151,854	133,487	0	0	0	0	5,382,131	3.9
49,424	0	197,057	0	0	0	0	1,105,862	0.8
2,649,763	0	558,138	0	0	1,005,759	0	8,159,700	5.9
0	0	0	0	0	0	0	12,028,850	8.7
0	0	867,257	0	0	0	0	2,178,476	1.6
0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
0	0	972	0	0	0	0	205,360	0.1
0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
2,036,777	0	1,930,383	0	0	0	0	6,291,550	4.5
2,036,777	0	1,930,383	0	0	0	0	6,291,550	4.5
1,219,977	0	768,429	0	0	0	0	2,234,225	1.6
362,450	0	1,161,954	0	0	0	0	3,507,407	2.5
397,500	0	0	0	0	0	0	398,411	0.3
56,850	0	0	0	0	0	0	151,507	0.1
0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
14,979,792	4,151,854	12,311,096	0	15,610,441	1,005,759	0	138,679,304	100.0
10.8	3.0	8.9	0.0	11.3	0.7	0.0	100.0	

(4)地方債の令和6年度末における現在高

(単位：千円)

区 分	5年度末 現 在 高	6 年 度 発 行 額	6 年 度 償 還 額	6 年 度 末 現 在 高
1 公 共 事 業 等	17,444,761	887,300	892,370	17,439,691
2 公 営 住 宅 建 設 事 業	3,898,947	13,500	296,864	3,615,583
3 災 害 復 旧 事 業	113,862	400	23,914	90,348
4 全 国 防 災 事 業	230,599	0	19,309	211,290
5 教 育 ・ 福 祉 施 設 等 整 備 事 業	17,387,553	3,498,800	3,632,651	17,253,702
(1) 学 校 教 育 施 設 等 整 備 事 業	10,371,141	937,600	780,303	10,528,438
(2) 社 会 福 祉 施 設 整 備 事 業	897,311	215,500	281,902	830,909
(3) 一 般 廃 棄 物 処 理 事 業	4,845,754	2,345,700	2,402,695	4,788,759
(4) 一 般 補 助 施 設 整 備 等 事 業	1,141,582	0	149,501	992,081
(5) 施 設 整 備 事 業 (一 般 財 源 化 分)	131,765	0	18,250	113,515
6 一 般 単 独 事 業	28,808,791	2,461,300	5,452,546	25,817,545
(1) 一 般 事 業	6,797,431	843,400	1,096,462	6,544,369
(2) 地 域 活 性 化 事 業	572,445	92,700	55,812	609,333
(3) 防 災 対 策 事 業	268,027	7,700	63,309	212,418
(4) 地 方 道 路 等 整 備 事 業	8,562,564	262,900	1,548,611	7,276,853
(5) 旧 合 併 特 例 事 業	9,953,259	781,900	2,106,857	8,628,302
(6) 緊 急 防 災 ・ 減 災 事 業	1,027,672	90,500	141,673	976,499
(7) 公 共 施 設 等 適 正 管 理 推 進 事 業	906,196	125,600	90,813	940,983
(8) そ の 他	721,197	256,600	349,009	628,788
7 臨 時 財 政 対 策 債	46,852,480	672,001	4,130,508	43,393,973
8 退 職 手 当 債	737,385	0	251,610	485,775
9 国 の 予 算 等 貸 付 金 債	397,535	0	34,783	362,752
10 減 収 補 て ん 債	2,326,000	1,800	285,324	2,042,476
11 そ の 他	1,607,783	58,000	59,539	1,606,244
合 計	119,805,696	7,593,101	15,079,418	112,319,379

3. 特別会計

(1) 競輪事業特別会計

(歳 入)

(単位：千円・%)

科 目	予 算 現 額				収入済額	予算現額と 収入済額と の 比 較	執行率
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源 充 当 額	計			
1 競輪事業収入	26,234,910	3,279,996	0	29,514,906	29,514,906	0	100.0
2 繰 入 金	176,382	△ 112,487	0	63,895	63,895	0	100.0
3 繰 越 金	1	53,910	0	53,911	53,911	0	100.0
4 諸 収 入	1,139,652	△ 17,700	0	1,121,952	1,108,965	△ 12,987	98.8
歳 入 合 計	27,550,945	3,203,719	0	30,754,664	30,741,677	△ 12,987	100.0

(歳 出)

(単位：千円・%)

科 目	予 算 現 額					支出済額	予算現額と 支出済額と の 比 較	執行率
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計			
1 競 輪 事 業 費	26,863,774	2,946,216	0	58,433	29,868,423	29,857,225	11,198	100.0
2 諸 支 出 金	465,345	1,135	0	0	466,480	465,884	596	99.9
3 基 金 積 立 金	147,826	256,368	0	0	404,194	399,675	4,519	98.9
4 予 備 費	74,000	0	0	△ 58,433	15,567	0	15,567	0.0
歳 出 合 計	27,550,945	3,203,719	0	0	30,754,664	30,722,784	31,880	99.9

○競輪事業収支の状況

競 輪 開 催 に よ る 収 支								
収 入				支 出				差引利益 (イ)-(ロ) (ハ)
車券発売 収 入	入 場 料	そ の 他	計 (イ)	払 戻 金	J K A 委託料 J K A 交付金	そ の 他 開催経費	計 (ロ)	
円 29,513,287,000	円 1,619,250	円 0	円 29,514,906,250	円 22,134,965,250	円 880,333,169	円 6,755,007,113	円 29,770,305,532	円 △ 255,399,282

上 記 以 外 の 収 支 (経 常 費)					
収 入 (ニ)	支 出 (ホ)	差 引 (ニ)-(ホ) (ヘ)	翌年度に繰越す べき財源(ト)	純 利 益 (ハ)+(ヘ)- (ト)	純 利 益
円 1,226,770,282	円 952,478,049	円 274,292,233	円 0	円 18,892,951 (次年度へ繰越)	円 440,000,000 (一般会計繰出金)

○令和6年度青森競輪成績総括表

回 期	開催期間	日 数	入場者数（人）					
			本場	前売ＳＣ	藤崎場外	合計	本場	前売ＳＣ
1	4/25 ～ 4/27 5/20 ～ 5/22	6	0	0	0	0	0	0
2	5/11 ～ 5/13 6/1 ～ 6/3	6	388	1,333	1,065	2,786	445,700	822,500
3	6/10 ～ 6/12 7/10 ～ 7/12	6	0	0	0	0	0	0
4	6/19 ～ 6/21 7/16 ～ 7/18	6	1,594	2,071	3,459	7,124	19,024,200	4,341,300
5	6/26 ～ 6/28 8/19 ～ 8/21	6	141	959	834	1,934	314,300	1,253,700
6	7/4 ～ 7/6 7/26 ～ 7/28	6	2,590	2,541	3,880	9,011	14,201,100	3,548,400
7	7/31 ～ 8/2 9/15 ～ 9/17	6	0	0	0	0	0	0
8	8/13 ～ 8/15 8/30 ～ 9/1	6	2,103	3,122	4,627	9,852	17,864,600	4,484,100
9	8/24 ～ 8/26 9/4 ～ 9/6	6	274	1,246	954	2,474	585,000	909,200
10	9/26 ～ 9/29	4	6,925	2,119	2,601	11,645	68,920,700	12,323,900
11	10/15 ～ 10/17 10/23 ～ 10/25	6	1,450	2,119	3,702	7,271	11,143,300	3,991,000
12	10/28 ～ 10/30 11/4 ～ 11/6	6	273	1,112	978	2,363	590,300	1,243,500
13	9/9 ～ 9/11	3	0	0	0	0	0	0
14	10/3 ～ 10/5	3	0	0	0	0	0	0
合 計		76	15,738	16,622	22,100	54,460	133,089,200	32,917,600

車券売上金額（円）			1日平均 売上高（円）	備 考
藤崎場外	電話投票	合計		
0	229,110,200	229,110,200 (1,851,373,600)	38,185,000	ミッドナイト競輪（ ）外数は5場 外車券売場売上、重勝式車券売上
1,584,900	108,452,300	111,305,400 (1,155,618,200)	18,550,900	モーニング競輪（ ）外数は8場外 車券売場売上、重勝式車券売上
0	284,198,100	284,198,100 (2,599,621,300)	47,366,300	ミッドナイト競輪（ ）外数は5場 外車券売場売上、重勝式車券売上
9,721,100	328,073,400	361,160,000 (1,850,660,300)	60,193,300	ナイター競輪（ ）外数は81場外 車券売場売上、重勝式車券売上
2,134,000	108,907,500	112,609,500 (988,700,500)	18,768,200	モーニング競輪（ ）外数は7場外 車券売場売上、重勝式車券売上
10,715,100	168,715,600	197,180,200 (1,601,945,400)	32,863,300	()外数は96場外車券売場売上、 重勝式車券売上
0	206,785,300	206,785,300 (2,143,008,300)	34,464,200	ミッドナイト競輪（ ）外数は5場 外車券売場売上、重勝式車券売上
12,363,500	358,383,300	393,095,500 (2,592,926,100)	65,515,900	後節はナイター競輪（ ）外数は 108場外車券売場売上、重勝式車券 売上
1,714,500	87,469,000	90,677,700 (985,152,800)	15,112,900	モーニング競輪（ ）外数は15場 外車券売場売上、重勝式車券売上
27,673,800	716,009,000	824,927,400 (4,385,867,900)	206,231,800	開設74周年みちのく記念競輪 ()外数は109場外車券売場売上、 重勝式車券売上
9,870,900	412,503,300	437,508,500 (2,507,874,800)	72,918,000	ナイター競輪（ ）外数は85場外 車券売場売上、重勝式車券売上
1,777,200	104,804,100	108,415,100 (997,721,300)	18,069,100	モーニング競輪（ ）外数は11場 外車券売場売上、重勝式車券売上
0	118,481,100	118,481,100 (1,187,518,300)	39,493,700	ミッドナイト競輪（ ）外数は4場 外車券売場売上、重勝式車券売上
0	102,152,000	102,152,000 (1,087,692,200)	34,050,600	ミッドナイト競輪（ ）外数は5場 外車券売場売上、重勝式車券売上
77,555,000	3,334,044,200	3,577,606,000 (25,935,681,000)	47,073,700	
	6年度総売上	29,513,287,000		

(2) 国民健康保険事業特別会計

(歳 入)

(単位：千円・%)

科 目	予 算 現 額					収入済額	予算現額と 収入済額と の 比 較	執 行 率
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源 充 当 額		計			
1 国民健康保険税	4,157,487	126,685	0		4,284,172	4,296,562	12,390	100.3
2 使用料及び 手数料	2,305	0	0		2,305	1,981	△ 324	85.9
3 国庫支出金	151	35,402	0		35,553	35,553	0	100.0
4 県 支 出 金	18,562,094	1,088,959	0		19,651,053	19,031,292	△ 619,761	96.8
5 財 産 収 入	554	0	0		554	432	△ 122	78.0
6 繰 入 金	2,864,340	△ 132,847	0		2,731,493	2,644,494	△ 86,999	96.8
7 繰 越 金	1	83,423	0		83,424	83,424	0	100.0
8 諸 収 入	59,790	34,343	0		94,133	94,565	432	100.5
歳 入 合 計	25,646,722	1,235,965	0		26,882,687	26,188,303	△ 694,384	97.4

(歳 出)

(単位：千円・%)

科 目	予 算 現 額					支出済額	予算現額と 支出済額と の 比 較	執 行 率
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び 流用増減	計			
1 総 務 費	430,664	25,434	0	14,422	470,520	443,112	27,408	94.2
2 保 険 給 付 費	18,002,980	1,089,216	0	47	19,092,243	18,442,499	649,744	96.6
3 国民健康保険 事業費納付金	6,824,529	0	0	0	6,824,529	6,824,528	1	100.0
4 保 健 事 業 費	311,857	7,191	0	0	319,048	290,302	28,746	91.0
5 基 金 積 立 金	554	41,713	0	0	42,267	42,145	122	99.7
6 諸 支 出 金	22,118	72,411	0	0	94,529	88,103	6,426	93.2
7 予 備 費	54,020	0	0	△ 14,469	39,551	0	39,551	0.0
歳 出 合 計	25,646,722	1,235,965	0	0	26,882,687	26,130,689	751,998	97.2

○国民健康保険関係

(1) 国民健康保険加入世帯数・被保険者数

○年度末（令和7年3月末）

世帯数 (世帯)	総人口 (人)	国民健康保険加入世帯数		被保険者数	
		世帯数 (世帯)	加入率 (%)	被保険者数 (人)	加入率 (%)
135,728	261,227	34,312	25.28	48,303	18.49

○年間平均

区分	国保加入世帯数 (世帯)	被保険者数 (人)		
		合計	うち 一般被保険者	うち 退職被保険者
令和6年3月末時点	35,831	51,137	51,137	0
令和6年4月末時点	36,263	51,824	51,824	0
令和6年5月末時点	36,111	51,489	51,489	0
令和6年6月末時点	35,975	51,200	51,200	0
令和6年7月末時点	35,673	50,695	50,695	0
令和6年8月末時点	35,489	50,380	50,380	0
令和6年9月末時点	35,354	50,079	50,079	0
令和6年10月末時点	35,023	49,530	49,530	0
令和6年11月末時点	34,862	49,229	49,229	0
令和6年12月末時点	34,726	49,056	49,056	0
令和7年1月末時点	34,568	48,814	48,814	0
令和7年2月末時点	34,477	48,634	48,634	0
年間平均	35,363	50,172	50,172	0

(2) 国民健康保険税

○収入実績

区分	調定額 (円)	収入額 (円)	未還付額 (円)	収納率(未還付除く) (%)	1世帯当たり調定額 (円)	1人当たり調定額 (円)
現年分	4,341,664,300	4,028,794,364	13,103,783	92.49	122,774	86,536
滞納繰越分	1,732,808,259	267,767,543	55,280	15.45		
合計	6,074,472,559	4,296,561,907	13,159,063	70.51		

○国民健康保険税率

区分	所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	賦課限度額 (円)
医療分	9.71%	20,040	24,720	650,000
後期高齢者 支援金分	2.46%	6,360	7,680	240,000
介護納付金分	2.74%	9,260	4,540	170,000

(3) 保険給付

○療養諸費（費用額）

区分	療養の給付			療養費等		合計
	件数 (件)	日数 (日)	費用額 (円)	件数 (件)	費用額 (円)	費用額 (円)
一般被保険者	918,876	1,000,825	21,143,714,877	7,629	86,170,766	21,229,885,643
退職被保険者	0	0	0	0	0	0
合計	918,876	1,000,825	21,143,714,877	7,629	86,170,766	21,229,885,643

区分	療養の給付			療養費等		合計
	1件当たり (円)	1日当たり (円)	1人当たり (円)	1件当たり (円)	1人当たり (円)	1人当たり (円)
一般被保険者	23,010	21,126	421,425	11,295	1,718	423,142
退職被保険者	-	-	-	-	-	-
合計	23,010	21,126	421,425	11,295	1,718	423,142

○療養諸費（保険者負担額）

区分	療養の給付 (円)	療養費等 (円)	合計 (円)	加入者1人当たり (円)
一般被保険者	15,554,333,159	62,720,862	15,617,054,021	311,270
退職被保険者	0	0	0	-
合計	15,554,333,159	62,720,862	15,617,054,021	311,270

○その他保険給付費

区分		件数 (件)	給付費 (円)	1件当たり (円)
高額療養費	一般被保険者	41,659	2,591,868,517	62,216
	退職被保険者	0	0	0
高額介護合算療養費	一般被保険者	60	963,916	16,065
	退職被保険者	0	0	0
出産育児費		85	44,387,832	522,210
葬祭費		458	22,900,000	50,000

(4) 保健事業費

区分	件数 (件)	助成額 (円)	1件当たり (円)
人間ドック	1,141	40,416,395	35,422
脳ドック	178	3,240,315	18,204
がん検診	8,716	4,658,080	534
若年健康診査	299	1,662,870	5,561

(3) 卸売市場事業特別会計

(歳 入)

(単位：千円・%)

科 目	予 算 現 額				収入済額	予算現額と 収入済額と の 比 較	執行率
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源 充 当 額	計			
1 使用料及び 手数料	374,319	206	0	374,525	373,872	△ 653	99.8
2 繰 入 金	267,938	7,377	0	275,315	275,315	0	100.0
3 繰 越 金	1	12,408	60	12,469	12,469	0	100.0
4 諸 収 入	151,133	0	0	151,133	148,799	△ 2,334	98.5
5 市 債	21,400	6,500	6,100	34,000	33,700	△ 300	99.1
歳 入 合 計	814,791	26,491	6,160	847,442	844,155	△ 3,287	99.6

(歳 出)

(単位：千円・%)

科 目	予 算 現 額				支出済額	予算現額と 支出済額と の 比 較	執行率
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	計			
1 卸 売 市 場 事 業 費	437,766	26,491	6,160	470,417	453,581	16,836	96.4
2 公 債 費	377,025	0	0	377,025	376,922	103	100.0
歳 出 合 計	814,791	26,491	6,160	847,442	830,503	16,939	98.0

○取扱高実績表

(1) 青果部

(単位：kg・円)

品 目	数 量	金 額
野菜	44,106,593	9,125,536,934
果実	8,903,583	3,686,739,410
加工品・その他	63,075	53,761,614
鳥卵	69,058	23,761,836
計	53,142,309	12,889,799,794

(2) 水産物部

(単位：kg・円)

品 目	数 量	金 額
鮮魚	7,866,747	8,351,432,845
冷凍品	2,963,165	3,924,294,046
塩干加工品	3,357,710	5,311,098,116
計	14,187,622	17,586,825,007

(3) 花き部

(単位：本・鉢・円)

品 目	数 量	金 額
切り花	6,552,150	604,091,825
枝物	178,061	20,823,622
鉢物	50,341	38,260,383
その他	153,160	14,263,148
計	6,933,712	677,438,978

(4) 介護保険事業特別会計

(歳 入)

(単位：千円・%)

科 目	予 算 現 額				収入済額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較	執 行 率
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源 充 当 額	計			
1 保 険 料	6,100,430	0	0	6,100,430	6,247,496	147,066	102.4
2 使用料及び 手数料	539	0	0	539	469	△ 70	87.0
3 国庫支出金	7,777,862	21,607	0	7,799,469	7,900,929	101,460	101.3
4 支 払 基 金 交 付 金	8,218,846	22,256	0	8,241,102	8,191,916	△ 49,186	99.4
5 県 支 出 金	4,197,892	10,552	0	4,208,444	4,384,953	176,509	104.2
6 繰 入 金	5,125,448	638,771	0	5,764,219	5,682,331	△ 81,888	98.6
7 繰 越 金	1	139,282	0	139,283	139,283	0	100.0
8 諸 収 入	2,041	0	0	2,041	2,301	260	112.7
9 財 産 収 入	1,082	0	0	1,082	1,040	△ 42	96.1
歳 入 合 計	31,424,141	832,468	0	32,256,609	32,550,718	294,109	100.9

(歳 出)

(単位：千円・%)

科 目	予 算 現 額				支出済額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較	執 行 率
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	計			
1 総 務 費	547,809	22,764	0	570,573	530,205	40,368	92.9
2 保険給付費	29,646,570	69,092	0	29,715,662	29,456,050	259,612	99.1
3 地 域 支 援 事 業 費	1,219,846	14,627	0	1,234,473	1,193,515	40,958	96.7
4 基金積立金	1,082	69,642	0	70,724	70,681	43	99.9
5 諸 支 出 金	8,834	656,343	0	665,177	664,577	600	99.9
歳 出 合 計	31,424,141	832,468	0	32,256,609	31,915,028	341,581	98.9

○介護保険関係

(1) 年度末における第1号被保険者(65歳以上の方)のいる世帯数と被保険者数

◆世帯数

(単位: 世帯・%)

総世帯数	第1号被保険者のいる世帯数	構成比
135,728	64,870	47.79

◆被保険者数

(単位: 人・%)

総人口	第1号被保険者	65歳以上 75歳未満	75歳以上	構成比	第2号被保険者 (40歳以上 65歳未満)
261,227	87,911	39,546	48,365	33.65	93,085

(2) 年度末における要介護認定者数

(単位: 人・%)

区 分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
要介護認定者数	2,066	1,833	3,592	3,751	2,296	2,246	1,871	17,655
第1号被保険者数	2,060	1,813	3,532	3,666	2,249	2,192	1,818	17,330
第2号被保険者数	6	20	60	85	47	54	53	325
構成比	11.70	10.38	20.35	21.25	13.00	12.72	10.60	100.00

(3) 介護サービス給付実績

保険給付費合計 29,456,050 千円

(単位: 人・件・千円)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
① 居宅サービス								
年間利用者数	5,972	9,134	34,072	35,436	18,702	15,530	14,375	133,221
年間給付額	125,868	248,382	2,394,898	3,380,073	2,888,629	3,203,892	3,903,168	16,144,910
1人当たり給付額	21	27	70	95	154	206	272	121
(居宅サービス計画費) ※給付費は居宅サービスのうち居宅サービス計画費分の再掲								
延べ件数	5,646	8,792	32,636	32,786	16,274	13,221	12,421	121,776
年間給付額	25,881	40,007	494,531	497,483	301,020	248,183	231,606	1,838,711
(福祉用具購入費の支給) ※給付費は居宅サービスのうち福祉用具購入費分の再掲								
利用件数	65	98	219	211	109	123	51	876
年間給付額	1,964	2,839	6,817	7,437	3,625	4,155	1,764	28,601
1件当たり給付額	30	29	31	35	33	34	35	33
(住宅改修費の支給) ※給付費は居宅サービスのうち住宅改修費分の再掲								
利用件数	122	105	213	177	82	84	18	801
年間給付額	8,920	9,157	14,348	11,591	5,073	4,950	1,076	55,115
1件当たり給付額	73	87	67	65	62	59	60	69

② 地域密着型サービス									
	年間利用者数	67	78	7,810	9,829	6,970	5,536	3,640	33,930
	年間給付額	2,963	9,663	755,542	1,455,744	1,377,692	1,229,932	849,891	5,681,427
	1人当たり給付額	44	124	97	148	198	222	233	167
③ 施設サービス		介護老人福祉施設		介護老人保健施設		介護療養型医療施設		介護医療院	
	平均入所者数	848		856		0		94	
	年間給付額	2,815,714		2,935,181		198		381,751	
	1人当たり給付額	3,320		3,429		0		4,061	
④ その他		高額介護サービス		高額医療合算介護サービス		特定入所者介護サービス		審査支払手数料	
	件数	63,171		2,602		36,774		449,064	
	年間給付額	874,383		70,823		519,779		31,884	

(4) 第1号被保険者介護保険料収納状況 (単位：千円・%)

区分		調定額	収入済額	未還付額	収納率 (未還付除く)
介護保険料		6,327,254	6,247,496	7,793	98.62
現年度分 特別徴収保険料		5,623,182	5,630,323	7,141	100.00
現年度分 普通徴収保険料		628,091	598,417	560	95.19
滞納繰越分 普通徴収保険料		75,981	18,756	92	24.56

(5) 母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計

(歳 入)

(単位：千円・%)

科 目	予 算 現 額				収入済額	予 算 現 額 と 収 入 済 比 較	執 行 率
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源 充 当 額	計			
1 繰 入 金	3,571	351	0	3,922	2,683	△ 1,239	68.4
2 繰 越 金	89,037	28,153	0	117,190	117,190	0	100.0
3 諸 収 入	53,382	0	0	53,382	57,800	4,418	108.3
歳 入 合 計	145,990	28,504	0	174,494	177,673	3,179	101.8

(歳 出)

(単位：千円・%)

科 目	予 算 現 額				支出済額	予 算 現 額 と 支 出 済 比 較	執 行 率
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	計			
1 母子父子寡婦 福祉資金貸付費	56,953	28,504	0	85,457	18,062	67,395	21.1
2 諸 支 出 金	89,037	0	0	89,037	89,036	1	100.0
歳 出 合 計	145,990	28,504	0	174,494	107,098	67,396	61.4

○母子父子寡婦福祉資金貸付

母子家庭、父子家庭及び寡婦の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図るため、各種資金の貸付を行っています。

貸付実績

・修学資金	14名	11,369千円
・就学支度資金	6名	2,335千円

(6) 後期高齢者医療特別会計

(歳 入)

(単位：千円・%)

科 目	予 算 現 額					収入済額	予算現額と 収入済額と の 比 較	執 行 率
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源 充 当 額		計			
1 後期高齢者 医療保険料	2,784,932	167,696	0		2,952,628	3,063,346	110,718	103.7
2 使用料及び 手数料	381	0	0		381	389	8	102.1
3 繰 入 金	1,192,281	△ 58,566	0		1,133,715	1,130,725	△ 2,990	99.7
4 繰 越 金	1	92,820	0		92,821	92,820	△ 1	100.0
5 諸 収 入	5,097	12,210	0		17,307	16,449	△ 858	95.0
歳 入 合 計	3,982,692	214,160	0		4,196,852	4,303,729	106,877	102.5

(歳 出)

(単位：千円・%)

科 目	予 算 現 額					支出済額	予算現額と 支出済額と の 比 較	執 行 率
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び 繰越増減	計			
1 総 務 費	80,419	△ 903	0	0	79,516	76,536	2,980	96.3
2 後期高齢者医療 広域連合納付金	3,898,263	214,534	0	0	4,112,797	4,110,207	2,590	99.9
3 諸 支 出 金	4,010	529	0	0	4,539	4,046	493	89.1
歳 出 合 計	3,982,692	214,160	0	0	4,196,852	4,190,789	6,063	99.9

○後期高齢者医療関係

(1) 後期高齢者被保険者数

区分	被保険者数 (人)	うち75歳以上 (人)	うち障害認定者数 [65歳～74歳] (人)
令和6年3月末時点	45,367	43,832	1,535
令和6年4月末時点	45,504	43,980	1,524
令和6年5月末時点	45,589	44,081	1,508
令和6年6月末時点	45,747	44,250	1,497
令和6年7月末時点	45,916	44,425	1,491
令和6年8月末時点	46,066	44,582	1,484
令和6年9月末時点	46,228	44,757	1,471
令和6年10月末時点	46,464	45,005	1,459
令和6年11月末時点	46,608	45,156	1,452
令和6年12月末時点	46,639	45,208	1,431
令和7年1月末時点	46,665	45,242	1,423
令和7年2月末時点	46,748	45,345	1,403
年間平均	46,128	44,655	1,473

(2) 後期高齢者医療保険料

○収入実績

区分	調定額 (円)	収入額 (円)	未還付額 (円)	収納率(未還付除く) (%)	1人当たり調定額 (円)
現年分	3,071,894,300	3,051,704,158	4,325,560	99.20	66,595
滞納繰越分	34,317,450	11,641,482	3,400	33.91	
合計	3,106,211,750	3,063,345,640	4,328,960	98.48	

○後期高齢者医療保険料率

所得割 (%)	均等割 (円)	賦課限度額 (円)
9.90	46,800	800,000

(3) 保健事業費

区分	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
後期高齢者 健康診査	43,316	15,275	35.26
後期高齢者 歯科口腔健診	43,316	2,623	6.06

区分	受診件数 (件)	助成額 (円)	1件当たり (円)
人間ドック	626	22,668,237	36,211
脳ドック	152	2,550,801	16,782

(7) 駐車場事業特別会計

(歳 入)

(単位：千円・%)

科 目	予 算 現 額					収入済額	予算現額と 収入済額と の 比 較	執 行 率
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源 充 当 額		計			
1 使用料及び 手数料	76,439	0	0		76,439	71,418	△ 5,021	93.4
2 繰 入 金	150,639	0	0		150,639	150,639	0	100.0
3 繰 越 金	1	16,721	0		16,722	16,722	0	100.0
4 諸 収 入	0	0	0		0	632	632	-
歳 入 合 計	227,079	16,721	0		243,800	239,411	△ 4,389	98.2

(歳 出)

(単位：千円・%)

科 目	予 算 現 額					支出済額	予算現額と 支出済額と の 比 較	執 行 率
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び 流用増減	計			
1 駐 車 場 費	215,383	368	0	736	216,487	211,424	5,063	97.7
2 公 債 費	6,696	0	0	0	6,696	6,695	1	100.0
3 予 備 費	5,000	16,353	0	△ 736	20,617	0	20,617	0.0
歳 出 合 計	227,079	16,721	0	0	243,800	218,119	25,681	89.5

○駐車場事業特別会計

道路交通の円滑化を図り、もって公衆の利便に資するとともに、都市機能の維持及び商店街振興等に寄与することを目的として駐車場の整備を進めてまいりました。

	駐車場名	供用開始年月日	階層	使用面積(㎡)	収容台数(台)	総事業費(千円)
1	青森市文化会館地下駐車場	S57.11.3	地下1階	3,675	114	810,000
2	青森市役所庁舎前駐車場	S63.6.1	地上	1,194	93	51,930
3	青森駅前公園地下駐車場	H元.4.1	地下1階	3,860	96	1,171,846
4	アウガ駐車場	H13.1.22	地上9階	16,461	522	1,714,736
5	青森市民ホール地下駐車場	H19.4.1	地下1階	2,043	34	194,144

4. 財政指標

(1) 財政指標

財政の健全化に関する財政指標

平成19年6月に公布された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」は、地方公共団体の財政破綻を未然に防止するため、地方公共団体の財政の健全化を判断する指標を定めるとともに、破綻状態の「財政再生団体」とその一手手前の「早期健全化団体」となる数値基準を設定し、北海道夕張市のように財政が破綻してしまう前にできるだけ早期に財政健全化を把握し、改善に着手する制度です。これらの指標は、公表を義務付けることで地方自治体の財政状況のチェック意識の向上が図られます。

旧制度

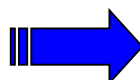
地方財政再建促進特別措置法

◆赤字団体の申し出により財政再建計画を策定

赤字比率5%以上の県、20%以上の市町村は、法に基づく財政再建を行わなければ建設地方債を発行できない。

【課題】

- ・分かりやすい財政情報の公開等が不十分。
- ・再建団体の基準しかなく早期是正機能がない。
- ・普通会計を中心とした収支のみの指標で、ストック(負債等)の財政状況に課題があっても対象とならない。
- ・公営企業にも早期是正機能がない。



現行制度

財政の健全化に関する法律

①指標整備と情報開示の徹底

- ・フロー指標:実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率
- ・ストック指標:将来負担比率(公社、三セク等を含めた実質的負債による指標)
- ・監査委員の審査に付し議会に報告し、公表

②自主的な改善努力による財政健全化

- ・財政健全化計画の策定
- ・実施状況を毎年度議会に報告し、公表
- ・早期健全化が著しく困難と認められるときは総務大臣又は知事が勧告

③国等の関与による確実な再生

- ・財政再生計画の策定
- ・財政運営が計画に適合しないと認められる場合等においては、予算の変更等を勧告

【財政指標における各種基準】

	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	都道府県:3.75% 市町村:11.25~15%	都道府県:5% 市町村:20%
連結実質赤字比率	都道府県:8.75% 市町村:16.25~20%	都道府県:15% 市町村:30% (注)
実質公債費比率	25% (都道府県・市町村)	35% (都道府県・市町村)
将来負担比率	都道府県・政令市:400% 市町村:350%	—
公営企業における資金不足比率	20%	—

※市町村の基準値については各団体の財政規模に応じて算出する。

注)経過基準引き上げ(市町村 平成21~22年度:40% 平成23年度:35% 平成24年度以降30%)

**財政指標の公表は平成19年度決算から実施
計画策定の義務付けは平成20年度決算から適用**

【令和6年度青森市の決算における財政健全化に関する財政指標】

(単位: %)					
	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率 (※2)
令和6年度 算定値	-	-	10.9	81.6	5.9
	※1(Δ5.17)	※1(Δ11.05)			13.5
(参考) 令和5年度	-	-	11.3	79.7	6.9
	※1(Δ8.73)	※1(Δ16.54)			3.7
早期健全化基準値	11.25	16.25	25.0	350.0	20.0
財政再生基準値	20.00	30.00	35.0		

※1 :「実質赤字額」及び「連結実質赤字額」がない場合は「-」となる。()書きは実質収支比率を負の値で表記したもの。

※2 :「資金不足比率」は上段が自動車運送事業会計、下段が病院事業会計における比率である。
(その他の会計においては資金不足は発生していない。)

【実質赤字比率】

一般会計等における実質収支は3,625,302千円の黒字となり、実質赤字額は生じていません。

【連結実質赤字比率】

全会計のうち病院事業会計においては1,232,541千円、自動車運送事業会計においては118,599千円の資金不足(赤字)が生じたものの、全体では7,749,292千円の黒字となったため、連結ベースでの実質赤字額は生じていません。

【実質公債費比率】

地方債の発行を抑制してきたことに伴う元利償還金の減少等により、実質公債費比率は前年度に比べ0.4ポイント改善の10.9%となりました。

【将来負担比率】

地方債の発行を抑制してきたことに伴う地方債残高の減少等はみられるものの、充当可能基金の減少等により、将来負担比率は前年度に比べ1.9ポイント上昇の81.6%となりました。

【資金不足比率】

自動車運送事業会計においては、営業収益の増加等により資金不足比率は前年度に比べ1.0ポイント改善の5.9%となりました。また、病院事業会計においては、国庫補助金の減少、職員人件費の増加等により前年度に比べ9.8ポイント上昇の13.5%となりました。

財政指標の概要

◆実質赤字比率(フロー指標)

- ・一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する割合
- ・実質赤字比率(額)が大きいほど財政状況が悪化しています。

◆連結実質赤字比率(フロー指標)

- ・全会計(一般会計等、公営事業会計、公営企業会計)を対象とした連結ベースの実質赤字の標準財政規模に対する割合
- ・実質赤字額がある会計が多いほど財政状況が悪化しています。

◆実質公債費比率(フロー指標)

- ・一般会計等が負担する元利償還金と準元利償還金の標準財政規模に対する割合(3カ年平均)
- ・毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰出金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額に充当された一般財源の割合を表しています。

◆将来負担比率(ストック指標)

- ・一般会計等が将来負担すべき実質的な負債(公債費、退職手当、損失補償している公社、第三セクター等の負債など)から充当可能な基金や交付税措置額等を差し引いたものの標準財政規模等に対する割合(実質公債費比率を負債のストック面に置き直したもの)
- ・比率が大きいほど、一般会計等が抱える負債が大きいことを表します。

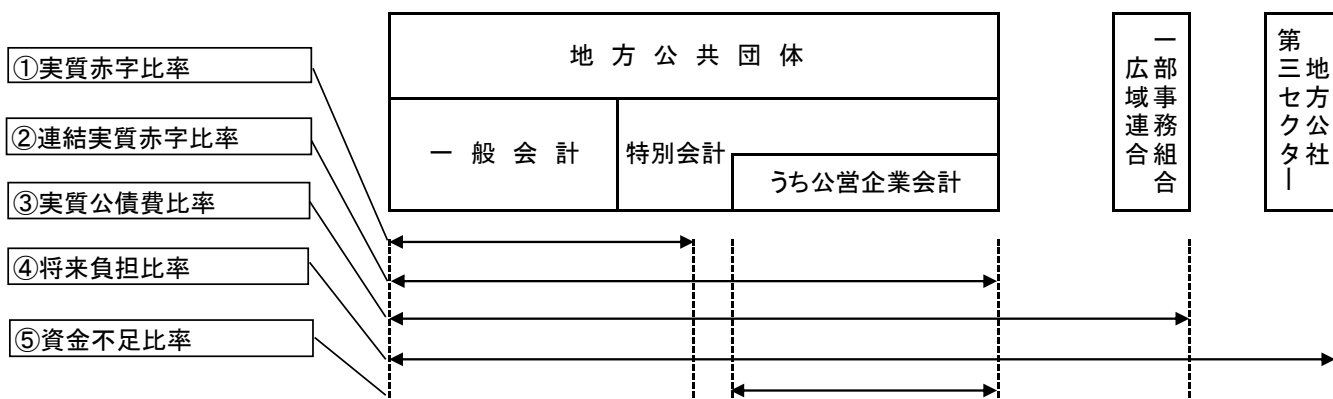
◆資金不足比率(フロー指標)

- ・公営企業会計における各会計ごとの資金不足額(一般会計等の実質赤字に相当するもの)の事業規模に対する割合
- ・比率が大きいほど経営状況が悪化しています。

※「標準財政規模」

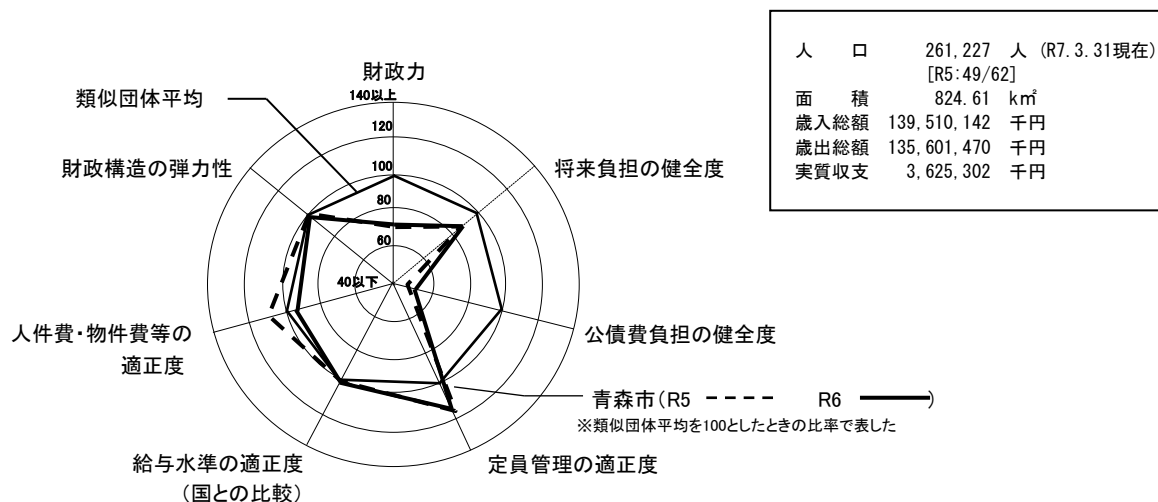
・・・地方公共団体が通常水準の行政活動を行う上で必要な一般財源の総量

健全化判断比率等の対象



(2) 令和6年度普通会計決算統計調査による財政比較分析表

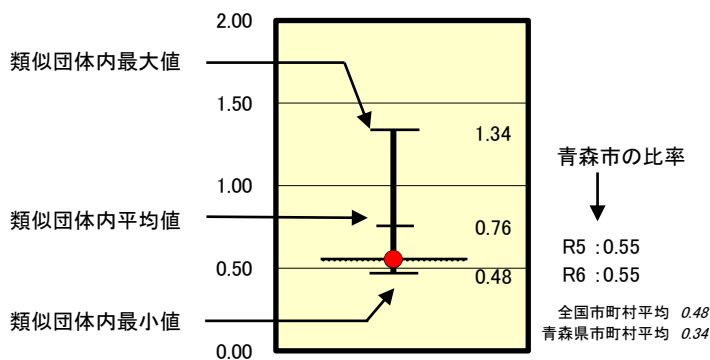
※ 類似団体は、中核市の令和5年度決算による。[出典:都市要覧 中核市市長会]



財政力

財政力指数

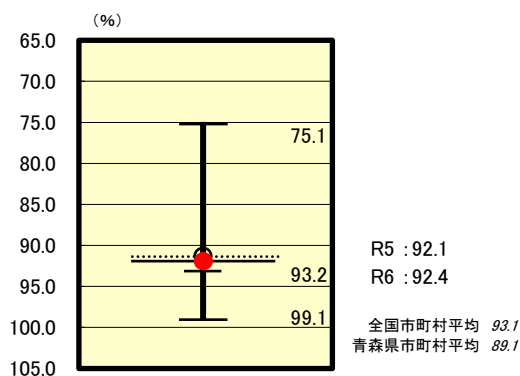
[R5:57/62]※類似団体内での順位



財政構造の弾力性

経常収支比率

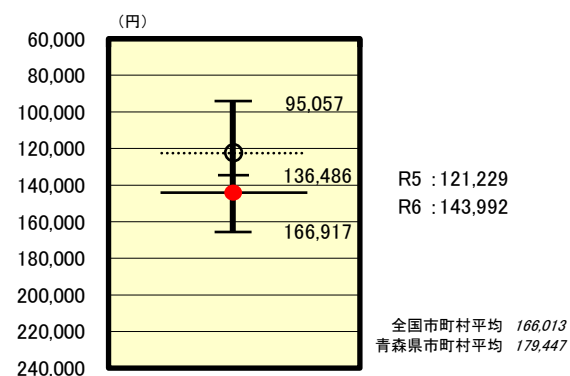
[R5:23/62]



人件費・物件費等の適正度

人口1人当たり人件費・物件費等決算額

[R5:22/62]

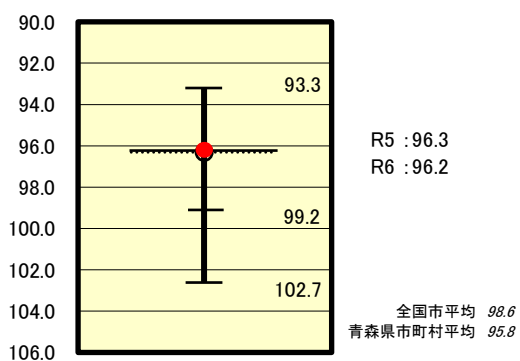


※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

給与水準の適正度(国との比較)

ラスパイレス指数

[R5:3/62]



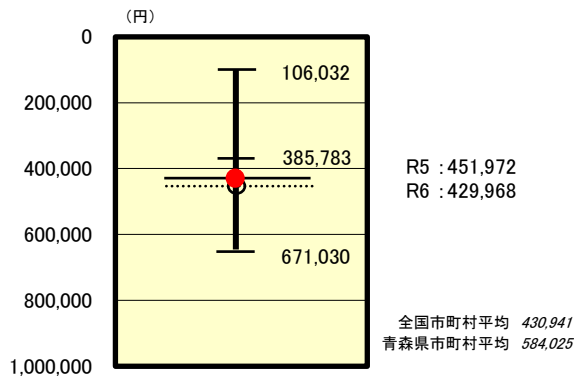
※1 令和5年度ラスパイレス指数: 令和5年4月1日現在

※2 令和6年度ラスパイレス指数: 令和6年4月1日現在

※3 類似団体との比較にあたっては、令和6年4月1日現在のラスパイレス指数を用いている。

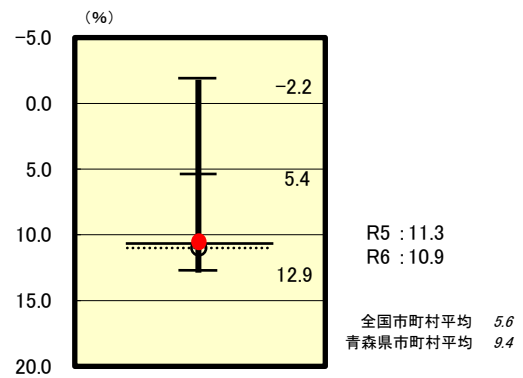
将来負担の健全度

人口1人当たり地方債現在高
[R5:43/62]



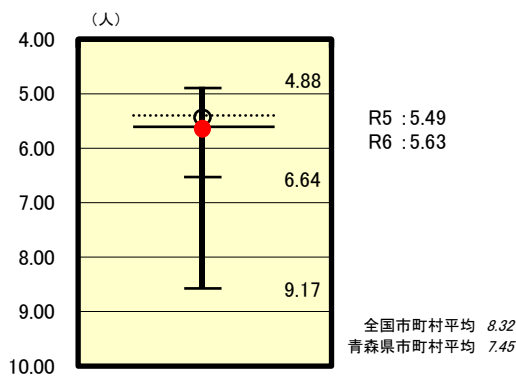
公債費負担の健全度

実質公債費比率
[R5:61/62]



定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数
[R5:5/62]



※「人件費・物件費等の適正度」「将来負担の健全度」「定員管理の適正度」の項目における「全国市町村平均」「青森県市町村平均」の算出にあたっては、国の調査基準日の変更に伴い、1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を積算基礎とした。

※1 令和5年度職員数:令和6年4月1日現在
※2 令和6年度職員数:令和7年4月1日現在

【財政力指数】

普通交付税の算定においては、公共施設の光熱水費高騰への対応による経費の増加等により基準財政需要額が増加したものの、一方で地方税収入の増加により基準財政収入額も増加したことから、単年度及び過去3カ年の平均の財政力指数は、ともに前年度と同様の0.55となりました。

なお、類似団体と比較すると下位に位置しており、本市の財政は依然として厳しい状況にあります。

【経常収支比率】

歳出において給与改定や会計年度任用職員の勤勉手当支給開始等の結果、経常一般財源が増加したため、経常収支比率は前年度より0.3ポイント増加の92.4%となりました。

【人口1人当たりの人件費・物件費等決算額】

給与改定等に係る人件費や除排雪に係る維持補修費等が前年度比で増となった結果、人件費・物件費等の決算額の総額は増となりました。また、人口1人当たりの人件費・物件費等決算額についても同様に、前年度に比べ22,763円増加し143,992円となりました。

なお、類似団体と比較すると平均をやや上回っています。

【ラスパイレス指数】 【人口1,000人当たり職員数】

高齢・高給の職員が退職したことにより職員構成に変動が生じたため、ラスパイレス指数は前年度に比べて0.1ポイント減少の96.2%となりました。また、人口1,000人当たり職員数については前年度に比べて0.14人増加の5.63人となりました。

なお、類似団体と比較すると、ともに平均よりも低い数値となっています。

【人口1人当たり地方債現在高】

地方債の発行を抑制したことに伴う地方債残高の減少等により、人口1人当たりの地方債残高は前年度に比べて22,004円減少の429,968円となりました。

なお、類似団体と比較すると依然として高い数値となっています。

【実質公債費比率】

地方債の発行を抑制したことに伴う元利償還金の減少等により、実質公債費比率は前年度に比べ0.4ポイント改善の10.9%となりました。

なお、類似団体と比較すると下位に位置しています。

第3. 主要な施策の成果の説明

- 1. 仕事をつくる
- 2. 人をまもり・そだてる
- 3. まちをデザインする
- 4. 政策を実現するために

■表の見方

基本政策											
政策											
施策											
青森市総合計画前期基本計画（2024～2028）（以下「前期基本計画」という。）における「基本政策」、「政策」、「施策」の番号と名称を記載しています。											
前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向	現状値		R6	R7	R8	R9	R10
・前期基本計画における「目標とする指標」に係る指標、指標の説明、目指すべき方向及び現状値を記載しています。 ・◎印が付いている指標は青森市総合戦略2024-2028の指標も兼ねています。					目標値	前期基本計画における「目標とする指標」に係る目標値及び実績値を記載しています。					
					実績値						
※達成度評価の説明											
A：順調		実績値がその年度の目標値を100%以上達成									
B：概ね順調		実績値がその年度の目標値を概ね（75%以上100%未満）達成									
C：やや遅れている		実績値がその年度の目標値の50%～75%未満									
D：遅れている		実績値がその年度の目標値の50%未満									
(単位：千円)											
区分	事業名	成果の説明			決算額	款項目等		部局課名			
区分：「新規」、「拡充」等の区分を記載しています。											
事業名：各施策に係る主要事業名を記載しています。											
成果の説明：事業の成果の説明について記載しています。											
決算額：決算額を千円単位で記載しています。											
款項目等：款項目を記載しています。 なお、一般会計以外の会計の場合には、款項目の前に各会計を示す記号を記載しています。 例）国保…国民健康保険事業特別会計、病院…病院事業会計											
部局課名：令和6年度末における担当部局課名を記載しています。											

基本政策	第1章	仕事をつくる
政策	第1節	活力ある地域産業の育成
施策	第1項	地域産業の安定経営・基盤強化



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
信用保証料補給件数◎	地場産業振興資金融資制度の利用者に対する信用保証料の補給件数	＋	R5	122	件	目標値	122	122	122	122	122	
						実績値	112					
達成度評価	信用保証料補給件数は112件となり、目標値を下回りました。											
B												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
地域振興作物（高収益作物）の作付面積	高収益作物の作付面積	＋	R5	34.3	ha	目標値	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	
						実績値	37.0					
達成度評価	地域振興作物（高収益作物）の作付面積は37.0haとなり、目標値を上回りました。											
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
ほ場整備の割合	水田面積のうち、ほ場整備を実施済みの面積の割合	＋	R5	80.5	％	目標値	81.5	81.5	81.5	81.5	81.5	
						実績値	81.0					
達成度評価	ほ場整備の割合は81.0％となり、目標値を下回りました。											
B												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
ホタテガイ生産量	後潟漁業協同組合及び青森市漁業協同組合が取り扱うホタテガイ生産量	＋	R5	5,519	t	目標値	14,795	14,795	14,795	14,795	14,795	
						実績値	2,433					
達成度評価	ホタテガイ生産量は2,433 t となり、目標値を下回りました。											
D												

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	あおもり農業所得向上対策事業	野菜の産地が抱える課題の解消と生産振興を図るとともに、高品質の作物生産と高収益作物の更なる生産面積の拡大を促進するため、高収益作物であるトマト・ミニトマトのパイプハウスの導入を支援することにより、農業所得の向上を図りました。 【令和6年度実績】 令和6年度は事業活用者がありませんでした。	13	6・1・3	農林水産部 農業政策課
継続	農作物鳥獣被害対策事業	国の「鳥獣被害防止総合対策交付金」を活用し、大型囲い罫（遠隔監視モニター）や侵入防止電気柵の設置、「青森市鳥獣被害対策実施隊」「青森市捕獲サポート隊」によるパトロール活動や追払い活動を継続して実施したほか、野生鳥獣を寄せ付けないための「緩衝帯」を新たに整備し、鳥獣被害対策の強化を図りました。 【令和6年度実績】 - 青森市鳥獣被害対策実施隊による活動回数 東部：70回 中部：82回 北部：50回 浪岡：32回 - 電気柵設置 1地区3箇所 整備長合計873m (新城天田内地区 3箇所 873m) - 大型囲い罫（遠隔監視モニター）設置 1基（月見野地区）	7,224	6・1・3	農林水産部 農業政策課

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
拡充	転作推進事業	転作田において市奨励作物（トマト・ねぎ・ピーマン・そば・小麦・バサラコーン・きゅうり・たまねぎ）の作付けが継続して行われたほか、令和6年度は新たに、高収益作物のうちトマト、バサラコーンの生産拡大への取組に対する支援の強化を図りました。 【令和6年度実績】 ・地域振興作物等産地化推進事業 22,810a（内訳） トマト：124a、ねぎ：58a、バサラコーン：42a そば：14,778a、たまねぎ：22a、きゅうり：1a ピーマン：7a、小麦：0a ・転作営農効率化支援事業 2件（内訳） バサラコーン 1件：1,000,000円（作付面積：44,822㎡） トマト 1件：1,000,000円（作付面積：333㎡）	4,284	6・1・3	農林水産部 農業政策課
継続	農地利用集積事業	農業従事者の高齢化や後継者不足に対応するとともに、耕作放棄地の発生を抑制するため、農地中間管理機構を通じて農地の貸付けを行った者又は地域に対し協力金を交付し、担い手への農地集積・集約を図りました。 【令和6年度実績】 ・油川ほ場整備エリアの2地域（油川、新城）へ協力金を交付 ・交付額 2,499,900円 ・交付対象面積 1,923a	3,224	6・1・3	農林水産部 農業政策課
継続	ほ場等整備事業	ほ場の大区画化や農業用道路、農業用水利施設等の整備を進めながら、効率的な営農環境の確保と生産性の向上を図りました。 【令和6年度実績】 [新規] ・油川地区ほ場整備（調査計画業務 等） [継続] ・西田沢大堤地区、浪岡大堤地区ため池整備（堤体法面保護 等） ・後潟川地区頭首工機能保全（洪水吐ゲート修繕 等） ・幸畑地区、三本木・滝沢地区、銀地区ほ場整備（農道・用排水施設整備 等）ほか	53,733	6・1・5	農林水産部 農地林務課
継続	県営野沢地区畑地帯総合整備事業	りんご等果樹園地内の農道・営農用水等を整備し、生産性の向上、農作業の効率化、流通体制の強化等を図りました。 【令和6年度実績】 [整備地区] 樽沢・女鹿沢地区 測量設計・用地買収一式	15,155	6・1・5	農林水産部 農地林務課
継続	農業基盤改良事業（道路・水路・側溝）	農地・農業用施設の多くは、老朽化が著しく、近年の水害等により被災する農地・農業用施設が多いことから、施設の保全に取り組みました。 【令和6年実績】 ・改修工事 2件 ・修繕工事 12件	10,200	6・1・5	農林水産部 農地林務課
拡充	森林経営管理事業	森林の適切な経営や管理を図るため、森林経営管理法に基づき、森林所有者に対する経営管理意向調査の実施や森林の経営管理権集積計画に基づく森林管理を行いました。また、森林・林業の専門的な知識や技能を持つ地域林政アドバイザーを新たに配置しました。 【令和6年度実績】 ・経営管理意向調査の実施 ・経営管理権集積計画の作成 ・経営管理権集積計画に基づく森林管理 ・地域林政アドバイザーの配置	16,042	6・2・2	農林水産部 農地林務課

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	森林造林事業	環境保全及び林業振興の推進を図るため、市有地・国有地・財産区有地を利用して国・部分林組合・財産区等と連携し、森林の造林・保育などの森林整備を行いました。 【令和6年度実績】 ・市有林面積：707.66ha ・部分林面積：113.27ha ・財産区有林面積：499.70ha	12,365	6・2・3	農林水産部 農地林務課
継続	漁港整備事業	護岸・防波堤設置工事及び耐震耐津波に対する既存施設の機能強化工事等を行い、漁港の利便性と安全性向上を図ることで、水産業の生産・流通基盤の維持・強化を行いました。 【令和6年度実績】 ○整備漁港 ・後潟漁港（防舷材設置工事） ・奥内漁港（護岸・物揚場設置工事 等）	19,740	6・3・2	農林水産部 水産振興センター
継続	つくり育てる漁業推進事業	ホタテガイ養殖業に頼らない漁業構造にするため、ナマコ・ワカメ種苗の安定生産を進めるとともに、陸奥湾産マボヤ天然採苗の更なる効率化に向けた試験等、新たな魚種の開発も進めながら漁業経営の安定を図りました。 【令和6年度実績】 ○ナマコ種苗生産 ・生産数量 139,500個 ○ワカメ種苗生産 ・配布数量 6,800m ○ホヤ種苗生産試験 ・採苗器1センチ（総延長4,320m）あたり14.7個の稚ボヤを採苗	3,129	6・3・3	農林水産部 水産振興センター
新規	青森市しごと創造会議推進事業	市民所得の向上や雇用の促進など地域経済活性化を図るため開催した「青森市しごと創造会議」での意見や提案を踏まえ、第1次産業から第3次産業までの幅広い分野において、産学官が「共創」により取り組むしごと創りに向けた指針として「青森市しごと創造戦略」を令和7年2月に策定しました。 本戦略の推進に当たっては、「株式会社青森みちのく銀行」、「あおり創生パートナーズ株式会社」及び「慶應義塾大学SFC研究所」の3者と「未来共創に向けた研究開発と推進に関する連携協力協定」を締結しました。 【令和6年度実績】 ・青森市しごと創造会議開催 3回	1,447	7・1・2	経済部 しごと創造課
継続	地場産業振興資金融資事業	設備投資を行う中小企業者を支援するため、必要な資金を長期・低利で融資する制度を設け、金融機関から融資を受ける際に必要となる信用保証料の半額の補給を行いました。 【令和6年度実績】 ・融資 112件 678,730千円 ・信用保証料補給 14,351千円	157,351	7・1・2	経済部 経済政策課
継続	市場運営管理事業	卸売市場としての機能を維持し、消費者に安全・安心な生鮮食料品等を安定的に供給するため、中央卸売市場と地方卸売市場の管理運営及び施設の維持管理を行いました。 【令和6年度実績】 ・水産物部取扱高 17,586,825千円 ・青果部取扱高 12,889,800千円 ・花き部取扱高 677,439千円	289,325	市場 1・1・1	農林水産部 中央卸売市場管理課

基本政策	第1章	仕事をつくる
政策	第1節	活力ある地域産業の育成
施策	第2項	産業を支える人材の確保・育成と雇用創出



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
地元就職に関する相談件数◎	市のUターン就活サポートデスク等における就職相談件数	+	R5	209	件	目標値	209	209	209	209	209	
						実績値	283					
達成度評価	地元就職に関する相談件数は283件となり、目標値を上回りました。											
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
認定新規就農者数◎	農業経営基盤強化促進法に基づき、新たに農業経営に取り組むために作成する「青年等就農計画」を市に提出して認定を受けた者	+	R5	7	人	目標値	8	8	8	8	8	
						実績値	4					
達成度評価	認定新規就農者数は4人となり、目標値を下回りました。											
C												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
認定新規就農者の定着率◎	認定新規就農者のうち、5年以上就農している人の割合	+	R5	100	%	目標値	100	100	100	100	100	
						実績値	96.8					
達成度評価	認定新規就農者の定着率は96.8%となり、目標値を下回りました。											
B												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
立地事業所数◎	市と立地協定を締結して、本市へ新たに開設された事業所数	+	R5	3	件	目標値	3	3	3	3	3	
						実績値	2					
達成度評価	立地事業所数は2件となり、目標値を下回りました。											
C												

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
新規	地域おこし協力隊活動支援事業（畜産）	八甲田牛生産者や牧場作業員等の高齢化・担い手不足により労働力が不足しているため、持続的な八甲田牛生産の実現に向けて、地域おこし協力隊制度を活用し、畜産経営に係る人材を募集しました。 【令和6年度実績】 ○市ホームページやSNS等で情報発信（相談1件）	15	6・1・4	農林水産部 農業振興センター
継続	地元企業の魅力発信事業	若者等の地元就職・定着を促進するため、高校生や大学生などに魅力ある地元企業の情報を発信するとともに、本市の未来を担う小学生に対する地元就職意識の醸成を図りました。 【令和6年度実績】 ・地元企業での小学生向け職業体験事業 「ジョブキッズあおもり」への参画	300	5・1・1	経済部 経済政策課

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	新規就農総合支援事業	国による経営開始資金、国や県による経営発展支援事業を活用し、就農初期段階の青年就農者に対して補助金を交付することにより、就農意欲の喚起と就農後の定着を図りました。 【令和6年度実績】 ・農業次世代人材投資資金 [対象者] 50歳未満の認定新規就農者 [交付額] 150万円/年（最長5年） [交付実績] 15名 15,954千円 ・経営開始資金 [対象者] 50歳未満の認定新規就農者 [交付額] 150万円/年（最長3年） [交付実績] 9名 12,000千円 ・経営発展支援事業 [対象者] 50歳未満の認定新規就農者 [対象経費] 機械・施設の取得、リース等 [補助率] 3/4以内（事業費上限1,000万円） ※経営開始資金の交付対象者は事業費上限500万円 [交付実績] 3名 11,721千円 [整備内容] 管理機、トラクター（ハロー含む）、きくらげ生産設備、パイプハウス	40,184	6・1・3	農林水産部 農業政策課
継続	あおもり新しい働き方支援事業（連携）	首都圏等の企業に向けた立地環境のプロモーション展開等により、企業誘致を促進するとともに、新規卒業者やUターン希望者への市内企業の情報発信により、県外に流出した人材の還流を図り、地域経済の好循環を創出しました。 【令和6年度実績】 ・企業立地・就職支援情報の発信 ・青森市経済交流フェアの開催 ・Uターン就活サポートデスク等の運営 ・インターンシップ受入促進補助金の交付 1件 ・コワーキングスペース体験費用の助成 1件 ・サテライトオフィス進出支援金の交付 1件 ・立地企業数 2件	8,781	7・1・2	経済部 経済政策課

基本政策	第1章	仕事をつくる
政策	第1節	活力ある地域産業の育成
施策	第3項	地域特性を活かした商店街づくりの推進



前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向	現状値			R6	R7	R8	R9	R10
商店街での新規開業件数◎	商店街で新規に開業した件数	+	R5	31	件	目標値	34	34	34	34	34	
						実績値	42					
達成度評価	商店街での新規開業件数は42件となり、目標値を上回りました。											
A												

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	空き店舗リノベーション支援事業	青森市、青森商工会議所及びAOMORI STARTUP CENTERが連携し、相談から起業までのサポートを強化することで、商店街等の商業機能の充実や魅力の向上、にぎわいの創出及び活性化を図りました。 【令和6年度実績】 ・助成件数 10件 ・助成金額 8,862千円	8,951	7・1・2	経済部 経済政策課

基本政策	第1章	仕事をつくる
政策	第2節	時代の変化を先取りした産業振興
施策	第1項	市内産業へのDXの推進



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
ITツール等導入事業者数◎	国の補助制度の活用などにより、ITツール等を導入した市内事業者数（2023年度からの累計）	+	R5	91	件	目標値	145	199	253	307	361	
						実績値	143					
達成度評価	ITツール等導入事業者数は143件となり、目標値を下回りました。											
B												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
スマート農業機器導入件数◎	市の補助金等を活用してスマート農業機器を導入した件数	+	R5	10	件	目標値	14	30	30	30	30	
						実績値	14					
達成度評価	スマート農業機器導入件数は14件となり、目標値に達しました。											
A												

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
新規	地域企業DX推進事業	市内中小企業者に対し、経営改善のスキルを有する専門家が、デジタルツールを活用した経営課題の解決策の提案や実行計画の取りまとめなどについて伴走型できめ細かに支援し、中小企業者がDXにより課題解決を図るロールモデルを創出しました。 【令和6年度実績】 ○青森市地域企業DX推進支援プログラム ・支援事業者数 3社	9,988	7・1・2	経済部 しごと創造課
拡充	青森市GNSS基地局整備事業	農作業における省力・軽労化や人手不足解消、生産性向上等の「スマート農業機械」の導入効果を最大限に享受できるように、RTK-GNSS（高精度測位技術）の提供が可能なGNSS基地局を市内ほ場整備済地区に整備しました。 【令和6年度実績】 青森地区：青森市立北中学校屋上 1基 浪岡地区：青森市役所浪岡庁舎屋上 1基 計 2基	2,819	6・1・3	農林水産部 農業政策課
継続	スマート農業普及対策事業（連携）	農作業の省力・軽労化を進めるとともに、次世代を担う若手農業者の育成・確保を図るため、スマート農業の普及に努めました。 【令和6年度実績】 ○青森市スマート農業チャレンジ事業（補助） スマート農業技術を導入し、実証実験に取り組む意欲のある農業者へ補助金を交付しました。 〔補助率〕 1/2（上限200万円） 〔補助件数〕 12件 〔補助金額〕 8,647千円 ○青森市農業フェア（スマート農業フェア） スマート農業機器の展示・実演等を行いました。 〔来場者数〕 355人 ○成果報告会 スマート農業機械の導入後の状況の発表やメーカーからの最新情報を提供してもらいました。 〔発表者〕 4人 〔参加者〕 50人	8,810	6・1・3	農林水産部 農業政策課

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	水田農業高度化推進事業	本市の基幹産業であるコメの生産を安定的に維持し、稲作経営の安定及び持続的な発展を図るため、スマート農業を活用して更なる水稻の生産コストの低減や水稻栽培の省力化に取り組む農業者団体を支援しました。 【令和6年度実績】 ・スマート農業を活用した航空防除面積 1,063ha	2,625	6・1・3	農林水産部 農業政策課

基本政策	第1章	仕事をつくる	7 エネルギー・環境に もたらす貢献 8 働きがいも 経済成長も 9 防災と危機管理 の基盤をつくる 17 パートナーシップで 目標を達成しよう 													
政策	第2節	時代の変化を先取りした産業振興														
施策	第2項	GXによる産業の育成・集積														
前期基本計画の目標指標			指標の説明			方向		現状値			R6	R7	R8	R9	R10	
青森港を利用する洋上風力発電事業者数◎			海洋再生可能エネルギー発電設備整備促進区域の公募占用計画に、青森港を基地港湾として利用する旨を記載し、洋上風力発電事業を行う者として選定された事業者数（2023年度からの累計）			+		R5	0	件	目標値	1	1	1	1	3
											実績値	1				
達成度評価			青森港を利用する洋上風力発電事業者数は1件となり、目標値に達しました。													
A																

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
新規	国直轄港湾整備事業負担金（油川地区基地港湾）	国が実施する青森港油川地区の基地港湾整備のため、整備費の一部を負担することで、令和9年度の完成に向け工事が行われました。	397,500	8・3・1	都市整備部 公園河川課

基本政策	第1章	仕事をつくる	4 地元の産品を みんなに 8 地元の経済成長を 9 自然と伝統を基に 未来をつくる 17 パートナシップで 目標を達成しよう 									
政策	第2節	時代の変化を先取りした産業振興										
施策	第3項	若者等への起業・創業、第二創業支援										
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
創業件数◎		AOMORI STARTUP CENTERの支援 による市内での年間創業件数	+	R5	80	件	目標値	72	74	76	78	80
							実績値	69				
達成度評価		創業件数は69件となり、目標値を下回りました。										
B												

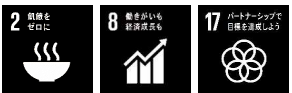
(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	あおもりフィールドスタディ支援事業（連携）	経済活性化や産業振興等をテーマに、学生団体等が多様な主体と連携して行う地域の課題解決や将来の起業につながるフィールドスタディ（現地学習）を支援し、産学官連携による地域経済活性化と若手リーダー人材の育成を図りました。 【令和6年度実績】 ・実施団体数 8チーム	2,145	7・1・2	経済部 経済政策課

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	地域企業ビジネス支援拠点運営事業（連携）	青森商工会議所、東青地域の町村等と連携し、経営に関する豊富な知見を有する支援人材により一貫した事業者支援を行う経営の総合相談窓口「AOMORI STARTUP CENTER」を運営するとともに、スタートアップ支援を目的としたセミナーやピッチイベント等を開催し、若者等の起業・創業、地域企業による新たな事業展開等を支援しました。 また、国の地域おこし協力隊制度を活用し、本市で起業したい都市部の人材を地域おこし協力隊員として誘致し、AOMORI STARTUP CENTERの体制強化や移住による起業の促進等を図りました。	32,745	7・1・2	経済部 しごと創造課
継続	地域おこし協力隊活動支援事業 ※経済部	【令和6年度実績】 ・創業件数 76件（うち市内69件） ・相談件数 1,478件 ・地域おこし協力隊員数（令和7年3月末現在） 1人	5,157	7・1・2	経済部 しごと創造課
拡充	学生ビジネスアイデアコンテスト開催事業（連携）	学生等の起業マインドやチャレンジマインドの醸成を図るため、市内の大学生チームが地域の課題解決等につながるビジネスアイデアを競うコンテスト「Aomori Business Challenge GATE」を開催しました。 令和6年度は、青函ツインシティ35周年記念事業として函館市内の大学4チームを招待しました。 【令和6年度実績】 ・本選出場チーム数 12チーム ・参加者数 118人	621	7・1・2	経済部 しごと創造課
継続	地域ベンチャー支援事業	成長意欲の高い企業や個人に対して、専門機関による短期間で集中的に企業価値を高めるための伴走型支援「アクセラレータープログラム」を実施しました。 また、起業や新たな事業など「スタートアップ」に先進的に取り組む自治体で構成される「スタートアップ都市推進協議会（会長：福岡市長）」に参画し、関係自治体等との連携のもと、首都圏でのマッチングイベントを開催し、参加事業者等とのマッチングを促進しました。 【令和6年度実績】 ○青森アクセラレータープログラム ・採択事業者数 5社 ○JAPAN STARTUP SELECTION - the 11th Edition - ・令和7年1月30日（木） 本市参加事業者数 3社	11,159	7・1・2	経済部 しごと創造課

基本政策	第1章	仕事をつくる
政策	第3節	地域の特性を活かした市場開拓
施策	第1項	域外からの所得獲得と域内での所得循環の促進



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値			R6	R7	R8	R9	R10
製造品出荷額等◎	市内事業所の「製造品出荷額」、「加工賃収入額」、「修理料収入額」、「製造工程から出たくず及び廃物」の出荷額とその他の収入額の合計	+	R2	1,175	億円	目標値	1,327	1,365	1,403	1,441	1,479
						実績値	—				
達成度評価	製造品出荷額等は、5年に1度実施される経済センサス活動調査（次回は2026年実施）での確認となるため、引き続き域外からの所得獲得や域内での所得循環に向けた取組として首都圏や県外百貨店における本市ならではの商品・市製品の販売イベント等を実施していきます。										
—											

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	首都圏ビジネス交流拠点運営事業（連携）	青森商工会議所、東青地域の町村等と連携し、首都圏での積極的なシティプロモーションや事業者の販路拡大等を支援するアンテナショップ（AoMoLink～赤坂～）を運営しました。 【令和6年度実績】 ・来館者数 76,976人 ・取扱品目数 732点（令和7年3月末時点） ・売上額 43,698千円 ・イベント件数 92件 うち町村関連 6件	48,321	7・1・2	経済部 経済政策課

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	物産振興事業（連携）	市産品のPRと販売促進を図るため、物産振興に取り組む関係団体に負担金を支出し、物産展等の各種事業を展開しました。 【令和6年度実績】 ・物産展開催 12回	4,159	7・1・2	経済部 経済政策課

基本政策	第1章	仕事をつくる
政策	第3節	地域の特性を活かした市場開拓
施策	第2項	ブランド化・高付加価値化の推進



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値			R6	R7	R8	R9	R10			
ふるさと納税返礼品の新規登録商品数◎	市産農水産物を活用したふるさと納税返礼品の新規登録商品数	+	R5	67	件	目標値	67	67	67	67	67			
						実績値	74							
達成度評価	ふるさと納税返礼品の新規登録商品数は74件となり、目標値を上回りました。													
A														

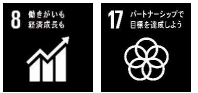
(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
拡充	あおもり産品販売促進事業	あおもり産品販売促進協議会や関係団体と連携しながら、あおもり産品のPRやトップセールスを展開するほか、商談会や展示会等へ出展する事業者等の支援を行うなど、市産農林水産品の域内外での販路拡大とブランド力の向上を図りました。 ・首都圏でのテストマーケティングや飲食店主の産地招聘など戦略的なプロモーション活動を展開しました。 【令和6年度実績】 ・首都圏等でのトップセールス実施 4件	17,073	6・1・3	農林水産部 あおもり産品支援課
新規	八甲田牛生産力向上事業	八甲田牛の生産力・収益力を更に高めるため、生産基盤の強化とともに、産肉能力の改良や優良な繁殖牛の増殖に関する取組を実施しました。 【令和6年度実績】 ○岩手県で生産された日本短角種の優良繁殖素牛を導入・育成（雌牛5頭） ○青森市家畜貸付規則を新たに制定し、日本短角種の繁殖素牛の増頭を実施又は計画している生産者へ市有繁殖牛を貸付（生産者2戸に対し4頭貸付）	12,368	6・1・4	農林水産部 農業振興センター
新規	あおもり産品ブランド価値向上推進事業	6次産業化に向けた取組を持続的に発展させ、かつ市農水産資源である「あおもり産品」を活用し新たな付加価値を創出しようとする生産者や事業者等を支援し、農水産物の高付加価値化と農水産業者等の所得向上を図りました。 【令和6年度実績】 ・あおもり産品ブランド価値向上支援事業 商品価値の向上や販路拡大に向けた取組を支援しました。 新商品開発事業 3件 1,325千円 既存商品ブラッシュアップ事業 1件 68千円 ・意欲的な生産者等の掘り起こしと育成 自らの農産物を活用した加工品の開発を目指す生産者、新たな販路拡大に意欲的な事業者などに対し、専門アドバイザーによるブランディングや実践的な講座・個別相談を実施しました。	1,758	6・1・3	農林水産部 あおもり産品支援課

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	八甲田牛ブランド化推進事業	八甲田牛ブランドの確立・価値向上のため、関係機関・団体と連携を図りながら、八甲田牛の生産基盤強化や高付加価値化、需要拡大に向けた取組を実施しました。 【令和6年度実績】 ○市営共同牧野への放牧搬送経費の支援（対象数62頭） ○八甲田牛ツアーの開催（首都圏シェフなど6名参加） ○首都圏等へのセールスプロモーション ○八甲田牛ミーティングの開催（地元シェフなど17名参加） ○市立小学校給食へ八甲田牛肉提供 ○八甲田牛ホームページ・SNSによる情報発信 等	5,727	6・1・4	農林水産部 農業振興センター
継続	ナマコの食ブランド化推進事業（連携）	関係団体と連携してナマコの付加価値化及び販売戦略を構築することにより、新たな商品の開発及び消費拡大と販路拡大を図りました。 ホタテやナマコをはじめとした圏域の水産物の魅力を全国の消費者へ効果的に発信するため、多人数の集客が見込める首都圏でのイベントに圏域市町村が合同で参加し、圏域の水産物のPRを行いました。 【令和6年度実績】 ・「2024なかの東北絆まつり（10/26～27）」（東京都中野区主催）に出店し、圏域市町村の地元水産物等のPRを実施	385	6・3・2	農林水産部 水産振興センター

基本政策	第1章	仕事をつくる
政策	第4節	国内外の観光需要の取り込み
施策	第1項	充実した交通網を活かした立体観光の推進



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
観光入込客数（延べ人数）◎	本市を訪れた観光客数	＋	R4	4,616	千人	目標値	6,040	6,060	6,080	6,100	6,120	
						実績値	6,154					
達成度評価	観光入込客数（延べ人数）は6,154千人となり、目標値を上回りました。											
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
主要宿泊施設宿泊者数（延べ人数）◎	市内の主要宿泊施設における宿泊者数	＋	R5	1,109,980	人泊	目標値	1,148,000	1,186,000	1,224,000	1,262,000	1,300,000	
						実績値	1,278,170					
達成度評価	主要宿泊施設宿泊者数（延べ人数）は1,278,170人泊となり、目標値を上回りました。											
A												

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
拡充	外国人観光客誘客促進事業	外国人観光客等の更なる誘客促進に向け、本市の観光情報・魅力の発信、誘客プロモーション等に取り組ましました。 【令和6年度実績】 ・クルーズ船客向けのマップ制作 ・市内周遊ツアーの造成支援 ・台湾をメインターゲットにしたマイクロインフルエンサーを招聘し、SNS等を活用した情報発信	15,489	7・1・3	経済部 交流推進課

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	青森アートミュージアム5館連携アートプロジェクト（負担金）	青森公立大学国際芸術センター青森をはじめ、県内美術館・アートセンター5館の共同企画展「AOMORI GOKAN アートフェス 2024」を開催し、県及び関係市が連携し、共同事業として、「アートフェス」の情報発信や周遊促進に取り組みました。 【令和6年度実績】 公式ウェブサイト・SNS等を活用した情報発信や5館周遊チケットの販売・ガイドブック制作による受入体制の整備を実施 [5館] 青森県立美術館、青森公立大学国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館、八戸市美術館、十和田市現代美術館	2,500	7・1・3	経済部 交流推進課
継続	青森空港振興・国際化事業	青森空港発着の国内線及び国際線の利用促進を図るため、「青森空港振興会議（事務局：青森市）」及び「青森空港国際化促進協議会」に参画し、普及啓発活動を行いました。 【令和6年度実績】 ○国内線の利用促進 ・旅行商品造成の促進 ・青森空港就航路線の需要喚起広告等 ○国際線の利用促進 ・国際線維持に係る経費等の一部を支援	7,400	2・1・4	経済部 交流推進課
拡充	広域観光推進事業	本市の拠点機能を生かした滞在型観光を推進するため、関係自治体等と連携し、本市への誘客に取り組みました。 【令和6年度実績】 ・イベント情報を取りまとめたポータルサイトの新設 ・アドベンチャーツーリズムモデルコースの造成	21,804	7・1・3	経済部 交流推進課
継続	MICE誘致・開催支援事業	県外からのコンベンション、ミーティング、インセンティブツアー（報奨旅行）等のMICE誘致を通じて誘客促進を図りました。 [補助要件] ・青森市内の宿泊施設に宿泊する県外参加者の延べ宿泊人数が10人以上 等 [補助金額] ・青森市内の宿泊施設に宿泊する県外参加者の延べ宿泊人数×2,000円（ただし上限200,000円） 【令和6年度実績】 ・国際観光振興機構（JNTO）への負担金の支出 ・補助件数 3件	658	7・1・3	経済部 交流推進課
継続	青森港国際化推進事業	青森港の利用促進による地域振興を図るため、「青森港国際化推進協議会（事務局：青森市）」へ参画し、国内外の船社等へのポートセールスの実施、全国各地の港湾関係者との意見交換会出席による物流促進、クルーズ船寄港時の催事等に取り組みました。 【令和6年実績】 ・クルーズ客船寄港数 36回	4,300	8・3・1	経済部 交流推進課

基本政策	第1章	仕事をつくる
政策	第4節	国内外の観光需要の取り込み
施策	第2項	地域特性を活かした観光資源の魅力向上



前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向		現状値				R6	R7	R8	R9	R10
冬季観光入込客数（延べ人数）◎	冬季（1-3月、11月、12月）に本市を訪れた観光客数	+	R5	1,634	千人	目標値	1,822	1,828	1,834	1,840	1,846			
						実績値	2,097							
達成度評価	冬季観光入込客数（延べ人数）は2,097千人となり、目標値を上回りました。													
A														

（単位：千円）

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
新規	みなとまち・あおもり誕生400年推進事業	令和7年の「青森開港400年」、令和8年の「青森まちづくり400年」を記念し、令和6年をプレ期間として歴史振興や港湾を中心とした青森のまちづくりの意識啓発や賑わいの創出を図るため、官民が一体となったプロジェクトを進めました。 【令和6年度実績】 ・八甲田丸就航60周年と連携した記念講演会、フォーラムの開催 ・砕氷艦「しらせ」一般公開 ・ホームページの開設 ・ポスター、横断幕等制作 ・ラッピングバス広告	7,825	8・3・1	経済部 交流推進課
拡充	青森ねぶた祭活性化事業	青森ねぶた祭の更なる活性化に向け、大型ねぶたや地域ねぶたの運行に係る経費等の一部を青森ねぶた祭実行委員会に対し負担し、祭りの保存伝承に努めました。 令和6年度は、老朽化が進んでいる「ねぶたラッセランド」の整備手法等の調査に係る経費の一部やねぶた運行中の大型ねぶたの位置情報を確認できるねぶたロケーションシステムの実証実験に係る経費を負担するなど、事業を拡充して実施しました。	32,448	7・1・3	経済部 観光課
継続	青森ねぶた派遣事業	青森ねぶたを活用した交流を通じて青森の魅力を発信し、北海道新幹線延伸等に伴う本市への観光誘客促進を図りました。 【令和6年度実績】 ・東北絆まつり2024仙台 ・あおもり10市大祭典in黒石 ・2024なかの東北絆まつり ・御堂筋ランウェイ2024 ・SAKURA FES NIHONBASHI 2025	3,202	7・1・3	経済部 観光課
拡充	冬季観光イベント開催事業	冬季観光を推進するため、「雪だ！灯りだ！芸術だ！あおもり冬のワンダーランド実行委員会」（青森市や青森商工会議所などで組織）の経費を負担し、各種イベントを実施しました。 令和6年度は、青森開港400年のプレイベントの一環として事業を拡大し、ねぶた技法を用いたイルミネーションの展示及びミュージック&グルメフェスを実施しました。	16,492	7・1・3	経済部 観光課
継続	自然公園観光地施設管理事業	八甲田地区の自然環境保全のため、刈払いや除雪、トイレの設置や清掃などの管理業務を行いました。	13,467	7・1・4	経済部 観光課
継続	文化観光交流施設運営管理事業	青森市が世界に誇る「ねぶた」を核として、市民や観光客、ねぶた関係者が集い、様々な交流を行うことによる本市の文化・観光の振興を図ることを目的とした青森市文化観光交流施設「ねぶたの家ワ・ラッセ」を指定管理者制度により運営しました。	34,232	7・1・4	経済部 観光課

基本政策	第1章	仕事をつくる
政策	第4節	国内外の観光需要の取り込み
施策	第3項	受け入れ態勢の強化と効果的な情報発信



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
主要宿泊施設外国人宿泊者数（延べ人数）◎		市内の主要宿泊施設における外国人宿泊者数	＋	R5	102,569	人泊	目標値	119,000	135,000	151,000	167,000	183,000
							実績値	159,396				
達成度評価	主要宿泊施設外国人宿泊者数（延べ人数）は159,396人泊となり、目標値を上回りました。											
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
クルーズ船寄港数◎		青森港におけるクルーズ船の寄港数	＋	R5	35	回	目標値	36	37	38	39	40
							実績値	36				
達成度評価	クルーズ船寄港数は36回となり、目標値に達しました。											
A												

（単位：千円）

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	観光情報コンテンツ管理運営事業	国内外から本市を訪れる観光客の満足度・利便性の向上を図るため、観光ナビゲーションアプリ、青森市フリーWi-Fiを運用しました。 また、MICE誘致を推進するため、来青の動機付けとなる英語版MICEホームページを運用しました。	14,803	7・1・3	経済部 交流推進課
継続	観光ガイド育成・運営事業	市内の風景や歴史、食を楽しみながら街なかを散策する「あおもり街てく」の運営と、おもてなし役として散策コースを案内する市民ボランティアによる観光ガイドの育成を行いました。 【令和6年度実績】 ・ボランティアガイド登録者数 19人 ・ガイド利用者数 602人	6,897	7・1・3	経済部 交流推進課
継続	青森港国際クルーズターミナル整備事業	青森県が青森港新中央埠頭に整備した「青森港国際クルーズターミナル」の事業費の一部を負担しました。	3,068	8・3・1	経済部 交流推進課

基本政策	第1章	仕事をつくる
政策	第5節	連携や交流による地域活力の強化
施策	第1項	公民連携の推進



前期基本計画の目標指標			指標の説明			方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
企業・大学等と連携して 行った事業数◎	市が企業・大学等と連携して 実施した事業数	+	R5	49	件	目標値	50	50	50	50	50				
						実績値	50								
達成度評価		企業・大学等と連携して行った事業数は50件となり、目標値に達しました。													
A															

（単位：千円）

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	公民連携推進事業	市と民間事業者が、相互の対話を通じて連携し、各々の持つアイデアやノウハウ、資源、ネットワークなどを結集することで、行政課題や地域課題等の解決に資する新たな価値を共創することを目的に、民間事業者からの行政課題や地域課題の解決につながる幅広い提案を受け付ける一元的な総合窓口を運営し、包括連携協定の締結や連携事業に取り組みました。 【令和6年度実績】 ・事業者との包括連携協定締結件数 2件	211	2・1・4	企画部 連携推進課

基本政策	第1章	仕事をつくる
政策	第5節	連携や交流による地域活力の強化
施策	第2項	若者に選ばれる移住・定住の促進、関係人口の創出



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
本市への移住者数◎	県または市の移住相談窓口等を通じて県外から本市へ移住した人数	+	R5	124	人	目標値	124	124	124	124	124	124
						実績値	187					
達成度評価	本市への移住者数は187人となり、目標値を上回りました。											
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
本市の関係人口◎	移住体験及び移住相談のリーピーター数等	+	R5	99	人	目標値	100	100	100	100	100	100
						実績値	93					
達成度評価	本市の関係人口は93人となり、目標値を下回りました。											
B												

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
拡充	新しい働き方担い手誘致・東青地域移住促進事業（連携）	新しい働き方の担い手となる移住希望者の誘致を主に、青森圏域（東青地域）を移住先候補として選んでいただけるよう、圏域全体の魅力をまとめた効果的な情報発信、移住相談及び移住体験など、移住に関心のあるかたや移住を検討されているかたへのアプローチを東青5市町村が連携して行いました。 【令和6年度実績】 ・Facebook等での青森圏域の情報発信（投稿） 151件 ・首都圏での移住相談会等 8回 （参加者246名） ・移住体験の実施 65名 ・アオモリ・ワーケーション体験 78名 ・クリエイターワーケーション体験 25名 ・親子ワーケーション体験 11名	11,760	2・1・4	企画部 連携推進課
新規	浪岡地区移住・定住促進事業	浪岡地区への移住・定住の促進のため、浪岡地区移住・定住推進協議会等との連携により、移住体験・ワーケーション体験を実施するとともに、SNS等を活用した情報発信に取り組みました。 【令和6年度実績】 ・移住体験施設「浪岡家」の整備（7月） ・移住体験者数 15名 ・アオモリ・ワーケーション（浪岡）体験者数 19名	8,954	2・1・4	浪岡振興部 総務課
拡充	青森市移住促進事業（連携）	東京一極集中の是正及び地方の担い手不足対策のため、本市への移住促進を図ることを目的に、移住されたかたのうち各種要件に該当するかたに移住支援金を交付しました。 【令和6年度実績】 ・移住支援金（国） 28件 ・医療福祉職子育て世帯移住支援金（県） 6件 ・新しい働き方移住支援金（市独自） 25件 ・リモートワーク活動支援金（市独自） 10件 ・リモートワーカー応援補助金（市独自） 13件	54,400	2・1・4	企画部 連携推進課

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	地域おこし協力隊活動支援事業	3大都市圏等からの本市への移住・定住促進に向けた取組として、国が支援する「地域おこし協力隊」及び「移住コーディネーター」の制度を活用し、移住者支援体制を強化するとともに、地域おこし協力隊員の本市への移住と、地域の魅力向上に向けた取組の展開により、市外からの更なる移住・定住促進の相乗効果を図りました。 【令和6年度実績】 ・リモートワーク人材誘致隊員 1名 (R6新規、～R8) ・クリエイター人材誘致隊員 1名 (R4～R6) ・プロフェッショナル人材誘致隊員 1名 (R5～R7) ・地域おこし協力隊員と連携して移住・定住促進を行う移住コーディネーターを2名配置	17,380	2・1・4	企画部 連携推進課
新規	地域おこし協力隊（浪岡）活動支援事業	浪岡地区への移住・定住の促進のため、地域の魅力の情報発信や、移住体験施設「浪岡家」の管理運営及び移住体験者等のサポートを行う地域おこし協力隊員を配置し、その活動と当該隊員の定住に向けた支援を行いました。 【令和6年度実績】 ・地域おこし協力隊員配置人数 1名 (R6～R8)	1,330	2・1・4	浪岡振興部 総務課
継続	浪岡地区バドミントン移住学生支援事業（補助金）	浪岡地区における移住・定住の促進とバドミントンによるまちづくりを推進するため、県外から移住する中高生の保護者に移住学生支援金を交付するとともに、移住者を受け入れる学生寮の管理運営を行いました。	480	2・1・4	浪岡振興部 地域づくり振興課
継続	浪岡地区バドミントン移住学生支援事業（学生寮管理運営）	【令和6年度実績】 （移住学生支援金） ・交付件数 3件 ・ 交付金額 427千円 （青森市浪岡学生寮） ・入寮者数 12名	20,925	2・1・4	浪岡振興部 地域づくり振興課

基本政策

第1章

仕事をつくる

政策

第5節

連携や交流による地域活力の強化

施策

第3項

広域連携・国内交流の推進

前期基本計画の目標指標

指標の説明

方向

現状値

R6

R7

R8

R9

R10

近隣市町村との連携事業のうち、目標値を達成している事業数◎

青森圏域連携中核都市圏ビジョン（構成市町村：青森市、平内町、今別町、外ヶ浜町、蓬田村）における連携事業のうち、目標値に対する実績値の割合が75%以上の事業数

+

R5

42

件

目標値

42

実績値

45

42

達成度評価

A

近隣市町村との連携事業のうち、目標値を達成している事業数は45事業となり、目標値を上回りました。

前期基本計画の目標指標

指標の説明

方向

現状値

R6

R7

R8

R9

R10

青森・函館ツインシティ交流事業数

文化、スポーツ、観光、経済等の分野における両市の交流事業数

+

R5

95

件

目標値

96

実績値

86

97

98

99

100

達成度評価

B

青森・函館ツインシティ交流事業数は86件となり、目標値を下回りました。

17

ハートマークデザイン
白黒を濃淡によう



(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
拡充	青函ツインシティ推進事業	青函ツインシティ提携35周年を迎え、各種記念事業等の実施により、幅広い分野での交流促進に取り組むことで、青函地域の一層の活性化と一体的な発展を図りました。 【令和6年度実績】 ○35周年記念事業 ・35周年記念式典 ・ イベントでの相互PR ・津軽海峡ロボコン大会 ・ 青函産学連携商品開発 ・北海道・北東北の縄文遺跡群訪問ツアー ・青函ツインシティフェスタ ○関連事業 ・津軽海峡エリア料理人フォーラムin青森 ・学生ビジネスアイデアコンテスト	3,388	2・1・4	企画部 連携推進課

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	連携中枢都市圏推進事務（連携）	人口減少・少子高齢社会にあっても地域を活性化し経済を持続可能なものとし、市民が安心して快適な暮らしを営んでいけるよう、5年を期間とする「青森圏域連携中枢都市圏ビジョン」を策定し、東津軽郡4町村と連携してビジョンの推進に取り組んでいます。 令和6年度は、第1期ビジョンのフォローアップを行い、成果の検証等を踏まえ、令和7年度を始期とする第2期ビジョンを策定しました。 【令和6年度実績】 ・令和6年7月25日 第1回ビジョン懇談会 ・令和6年10月23日 第2回ビジョン懇談会 ・令和6年12月26日 市町村長会議	324	2・1・4	企画部 連携推進課
継続	屋久島との交流推進事業	中学生の豊かな人間性や社会性を育み将来の青森市を支える人材の育成及び地域の活性化を図るため、平成3年度から実施している屋久島町の中学生との交換ホームステイによる交流事業を支援しました。 【令和6年度実績】 ○交換ホームステイ参加者数 ・青森市 2名、屋久島町 2名	261	2・1・4	浪岡振興部 地域づくり 振興課
継続	縄文都市交流事業	縄文の魅力や歴史的意義を広くPRし、観光面も考慮した、効果的にまちづくりに活かすため、縄文遺跡を有する都市間の情報共有化と発信及び縄文文化の活用による地域活性化策の調査・研究の推進を図りました。 【令和6年度実績＞ ・縄文シティサミット参加者数 360人 （開催地：洞爺湖町）	99	10・5・1	教育委員会 事務局 文化遺産課

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる
政策	第1節	未来を担う人材の育成
施策	第1項	多様なニーズに応じた切れ目のない子育て支援



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
妊産婦への伴走型相談支援実施率◎	保健師等による妊産婦への妊娠期から子育て期を通じた伴走型相談支援を実施した割合	＋	R5	100	％	目標値	100	100	100	100	100	
						実績値	100					
達成度評価	妊産婦への伴走型相談支援実施率は100％となり、目標値に達しました。											
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
乳幼児健康診査の受診率	乳幼児健康診査を受診した子どもの割合	＋	R5	100	％	目標値	100	100	100	100	100	
						実績値	98.7					
達成度評価	乳幼児健康診査の受診率は98.7％となり、目標値を下回りました。											
B												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
乳幼児の就園率◎	乳幼児数に対する保育施設等の利用者の割合	＋	R5	82.4	％	目標値	82.8	83.5	84.0	84.6	85.1	
						実績値	82.8					
達成度評価	乳幼児の就園率は82.8％となり、目標値に達しました。											
A												

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	青森市立小・中学校給食費の全額公費負担	子育て支援充実のため、令和4年10月1日から実施した市立小・中学校の児童生徒に提供する学校給食の全額公費負担を令和6年度も継続し、保護者負担の軽減を図りました。 【令和6年度実績】 ○保護者負担軽減額 ・小学校 653,391千円 ・中学校 411,764千円	1,065,155	歳入 22.6.6	教育委員会 事務局 学校給食課
拡充	児童手当支給事業	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資するため、児童を養育するかたを対象に、児童手当を適正に支給しました。 国の「こども未来戦略」に基づき、令和6年10月分（令和6年12月支給）から児童手当を拡充しました。 【拡充内容】 ・第3子以降の支給額を3万円/月に増額 ・高校生の年代まで支給期間延長 ・所得制限の撤廃 ・支給月を3回（6、10、2月）から隔月（偶数月）の6回へ ・第3子以降（多子加算）のカウント方法を、高校生の年代までの児童に加え、児童手当受給者に経済的な負担等がある18歳年度末以降から22歳年度末までの子に拡充 【令和6年度実績】 ・児童手当延べ受給者数 60,972人 ・児童手当延べ対象児童数 279,819人 ・児童手当支給総額 3,262,320千円	3,272,685	3・2・2	福祉部 子育て支援課
新規	不妊治療費助成事業	不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、医療保険適用となる不妊治療（生殖補助医療：体外受精・顕微授精・男性不妊治療）に要する費用の自己負担分の一部を助成しました。 【助成額】 1回の不妊治療につき、自己負担額の2/3（上限5万円） 【令和6年度実績】 ・不妊治療費助成件数 67件	2,273	4・1・4	保健部 あおもり親子はぐくみプラザ

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
新規	新生児聴覚検査事業	先天性の聴覚障害を早期発見し、早期療育につなげるため、公費負担により新生児聴覚検査を実施し、子どもの健やかな発育・発達を支援しました。 初回検査で再検査となった場合は確認検査を実施しました。 【令和6年度実績】 ・初回検査及び確認検査延べ受診件数：1,129件	9,738	4・1・4	保健部 あおもり親子はぐくみプラザ
拡充	産後ケア事業	産後1年未満の母親が安心して育児をし、子どもが健やかに成長できるよう、育児相談や乳房ケアを含む授乳指導、沐浴指導等を行いました。 【拡充内容】 市内ホテルでの「デイサービス型」と自宅での「訪問型」に加え、ホテルに泊まり実施する「宿泊型」を拡充しました。 【令和6年度実績】 ・宿泊型 32件、デイサービス型 5件、訪問型 90件	4,232	4・1・4	保健部 あおもり親子はぐくみプラザ
継続	児童福祉施設整備費補助金交付事務	「青森市子ども総合プラン」及び「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、児童福祉施設（保育所等）の整備に係る経費の一部を支援しました。	503	3・2・1	福祉部 子育て支援課
継続	私立保育所等運営事業	私立保育所、認定こども園、幼稚園等に対し、入所児童の教育・保育の提供に必要な運営経費を支給しました。 また、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化がスタートし、次の子どもたちの保育料が無償となりました。 ・3歳から5歳までの全ての子ども ・0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子ども ・認可外保育所の子どもの保育料は、3歳から5歳は月額3.7万円、住民税非課税世帯の0歳から2歳は月額4.2万円を上限として無償化 【令和6年度実績】 ・保育所等入所児童数（年間延べ人数） - 保育所（50箇所） 35,970人 - 認定こども園（49箇所） 1号認定子ども 9,834人 2.3号認定子ども 37,143人 - 新制度に移行した幼稚園（12箇所） 4,122人 - 小規模保育事業所（8箇所） 1,415人 - 合計（119箇所） 88,484人 ※青森市民で他市町村の保育所等に入所している児童を含む。ただし、他市町村からの入所児童を除く。 ・民間託児施設（認可外保育施設）保育料助成人数6人	11,806,337	3・2・2	福祉部 子育て支援課
継続	一時預かり事業（連携）	乳幼児期の教育・保育を充実させるため、一時預かり事業を実施する保育所等及び幼稚園在園児を対象に行う幼稚園型一時預かり事業を実施する幼稚園等へ補助金を交付しました。 また、令和2年度から連携中枢都市圏（東青地区）事業として4町村（平内町、今別町、外ヶ浜町、蓬田村）を対象に拡大し、事業を実施しました。 【令和6年度実績】 ・実施箇所数：46箇所〔一般型〕 52箇所〔幼稚園型〕 ・延べ利用児童数：3,634人〔一般型〕 81,384人〔幼稚園型〕	104,244	3・2・2	福祉部 子育て支援課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	病児一時保育事業 (連携)	保護者が就労している等の理由により、児童が病気の際に自宅での保育が困難な場合において一時的に保育する病児一時保育所の運営を委託により実施しました。 併せて、診療情報提供書作成費用を助成しました。 また、令和2年度から連携中枢都市圏（東青地区）事業として4町村（平内町、今別町、外ヶ浜町、蓬田村）を対象に拡大し、事業を実施しました。 【令和6年度実績】 ・実施箇所数：4箇所 ・延べ利用児童数：670人 ・補助件数：34件	39,826	3・2・1	福祉部 子育て支援課
継続	延長保育促進事業	延長保育に対する需要に対応するため、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者が自主的に延長保育に取り組む保育所等へ補助金を交付しました。 【令和6年度実績】 ・実施箇所数：7箇所 [短時間のみ] 2箇所 [標準時間のみ] 90箇所 [短時間・標準時間両方] ・延べ利用児童数：93,456人	69,750	3・2・2	福祉部 子育て支援課
継続	医療的ケア児保育 支援事業	保育所等に入所している医療的ケア児に保育を行うため、受入体制の整備に係る経費の助成を行いました。 【令和6年度実績】 ・医療的ケア児保育事業 対象児童9人 延べ月数99か月	12,771	3・2・2	福祉部 子育て支援課
継続	障がい児保育事業	保育所等に入所している中程度の障がいのある児童に保育を行うため、受入体制の整備に係る経費の助成を行いました。 障がい児（障がい児保育及びふれあい保育対象児童）を4人以上受入している施設に対し補助を行い、障がい児保育の推進を図りました。 【令和6年度実績】 ・障がい児保育事業 対象児童31人 延べ月数340か月 ・障がい児保育円滑化事業 対象施設数20箇所	36,477	3・2・2	福祉部 子育て支援課
新規	乳児等通園支援事業 (こども誰でも通園制度)	月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる「こども誰でも通園制度」の創設を見据え、本市における効果や課題等について把握・検証するため、試行的事業を実施しました。 〔対象〕保育所等に通っていない0歳6か月～2歳児 【令和6年度実績】 ・実施箇所数：8箇所 ・延べ利用者数：176人	473	3・2・2	福祉部 子育て支援課
継続	ひとり親家庭等就業 自立支援事業	ひとり親の就業を促進するため、就業に関する各種相談や自立支援プログラムの作成、各種講習会の実施、経済的自立に有効な資格取得促進のための給付金の支給等を行いました。 【令和6年度実績（支給件数・支給額）】 ・自立支援教育訓練給付金 10件 4,404,908円 ・高等職業訓練促進給付金 19件 23,684,000円 ・高等職業訓練修了支援給付金 4件 200,000円	32,070	3・2・3	福祉部 子育て支援課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	つどいの広場運営事業	子育てへの負担感や育児不安の解消を図るため、つどいの広場「さんぽぽ」において、親子同士が交流する場を提供し、子育て相談や子育て情報の提供を行いました。 ・子育て親子の交流、つどいの場の提供 ・子育てに関する相談、援助の実施 ・地域の子育て関連情報の提供 ・子育て及び子育て支援に関する講習 など 【令和6年度実績】 ・利用者数：17,045人	6,327	3・2・5	保健部 あおもり親子はぐくみプラザ
拡充	親子のきずなづくり事業	妊娠期から子育て期を通して、親子のふれあいについて学び、親子の絆を深められるよう、マタニティ講座や乳児期の絵本の紹介と読み聞かせ、ふれあい遊び体験などを実施しました。 【拡充内容】 1歳6か月児健康診査において、絵本の読み聞かせを実演したほか、読み聞かせした絵本などの中から1冊を進呈し、幼児期における親子のふれあいの取組を拡充しました。 【令和6年度実績】 ・マタニティ講座実施回数 24回	2,213	4・1・4	保健部 あおもり親子はぐくみプラザ
継続	産前・産後の心と体のケア事業	妊産婦の産前・産後の心や体の変化、妊娠・出産・子育てに関する不安や悩みの軽減を図るため、助産師や管理栄養士が、妊産婦の心身の不調や授乳等の育児に関する相談支援を行いました。 【令和6年度実績】 ・電話：86件、来所：226件、訪問：31件、合計：343件	11,257	4・1・4	保健部 あおもり親子はぐくみプラザ
継続	乳幼児健康診査事業（4か月児、7か月児、1歳6か月児、3歳児）	4か月児、7か月児、1歳6か月児、3歳児の健やかな成長を支え、心身の発育・発達の遅れなどの早期発見・早期治療を図るため、医師、保健師、栄養士などによる健康診査を実施しました。 【令和6年度実績】 ・乳幼児健康診査実施率：98.7%	28,001	4・1・4	保健部 あおもり親子はぐくみプラザ
継続	妊婦健康診査事業	安心して妊娠・出産ができるよう、公費負担により基本的な妊婦健康診査や超音波検査のほか、流産の危険因子である妊婦の細菌性膣症を発見するための検査を実施しました。 【令和6年度実績】 ・延べ受診件数：14,309件	135,964	4・1・4	保健部 あおもり親子はぐくみプラザ
継続	妊産婦・新生児訪問指導事業	妊産婦の妊娠・出産・育児に関する不安の軽減や新生児の健やかな成長・発達を支援するため、保健師等による訪問指導を行いました。 【令和6年度実績】 ・新生児訪問指導の訪問指導率 99.4%	3,397	4・1・4	保健部 あおもり親子はぐくみプラザ
拡充	子ども医療費助成事業	子どもを持つ保護者が経済的に安心して子どもを医療機関等に受診させることができるよう、子どもにかかる医療費の助成を行いました。 令和6年10月1日診療分から、助成対象を高校生等の入院・通院費までに拡大するとともに、未就学児及び小・中学生の保護者を含めた全ての保護者の所得制限を撤廃しました。 【令和6年度実績（受給者数）】 ・0歳児～中学3年生 24,329人（23,247人） ・高校生等 5,450人（対象外） 合計 29,779人（23,247人） ※令和7年3月31日の人数。（）は令和6年3月31日の人数。	889,278	3・1・6	税務部 国保医療年金課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	ひとり親家庭等医療費助成事業	子ども医療費助成の拡充に伴い、高校生等に対する医療費の助成方法を、償還払いから、子ども医療費助成と同様に、窓口での支払いを要しない現物給付としました。	207,425	3・1・6	税務部 国保医療年金課
継続	保育所等入所・退所事務	私立保育所、認定こども園、幼稚園等の利用に係る給付費の支給認定や施設の利用に関する事務を行いました。 国の施策により令和元年10月から既に保育料の無償化を実施している3歳児から5歳児クラスに加え、令和6年10月分から本市独自の軽減策として、2歳児クラスの保育料全額公費負担を実施しました。 【令和6年度実績】 ・2歳児クラス入所児童延べ人数（R6.10～3月）6,605人 ※青森市民で他市町村の保育所等に入所している児童を含む ・2歳児クラス保育料全額公費負担額 159,201千円	6,743	3・2・1	福祉部 子育て支援課
継続	私立保育所等運営事業【再掲】	私立保育所、認定こども園、幼稚園等に対し、入所児童の教育・保育の提供に必要な運営経費を支給しました。 また、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化がスタートし、次の子どもたちの保育料が無償となりました。 ・3歳から5歳までの全ての子ども ・0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子ども ・認可外保育所の子どもの保育料は、3歳から5歳は月額3.7万円、住民税非課税世帯の0歳から2歳は月額4.2万円を上限として無償化 【令和6年度実績】 ・保育所等入所児童数（年間延べ人数） - 保育所（50箇所） 35,970人 - 認定こども園（49箇所） 1号認定子ども 9,834人 2.3号認定子ども 37,143人 - 新制度に移行した幼稚園（12箇所） 4,122人 - 小規模保育事業所（8箇所） 1,415人 - 合計（119箇所） 88,484人 ※青森市民で他市町村の保育所等に入所している児童を含む。ただし、他市町村からの入所児童を除く。 ・民間託児施設（認可外保育施設）保育料助成人数6人	11,806,337	3・2・2	福祉部 子育て支援課
拡充	障害児通所支援事業	障がいのある児童等に対して、集団生活への適応を支援するとともに、治療や社会との交流の促進、活動の場の提供を目的として、児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援を実施しました。 また、青森県学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金を活用し、2歳児クラスに通う障がい児の通所支援に係る利用者負担額について、令和6年10月から全額公費負担を開始しました。 【令和6年度実績】 ・児童発達支援 延べ 44,814日 ・居宅訪問型児童発達支援 延べ 241日 ・放課後等デイサービス 延べ 121,584日 ・保育所等訪問支援 延べ 3,489日	1,882,727	3・1・2	福祉部 障がい者支援課
新規	学校における集団フッ化物洗口支援事業（県交付金）	全ての小中学校で、集団でのフッ化物洗口を実施し、むし歯予防及び健康意識の向上が図られました。 【令和6年度実績】 ・全小中学校で実施	12,996	10・6・1	教育委員会 事務局 学務課
新規	修学旅行支援事業（県交付金）	経済的理由により修学旅行に参加できない児童生徒が発生しないよう、児童生徒の保護者に対して、修学旅行費の一部を公費負担するための補助金を交付しました。 【補助額（上限）】 - 小学校児童一人当たり 35,000円 - 中学校生徒一人当たり 66,000円	169,008	10・1・1	教育委員会 事務局 学務課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
新規	物価高騰支援給付金（こども加算）給付事業	令和6年度における住民税非課税世帯への給付に対する加算措置として、当該給付対象世帯の世帯員である18歳以下のこども1人当たり2万円を給付しました。 【令和6年度実績】 ・給付対象件数 2,008件 ・給付対象児童数 3,298人	75,738,852	3・2・2	福祉部 子育て支援課
新規	均等割のみ課税世帯支援給付金（こども加算）給付事業	令和6年度における住民税均等割のみ課税世帯への給付に対する加算措置として、当該給付対象世帯の世帯員である18歳以下のこども1人当たり2万円を給付しました。 【令和6年度実績】 ・給付対象件数 390件 ・給付対象児童数 719人	14,453,481	3・2・2	福祉部 子育て支援課

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる	3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を實現しよう 10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで持続可能な開発しよう									
政策	第1節	未来を担う人財の育成										
施策	第2項	子どもの居場所や主体的に活動できる環境の充実										
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
放課後児童会、児童館、児童室、児童センターの利用を希望する児童の受入率◎		放課後児童会、児童館、児童室、児童センターの利用を希望する児童を受け入れた割合	+	R5	100	%	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	100				
達成度評価	放課後児童会、児童館、児童室、児童センターの利用を希望する児童の受入率は100%となり、目標値に達しました。											
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
青森市子ども会議委員の意見表明機会の回数		青森市子ども会議委員が意見を表明する機会の回数	+	R5	7	回	目標値	7	7	7	7	7
							実績値	7				
達成度評価	青森市子ども会議委員が意見を表明する機会の回数は7回となり、目標値に達しました。											
A												

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
拡充	放課後児童対策事業	保護者が就労等で日中家庭にいない小学校に就学している児童に対し、小学校の余裕教室等を活用しながら、放課後に安心して過ごせる居場所を提供しました。 【拡充内容】 障害のある児童への支援の充実を図るため、令和6年度から市内の保育所等訪問支援事業所等と連携し、専門職を放課後児童会へ派遣し、放課後児童支援員に対し、助言・技術的指導を行いまいした。 【令和6年度実績】 ・開設箇所 50箇所（青森地区47箇所、浪岡地区3箇所） ・運営委託 2箇所（沖館、大野第二） ・開設時間 平日 : 13:00～18:30 学校休業日 : 8:00～18:30 土曜日 : 8:00～18:00 ・負担金 : 月3,200円 ・入会児童数 : 3,619人 ※令和6年4月1日現在 ・保育所等訪問支援事業所等の専門職からの助言・技術的指導 5事業所が5放課後児童会で実施	769,237	3・1・4	福祉部 子育て支援課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	青森市子ども会議運営事業	まちづくりをはじめ、市政などについて子どもが意見を表明し、自ら実践・参加する場として、小学校5年生から高等学校3年生までの子ども30人程度で構成する「青森市子ども会議」を設置し、運営しました。 【令和6年度実績】 ・青森市子ども会議委員数 30人 ・年間活動回数 23回	122	3・2・1	福祉部 子育て支援課
継続	子ども・家庭総合相談支援事業	子どもを安心して産み育て、すべての子どもが健やかに成長できるよう、相談支援体制を充実させ、ソーシャルワークを中心とした機能を生かし、関係機関と連携して支援を行いました。 ・臨床心理士、社会福祉士、保育士等の専門職による相談支援 ・要支援児童及び要保護児童等への支援、関係機関との連絡調整等 【令和6年度実績】 ・虐待相談件数：132件 ・個別ケース検討会議：20回	4,174	3・2・1	保健部 あおり親子はぐくみプラザ
新規	青森市こども・若者の居場所づくり支援モデル事業	ひとり親家庭等、生活保護受給世帯及び就学援助受給世帯の中学生を対象に本市が実施している「子どもの居場所づくり・学習応援事業」の対象範囲からこぼれるこども・若者においても、心身の状況や家庭環境に関わらず、安心・安全な居場所が提供され、様々な学びや多様な体験活動を通じ、社会で生き抜く力が培われる「こどもまんなか」の新たな居場所づくりをモデル的に実施しました。 【令和6年度実績】 ・利用者数 13人	2,784	3・2・3	福祉部 子育て支援課
新規	子ども食堂等物価高騰対策支援事業	エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている子ども食堂等を運営する団体に対し、支援金を給付しました。 【給付対象】 子ども食堂又は青森こども宅食おすそわけ便を行っている以下の団体 ・申請時点において、市内に所在する団体 ・令和6年4月1日以後、申請を行うまでに市内で子ども食堂等の実績がある団体 ・当面、子ども食堂等を休止し、又は廃止する見込みがない団体 【給付額】 1団体当たり5万円 【令和6年度実績】 ・受付期間 令和7年3月3日～3月14日 ・給付団体数 15団体 ・給付金額 750,000円	758	3・2・1	福祉部 子育て支援課

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる
政策	第1節	未来を担う人財の育成
施策	第3項	多様なニーズに応じた快適で質の高い教育の提供



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
ICTを活用した学習状況（小学校）◎		全国学力・学習状況調査等の「ICTを活用した学習状況」に関する項目について、「ICT機器を授業でほぼ毎日活用した」と回答した小学校の割合	＋	R5	88.1	％	目標値	88.1	88.1	88.1	88.1	88.1
							実績値	85.7				
達成度評価	ICTを活用した学習状況（小学校）は85.7％となり、目標値を下回りました。											
B												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
ICTを活用した学習状況（中学校）◎		全国学力・学習状況調査等の「ICTを活用した学習状況」に関する項目について、「ICT機器を授業でほぼ毎日活用した」と回答した中学校の割合	＋	R5	89.5	％	目標値	89.5	89.5	89.5	89.5	89.5
							実績値	89.5				
達成度評価	ICTを活用した学習状況（中学校）は89.5％となり、目標値に達しました。											
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
学習指導への評価（小学生）◎		全国学力・学習状況調査等の「先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについてわかるまで教えてくれていると思いますか」という質問に対して「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した小学校6年生の割合	＋	R5	95.9	％	目標値	95.9	95.9	95.9	95.9	95.9
							実績値	92.9				
達成度評価	学習指導への評価（小学生）は92.9％となり、目標値を下回りました。											
B												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
学習指導への評価（中学生）◎		全国学力・学習状況調査等の「先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについてわかるまで教えてくれていると思いますか」という質問に対して「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した中学校3年生の割合	＋	R5	90.2	％	目標値	90.2	90.2	90.2	90.2	90.2
							実績値	90.8				
達成度評価	学習指導への評価（中学生）は90.8％となり、目標値を上回りました。											
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
学校生活に関する評価（小学生）		全国学力・学習状況調査等の「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という質問に対して「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した小学校6年生の割合	＋	R5	76.5	％	目標値	77.5	78.5	79.5	80.5	81.5
							実績値	76.8				
達成度評価	学校生活に関する評価（小学生）は76.8％となり、目標値を下回りました。											
B												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
学校生活に関する評価（中学生）		全国学力・学習状況調査等の「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という質問に対して「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した中学校3年生の割合	＋	R5	71.8	％	目標値	72.8	73.8	74.8	75.8	76.8
							実績値	79.2				
達成度評価	学校生活に関する評価（中学生）は79.2％となり、目標値を上回りました。											
A												

（単位：千円）

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	青森市いじめ防止対策総合推進事業	いじめ防止対策審議会やいじめ問題対策連絡協議会の開催により、いじめ対応への見直しや関係機関等との連携が図られました。また、1人1台端末を活用した教育相談等の実施により、いじめを早期に発見できたこと、対応に苦慮している学校へ緊急支援チームを派遣する等の支援により、解消率は高い状況を維持しました。 【令和6年度実績】 - いじめ防止対策審議会の開催 3回 - いじめ問題対策連絡協議会の開催 3回 1人1台端末を活用した教育相談 190件 - 緊急支援チームの派遣 8件 - いじめの解消率 78.9%	819	3・1・4	教育委員会事務局指導課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	小・中学校安全・安心対策事業（連携）	子どもたちが利用している、パソコンやタブレット、スマートフォンを介したSNSへの悪質な書き込み、個人への誹謗中傷などのいじめに繋がるような書き込みを検索することにより、その利用実態を把握し、子どもたちが被害者や加害者にならないよう未然防止に取り組みました。 【令和6年度実績】 ・学校に情報提供した件数 201件	6,285	3・1・4	教育委員会事務局指導課
拡充	医療的ケア児支援事業	医療的ケア児が医療的ケア児でない児童と共に教育を受けられるよう、学校に看護師等を配置するなど、適切な支援を行うための体制を整備しました。 また、より適切な支援を行うため、看護師等の派遣に加え常駐による配置ができるよう拡充しました。 【令和6年度実績】 ・看護師を配置した学校数 2校 ・訪問看護により対応した学校数 2校	5,595	10・1・1	教育委員会事務局学務課
継続	特別支援教育支援員配置事業	青森市立小・中学校に在籍する教育上特別な支援を必要とする普通学級の児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置し、学校生活上の介助や学習活動上の支援を適切に受けることができるような体制を整備しました。 【令和6年度実績】 ・配置校及び配置人数 小学校 36校、48人 中学校 2校、2人	38,368	10・1・1	教育委員会事務局学務課
継続	GIGAスクール構想運用管理事業	Society5.0時代に生きる子どもたちの未来を見据え、高速大容量の通信ネットワーク等を整備する「GIGAスクール構想」の実現のため1人1台端末を配備しました。 【令和6年度実績】 ・端末配備数 小学校12,446台 中学校6,764台	119,187	55・10・20	教育委員会事務局総務課
継続	多文化共生に向けた日本語指導支援事業	青森市立小・中学校に在籍する、日本語指導が必要な外国人児童生徒へ適切な支援、指導を行いました。 【令和6年度実績】 支援員の派遣実績 484回	3,498	10・1・2	教育委員会事務局指導課
継続	外国語指導助手（ALT）活用事業	英語を母語とする外国語指導助手（ALT）を小・中学校に派遣し、授業等において、自国文化の紹介や、英語の発音、表現方法等についての指導補助を行いました。 【令和6年度実績】 ・ALTの人数 17人 ・小・中学校における外国語指導助手を活用した授業時間 9,044時間	83,661	10・1・2	教育委員会事務局指導課
継続	小中一貫及び小・中連携教育課程研究開発事業	これまでの研究成果を踏まえつつ、小中一貫・連携教育の取組や他の研究指定校の成果や課題を参考に、中学校区の学校課題解決に向けた共通の取組や実践研究の成果発表を行いました。 【令和6年度実績】 研究成果の公開発表会 4中学校区（油川、三内、南、戸山）	430	10・1・2	教育委員会事務局指導課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	教育環境整備事業	老朽化した学校の外壁や屋内運動場の照明などの改修を行い、教育環境の改善と建物の耐久性の確保を図りました。 【令和6年度実績】 ・三内小学校 外壁・内装工事 ・沖館小学校 屋内運動場照明改修工事 ・苺町小学校 真空温水器改修工事 ・浦町小学校、新城中央小学校、沖館中学校、北中学校 地下貯留槽漏洩防止対策工事 ・浪岡中学校 校舎屋上防水改修工事 ・筒井中学校 ボイラー改修工事、消火水槽改修工事 ・学級編制により増加した普通教室にエアコンを増設	520,142	10・2・1 10・3・1	教育委員会 事務局 総務課
継続	小中学校改築事業	学校施設の老朽化に対応する改築を行い、安全・安心な施設環境を確保し、教育環境の向上を図りました。 【令和6年度実績】 ・泉川小学校 地質調査、敷地測量 ・筒井小学校 旧校舎、旧屋内運動場の解体工事 ・造道小学校 校舎改築工事 ・西中学校 旧屋内運動場の解体工事	1,033,115	10・2・3 10・3・3	教育委員会 事務局 総務課
継続	コミュニティ・スクール推進体制構築事業	中学校区ごとに「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を設置し、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの義務教育9年間の豊かな学びと育ちの環境づくり、地域とともにある学校づくりの実現を目指した取組を行いました。 【令和6年度実績】 ・12中学校区39小中学校に設置	1,281	10・5・1	教育委員会 事務局 文化学習活動推進課
継続	地域学校協働活動推進事業	学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えるとともに、地域と学校のパートナーシップに基づく双方の「連携・協働」へ更に発展させるため、地域学校協働本部を設置しました。 これを受けて、地域学校協働活動推進員が窓口となって、地域ボランティアを活用した教育活動の支援を行いました。 【令和6年度実績】 ・実施校 19本部61校（全ての小・中学校） ・活動内容 学習支援、部活動指導、環境整備、登下校安全指導、学校行事支援等 ・ボランティア登録者数 3,347人 ・活動参加者数（延べ） 39,444人 ・活動日数（延べ） 10,137日	3,480	10・5・1	教育委員会 事務局 文化学習活動推進課
継続	スイミング支援事業	学校プール未設置校や、老朽化に伴う故障等でプールを使用できなくなった学校が増えていることから、本事業により水泳授業を実施し児童の体力の向上を図るとともに、水難事故防止の指導を行いました。 【令和6年度実績】 ・水泳授業実施校 小学校42校 ・着衣泳実施校 小学校37校 ※複式学級を編成している学校は2年に一回実施	9,612	10・6・1	教育委員会 事務局 指導課
新規	学校における働き方改革環境整備事業	県の令和6年度当初予算に公立学校における教育改革支援事業費が盛り込まれたのを受け、本市の小・中学校における働き方改革を推進するため、必要な環境整備等を実施しました。 【令和6年度実績】 ・自動応答メッセージ対応の電話装置の導入 全ての小・中学校 ・自動採点システムの導入 全ての中学校 ・大型提示装置の導入 全ての小・中学校 ・電子黒板の導入 2台	22,563	10・1・1	教育委員会 事務局 総務課

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる
政策	第1節	未来を担う人財の育成
施策	第4項	青少年の健全育成と生涯学習の推進



前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向		現状値			R6	R7	R8	R9	R10	
コミュニケーション能力の育成に関する評価（小学生）		全国学力・学習状況調査等の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」という質問に対して「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した小学校6年生の割合		＋		R5	87.2	％	目標値	87.5	87.8	88.1	88.4	88.7
									実績値	90.5				
達成度評価		コミュニケーション能力の育成に関する評価（小学生）は90.5％となり、目標値を上回りました。												
A														
前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向		現状値			R6	R7	R8	R9	R10	
コミュニケーション能力の育成に関する評価（中学生）		全国学力・学習状況調査等の「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」という質問に対して「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した中学校3年生の割合		＋		R5	79.3	％	目標値	79.6	79.9	80.2	80.5	80.8
									実績値	90.0				
達成度評価		コミュニケーション能力の育成に関する評価（中学生）は90.0％となり、目標値を上回りました。												
A														
前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向		現状値			R6	R7	R8	R9	R10	
市民1人が1年間に図書館や市民センター等の施設を利用した回数◎		各年度における市民図書館、青森地区市民センター、浪岡地区公民館、細野山の家の利用者の合計を本市の人口で除した数		＋		R5	4.1	回	目標値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
									実績値	4.1				
達成度評価		市民1人が1年間に図書館や市民センター等の施設を利用した回数は4.1回となり、目標値に達しました。												
A														

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	生涯学習支援事業	中央市民センターをはじめとする市内各地区にある11市民センターを地域づくりの活動拠点・学習拠点施設として市民の生涯の各段階を通じた自主的な学習活動を支援するため、誰もが学習・活動・発表できる場や情報を提供しました。 【令和6年度実績】 ・市民センターで開催する教育活動への参加者数 37,959人	7,604	10・5・2	教育委員会事務局 中央市民センター
継続	図書館運営管理事業（連携）	図書館の利用者に快適な環境を提供するため、図書の貸出やレファレンスサービス等の窓口等業務及び施設の運営管理を行いました。 【令和6年度実績】 ・年間入館者数 419,496人	131,041	10・5・3	教育委員会事務局 市民図書館

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる	4 質の高い教育をみんなに 8 働きがいも経済成長も 17 パートナシップで目標を達成しよう									
政策	第2節	誰もが文化・スポーツに親しめる機会の充実										
施策	第1項	豊かな人生を創る文化芸術環境の充実										
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値			R6	R7	R8	R9	R10	
市民1人が1年間に文化施設を利用した回数		各年度における文化施設（文化会館、市民ホール、市民美術展示館、合浦亭、中世の館）の利用者の合計を本市の人口で除した数	+	R5	1.3	回	目標値	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7
							実績値	1.4				
達成度評価		市民1人が1年間に文化施設を利用した回数は1.4回となり、目標値を上回りました。										
A												

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	小学校演劇鑑賞支援事業（連携）	本市小学生の情操を養い、芸術に親しむ心を育てるため、劇団四季による「心の劇場」及び劇団ポプラによる演劇を鑑賞する機会を設定しました。 【令和6年度実績】 鑑賞した児童 4,089人	3,840	10・1・2	教育委員会事務局指導課
継続	青森市民文化祭開催事業	市民文化祭を開催し、市民に広く発表や鑑賞の機会を提供することによって、文化芸術の創造と発展に寄与しました。 【令和6年度実績】 ・出演団体 164団体 ・参加者数（出演者・出品者及び来場者） 15,615人	830	10・5・1	教育委員会事務局文化学習活動推進課
継続	文化振興施設運営管理事業	文化会館、市民ホール、市民美術展示館、合浦亭において、指定管理者による文化振興施設の適正な管理運営を行い、各種文化芸術事業を実施しました。 【令和6年度実績】 ・文化施設利用者数 442,921人 ・文化事業実施数及び参加者 32事業、42,284人	305,310	10・5・1 10・5・4	教育委員会事務局文化学習活動推進課

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる		4 質の高い教育をみんなに 8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう										
政策	第2節	誰もが文化・スポーツに親しめる機会の充実												
施策	第2項	文化芸術・歴史の継承												
前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向		現状値				R6	R7	R8	R9	R10
子ども1人が1年間に文化芸術資源を活用した事業に参加した回数◎		各年度における文化芸術資源を活用した事業への市内小・中学生の参加者数の合計を本市の児童生徒数で除した数		+		R5	0.9	回	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
									実績値	0.8				
達成度評価		子ども1人が1年間に文化芸術資源を活用した事業に参加した回数は0.8回で、目標値を下回りました。												
B														
前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向		現状値				R6	R7	R8	R9	R10
文化財を展示及び活用した施設の入館者数◎		文化財を展示及び活用した各施設の入館者数の合計		+		R5	45,475	人	目標値	46,060	46,620	47,180	47,740	48,300
									実績値	46,078				
達成度評価		文化財を展示及び活用した施設の入館者数は46,078人となり、目標値を上回りました。												
A														

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
新規	ねぶたアートフェスティバル2024開催事業	ねぶたならではの「技法」や「表現」に焦点をあてて制作された作品を「NEBUCO」と名付け、NEBUCOの展示等を行うイベント「AOMORI NEBUCO FESTIVAL 2024」を開催しました。 【令和6年度実績】 開催期間：令和6年7月31日(水)～8月12日(月) 会場：青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸 内容：展覧会、ワークショップ、グッズ販売 来場者数：10,683人	18,528	10・5・1	教育委員会事務局文化学習活動推進課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	地域の歴史を将来に伝え・残す事業	歴史資料室を主体として、平成25年度に完結した『新青森市史』を市民に提供するとともに、歴史講座等を通じて市民にその成果を還元しました。さらには、本市の歴史を将来に残していくため、市史編さんで収集してきた資料を適切に保存し、新資料の発見にも努めました。 【令和6年度実績】 ・「あおり歴史トリビアを読む会」開催回数 12回	2,209	2・1・2	教育委員会事務局 市民図書館
継続	文化芸術資源活用交流事業	文化芸術資源の技術継承・発展や子どもの体験機会の充実と教員の資質の向上などの人材育成を図るため、包括協定を締結している京都芸術大学等と連携し、交流事業を実施しました。 【令和6年度実績】 ・ワークショップ 「自分の目でよく観察しよう。ー2Dの世界と3Dの世界ー」 筒井小学校 参加者 90名 浦町中学校 参加者 139名	450	10・5・1	教育委員会事務局 文化学習活動推進課
継続	歴史的文化資源保存・活用事業	本市の無形民俗芸能・伝統芸能の保存と地域文化の発展に寄与するため、無形民俗芸能の保存団体等における伝承活動及び後継者の育成・確保を図りました。 【令和6年度実績】 ・民俗・伝統芸能団体への支援数 16団体	1,419	10・5・1	教育委員会事務局 文化遺産課
継続	高屋敷館遺跡管理事業	高屋敷館遺跡公園の保全のため、雑草木の刈払いを行うとともに、遺跡の保全状況を確認するための巡回を定期的に行いました。 【令和6年度実績】 ・管理巡回数 2回	1,318	10・5・1	教育委員会事務局 文化遺産課
継続	世界遺産保存・活用事業	関係自治体と連携し、本市に所在する三内丸山遺跡・小牧野遺跡を含む世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の保存・活用推進事業及び誘客・集客促進事業に取り組みました。 【令和6年度実績】 ・小牧野遺跡の来訪者 6,367人	304	10・5・1	教育委員会事務局 文化遺産課
継続	青森市小牧野遺跡保護施設企画運営事業	小牧野遺跡を中心とした出土品などの保管や展示等を行い、縄文文化の価値を正しく伝えながら、遺跡の適切な利用や遺跡保護に対する理解を深めるための事業やイベント等を実施しました。 【令和6年度実績】 ・縄文の学び舎・小牧野館の来訪者数 18,872人	660	10・5・1	教育委員会事務局 文化遺産課

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる
政策	第2節	誰もが文化・スポーツに親しめる機会の充実
施策	第3項	スポーツに親しめる環境づくりと地域活性化



前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
市内で開催されたスポーツ大会数（東北大会以上）		市内で開催された東北大会以上のスポーツ大会の数（国民スポーツ大会及び障害者スポーツ大会を除く）		＋	R5	43	大会	目標値	50	50	50	50	50
								実績値	53				
達成度評価	市内で開催されたスポーツ大会数（東北大会以上）は53件となり、目標値を上回りました。												
A													
前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
スポーツ施設利用者数◎		市の体育施設利用者数（国民スポーツ大会及び障害者スポーツ大会での利用者数を除く）		＋	R5	722,446	人	目標値	833,991	858,238	882,485	906,732	930,979
								実績値	968,529				
達成度評価	スポーツ施設利用者数は968,529人となり、目標値を上回りました。												
A													
前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
地域に開放された学校施設を利用してスポーツ活動を行った市民の数		地域住民に対して開放された小・中学校の屋内運動場や校庭を利用した市民の延べ人数		＋	R5	388,549	人	目標値	388,549	388,549	388,549	388,549	388,549
								実績値	383,736				
達成度評価	地域に開放された学校施設を利用してスポーツ活動を行った市民の数は383,736人となり、目標値を下回りました。												
B													
前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
市内で開催された地域のプロスポーツクラブ等の観客数◎		地域のプロスポーツクラブ等である青森ワッツ、ラインメール青森FCの市内で開催された試合の観客数		＋	R5	31,069	人	目標値	62,000	62,000	62,000	62,000	62,000
								実績値	47,631				
達成度評価	市内で開催された地域のプロスポーツクラブ等の観客数は47,631人となり、目標値を下回りました。												
B													

（単位：千円）

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
拡充	スポーツ施設機能整備事業	令和8年国民スポーツ大会開催に向けスポーツ人口の増加を図り、市民誰もがスポーツに親しめる環境づくりを進めるため、社会環境の変化や市民ニーズなどに応じたスポーツ施設の機能を整備します。 令和6年度は、市営野球場改修工事基本設計・詳細設計業務委託、スポーツ会館北棟3階屋根改修工事、屋内グラウンド東側球状屋根改修工事などを実施しました。	185,731	10・6・2	経済部 地域スポーツ課
継続	スポーツコミッション青森推進事業	本市のスポーツ資源を活用したスポーツツーリズムの推進をはじめ、各種スポーツ大会等の開催支援や合宿・スポーツイベントの誘致等を官民一体で取り組むことにより、スポーツを通じた交流促進等による地域活性化を図りました。 【令和6年度実績】 ・大会及び合宿誘致件数 12件	10,912	10・6・1	経済部 地域スポーツ課
継続	あおもり桜マラソン開催事業	本市のスポーツ人口の拡大や、市民の体力向上及び健康増進につなげるとともに、マラソンを通じた交流促進による地域活性化を図るため、フルマラソンをメインとした「2024 あおもり桜マラソン」を開催しました。 【令和6年度実績】 [日 時] 令和6年4月21日（日） [会 場] スタート会場 野木和公園 フィニッシュ会場 青い海公園 [参加者] 4,026人	34,242	10・6・1	経済部 地域スポーツ課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
拡充	第80回国民スポーツ大会開催準備事務（連携）	関係競技団体及び県との連携のもと、第80回国民スポーツ大会において本市で開催が予定されている14競技の準備を行いました。 また、各競技会場の実施設計を行ったほか、ラッピングバスによる広報活動など事業を拡充して実施しました。 【令和6年度実績】 ・青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会第1回常任委員会及び第2回総会を開催 ・各競技会場のレイアウト、関係者の動線、運営スタッフの配置人数などを整理した実施設計を実施 ・ラッピングバスの運行（2台） ・秋まつりなどの各種イベントへの参加によるPR（全8回）	27,121	10・6・1	経済部 国スポ・障スポ大会推進課
拡充	部活動指導員配置事業	生徒のスポーツ活動及び文化芸術活動に親しむ機会を充実させるとともに、これまで地域で築きあげたスポーツ活動及び文化芸術等の活動の維持・継続を図るため、中学校に部活動指導員を配置しました。 【令和6年度実績】 [配置校] 浪岡中学校（バドミントン部）、筒井中学校（陸上部） 沖館中学校（バスケットボール部）、造道中学校（合唱部） 油川中学校（華道部） [活動内容] 部活動の顧問として指導や大会・練習試合への引率 等	1,099	10・6・1	教育委員会 事務局 指導課
新規	青森市総合体育館及び青い森セントラルパーク等運営事業	市民の健康づくりとスポーツ振興、交流人口の拡大及び防災を目的とする拠点として、令和6年7月1日に供用開始した青森市総合体育館及び青い森セントラルパーク等の運営等を行いました。 【令和6年度実績】 利用者数 270,044人	218,470	10・6・2	経済部 地域スポーツ課 都市整備部 公園河川課
継続	スポーツ振興施設運営管理事業	市民のスポーツの普及・振興を図るため、スポーツ振興施設（市民体育館（令和6年6月末閉館）、市民室内プール、市営野球場、市営庭球場、屋内グラウンド、スポーツ会館及びスポーツ広場）を適切に管理運営するとともに、各施設を活用したスポーツ教室等を実施しました。 【令和6年度実績】 ○指定管理者 オカモト・角弘・青森放送・東洋建物共同企業体 ○利用者数 ・青森市民体育館 33,053人 ・青森市民室内プール 49,738人 ・青森市営野球場 51,573人 ・青森市営庭球場 730人 ・青森市スポーツ会館 152,857人 ・青森市屋内グラウンド 176,950人 ・青森市スポーツ広場 119,344人 ○スポーツ教室等参加者数 19,079人	269,787	10・6・2	経済部 地域スポーツ課
継続	浪岡体育館運営管理事業	施設の管理運営業務のほか、市民がスポーツ・レクリエーションに参加できる環境づくりを推進するため、主に青少年を対象としたスポーツ教室を開催しました。 【令和6年度実績】 ・指定管理者 浪岡青い森スポーツ協議会 ・利用者数 78,523人 ・スポーツ教室（8事業） 参加者数 689人	26,321	10・6・2	浪岡振興部 地域づくり振興課

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる
政策	第2節	誰もが文化・スポーツに親しめる機会の充実
施策	第4項	選手・指導者が活躍できる環境づくり



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
スポーツ賞・スポーツ奨励賞の受賞者数（個人競技）		個人競技でのスポーツ賞・スポーツ奨励賞受賞者数	+	R5	133	人	目標値	138	143	148	153	158
							実績値	111				
達成度評価	スポーツ賞・スポーツ奨励賞の受賞者数（個人競技）は111人となり、目標値を下回りました。											
B												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
スポーツ賞・スポーツ奨励賞の受賞団体数（団体競技）		団体競技でのスポーツ賞・スポーツ奨励賞受賞団体数	+	R5	32	団体	目標値	33	34	35	36	37
							実績値	21				
達成度評価	スポーツ賞・スポーツ奨励賞の受賞団体数（団体競技）は21団体となり、目標値を下回りました。											
C												

（単位：千円）

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	スポーツ賞表彰事業	スポーツ大会等で優秀な成績を収めた個人又は団体及び指導者を表彰しました。 【令和6年度実績】 ・スポーツ賞 5人、1団体 ・スポーツ奨励賞 106人、20団体 ・スポーツ指導者賞 0人	513	2・1・1	経済部 地域スポーツ課
継続	スポーツ推進委員設置事業	「スポーツ基本法」第32条の規定に基づき、スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに、地域、職域等においてスポーツに関する指導、助言を行うスポーツ推進委員を設置し、スポーツの振興・普及を図りました。 【令和6年度実績】 ・スポーツ推進委員 31人	1,779	10・6・1	経済部 地域スポーツ課
継続	青森市体育・スポーツ競技団体体育強化事業	市民及び市内競技団体の競技力の向上を図るため、一般財団法人青森市スポーツ協会が行う事業（市町村対抗青森県民体育大会選手派遣事業、青函対抗総合体育大会開催・選手派遣事業、国民体育大会選手派遣事業、カブ・パンビ卓球大会、小・中学校カーリング大会、スポーツ少年団本部活動事業）に対し補助金を交付しました。 【令和6年度実績】 ○市町村対抗青森県民体育大会選手派遣事業 ・参加競技 18競技 ○青函対抗総合体育大会開催・選手派遣事業 ・参加競技 11競技（夏季大会のみ） ○国民体育大会選手派遣事業 ・派遣人数 13名	11,545	10・6・1	経済部 地域スポーツ課

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる	2 前編をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 17 パートナシップで目標を達成しよう														
政策	第3節	生涯を通じた健康づくり・持続可能な医療提供体制の推進															
施策	第1項	更なる健康寿命の延伸															
前期基本計画の目標指標			指標の説明			方向		現状値			R6	R7	R8	R9	R10		
がんの標準化死亡比（男性）			全国水準（100）と比較した本市のがんの死亡率			－		R4 122.1		－		目標値	114.7	111.0	107.4	103.7	100.0
												実績値	未確定				
達成度評価		男性のがんの標準化死亡比は、全国水準と比べ高い状況にあることから、引き続き、がん予防のための取組が必要であると考															
未確定		えます。															
前期基本計画の目標指標			指標の説明			方向		現状値			R6	R7	R8	R9	R10		
がんの標準化死亡比（女性）			全国水準（100）と比較した本市のがんの死亡率			－		R4 122.9		－		目標値	115.3	111.5	107.6	103.8	100.0
												実績値	未確定				
達成度評価		女性のがんの標準化死亡比は、全国水準と比べ高い状況にあることから、引き続き、がん予防のための取組が必要であると考															
未確定		えます。															
前期基本計画の目標指標			指標の説明			方向		現状値			R6	R7	R8	R9	R10		
特定保健指導対象者の減少率◎			メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少の割合（2008年度比）			－		R4 △ 33.7		%		目標値	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0
												実績値	未確定				
達成度評価		メタボリックシンドローム該当者及び予備群である特定保健指導対象者は、国が示す目標値マイナス25.0%以上を保っていることから、引き続															
未確定		き特定健康診査の受診率・特定保健指導の実施率の向上を図り、今後も生活習慣病予防に向けた取組が必要であると考えます。															
前期基本計画の目標指標			指標の説明			方向		現状値			R6	R7	R8	R9	R10		
特定健診受診者の喫煙率◎			特定健診受診者のうち喫煙している者の割合			－		R4 12.8		%		目標値	12.7	12.5	12.3	12.1	11.9
												実績値	未確定				
達成度評価		特定健診受診者のうち喫煙している者の割合は、目標値よりやや高い状況にあることから、禁煙支援及び受動喫煙防止対策を															
未確定		継続的に行っていくことが必要であると考えます。															
前期基本計画の目標指標			指標の説明			方向		現状値			R6	R7	R8	R9	R10		
自殺による死亡率			人口10万人当たりの自殺者数			－		R4 20.9		－		目標値	15.4	14.9	14.3	13.7	13.2
												実績値	未確定				
達成度評価		人口10万人当たりの自殺者数は減少傾向にあるものの、こころの相談窓口に寄せられる相談件数は依然として増加傾向である															
未確定		ことから、引き続き、自殺予防に向けた継続的な取組が必要であると考えます。															

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	自殺対策事業	「青森市自殺対策行動計画」に基づき、地域におけるネットワークの強化、自殺対策を支える人材の育成、住民への啓発と周知等の取組を、県の「自殺対策強化事業費補助金」を活用しながら着実に推進しました。 【令和6年度実績】 ・ゲートキーパー養成講座（初級編、フォローアップ編）受講者数 82人 ・メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」年間アクセス数 24,210件 ・自殺予防週間におけるパネル展示（9月10～16日） ・「こころの相談窓口」夜間電話相談（10月の水曜日）	509	4・1・1	保健部 保健予防課
継続	各種がん検診事業	生活習慣病予防対策の一環として、がんの早期発見と市民の健康意識を高めるため、胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん検診を、市指定医療機関、（公財）青森県総合健診センター及び市民センター等において実施しました。 【令和6年度実績（受診者数）】 ・胃がん検診（胃内視鏡検査） 1,561人 ・胃がん検診（胃部エックス線検査） 5,838人 ・ABC胃がんリスク検診 381人 ・大腸がん検診 22,329人 ・肺がん検診 9,112人 ・子宮頸がん検診 5,332人 ・乳がん検診 5,023人	278,708	4・1・7	保健部 健康づくり推進課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	健康寿命延伸戦略事業	保健・医療の関係団体、地域の関係団体、学校、企業・事業者、行政等により組織した「青森市健康寿命延伸会議」と連携し、がん予防対策、肥満・糖尿病予防対策、たばこ対策に重点的に取り組み、市民総ぐるみの健康づくり運動を推進しました。 【令和6年度実績】 ・職場への出前健康講座実施件数 25件 ・QOL健診参加者 307名 ・あおりウオークトライアル2024参加者 575名 ・あおり健康づくりリーダー育成ゼミ修了者 16名 ・職域健康づくりリーダー育成ゼミ修了者 26名(18社) ・健康C&C参加者 延べ 4,081名	5,867	4・1・7	保健部 健康づくり 推進課
継続	特定健康診査等事業	メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を市の指定医療機関において通年で実施するとともに、市民センター等において集団健診を実施しました。 【令和6年度実績】(令和7年5月31日時点速報値) ・対象者 36,473人 受診者 13,560人 受診率 37.2%	177,822	国保 4・2・1	税務部 国保医療年金課
継続	特定保健指導事業	メタボリックシンドロームのかたを対象に、改善すべき課題を明確にしながら、運動支援・栄養支援・生活支援プログラムを面接指導又は短期間で集中的に実施することにより、生活習慣の改善を促し、目標とする効果を最大限引き出せるよう支援しました。 【令和6年度実績】(令和7年5月31日時点速報値) ・特定保健指導対象者の対平成20年度比減少率 32.9%	4,239	国保 4・2・1	税務部 国保医療年金課

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる
政策	第3節	生涯を通じた健康づくり・持続可能な医療提供体制の推進
施策	第2項	感染症予防対策の充実



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
結核罹患率		人口10万人当たりの結核発病者数	－	R4	7.1	－	目標値	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1
							実績値	4.2				
達成度評価	結核罹患率は4.2となり、目標値に達しました。											
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
麻疹・風しん予防接種の接種率		第2期予防接種を受けた子どもの割合	＋	R5	92.0	％	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
							実績値	92.9				
達成度評価	麻疹・風しん予防接種の接種率は92.9％となり、目標値を下回りました。											
B												

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	特定感染症検査等事業	特定感染症(HIV・性感染症・ウイルス性肝炎・風しん)の早期発見及びまん延防止のため、検査を行いました。 【令和6年度実績】 ・エイズ等検査受診者数 128人 ・肝炎ウイルス検査受診者数 1,386人 ・風しん抗体検査受診者数 164人	7,936	4・1・2	保健部 感染症対策課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
拡充	感染症予防事業	腸管出血性大腸菌感染症や新型コロナウイルス感染症などの感染症の予防及びまん延の防止のため、感染症予防に関する周知や健康教育、研修会を行ったほか、発生状況の調査や保健指導、病原体検査等を行いました。 【令和6年度実績】 - 検体検査実施数 130件 - 感染症発生時の調査実施数 18回 - IHEAT※研修実施数 1回 ※IHEATは感染症のまん延等の健康危機が発生した場合に、保健師等の専門職が保健所等の業務を支援する仕組みです。	33,596	4・1・2	保健部 感染症対策課
継続	結核予防事業	結核の予防及びまん延の防止を図るため、結核に関する予防啓発や発生状況の調査、接触者健康診断、病原体検査等を行いました。 【令和6年度実績】（1月1日～12月31日） 結核新規登録者数 11人	7,187	4・1・2	保健部 感染症対策課
継続	ヒトパピローマウイルス感染症予防接種事業	子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を防ぐため、定期接種としてHPVワクチンの予防接種を実施しました。 また、国の積極的な接種勧奨の差し控えにより接種機会を逃したかたに対して、公費による接種（キャッチアップ接種）を実施しました。 [対象者] - 小学6年生から高校1年生に相当する年齢の女子 - 平成9年度生まれから平成19年度生まれの女子（キャッチアップ接種） [実施場所] 市内指定医療機関 【令和6年度実績】 - 接種件数 8,102件	219,830	4・1・2	保健部 あおり親子はぐみプラザ
継続	麻疹・風しん予防接種事業	乳幼児の麻疹（はしか）及び風しん（三日はしか）の感染の予防、まん延の防止を図るため、指定医療機関において、通年で麻疹・風しんの予防接種を実施しました。 【令和6年度実績】 接種件数 2,778件	35,543	4・1・2	保健部 あおり親子はぐみプラザ
継続	新型コロナウイルスワクチン接種事業	新型コロナウイルス感染症による個人の重症化予防により重症者を減らすことを目的とし、満65歳以上の方等を対象に、市内の指定医療機関で新型コロナウイルス感染症予防接種を実施しました。 令和6年度からは高齢者を対象とした定期接種となりました。 【令和6年度実績】 ○接種期間 令和6年10月1日～令和7年2月28日 ○接種者数 19,241人	358,564	4・1・2	保健部 感染症対策課

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる
政策	第3節	生涯を通じた健康づくり・持続可能な医療提供体制の推進
施策	第3項	持続可能な医療提供体制の構築



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
紹介率（市民病院）◎		初診患者数に占める紹介患者数の割合	＋	R5	82.47	％	目標値	82.00	82.00	82.00	82.00	82.00
							実績値	82.51				
達成度評価	紹介率（市民病院）は82.51%となり、目標値を上回りました。											
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
逆紹介率（市民病院）◎		初診患者数に占める逆紹介患者数の割合	＋	R5	84.32	％	目標値	78.30	78.30	78.30	78.30	78.30
							実績値	82.64				
達成度評価	逆紹介率（市民病院）は82.64%となり、目標値を上回りました。											
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
訪問診療件数（浪岡病院）◎		在宅療養支援病院として、通院が困難な患者に対し訪問診療を行った件数	＋	R5	631	件	目標値	550	550	550	550	550
							実績値	619				
達成度評価	訪問診療件数（浪岡病院）は619件となり、目標値を上回りました。											
A												

（単位：千円）

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
拡 充	共同経営・統合新病院整備検討事業	共同経営・統合新病院の整備に当たり、統合効果の早期発現などを目的に地域医療連携推進法人を設立するとともに、県・市議会及び有識者会議での御議論に加え、県民・市民の皆様からの御意見を踏まえ「共同経営・統合新病院に係る基本計画」を策定したほか、統合新病院の整備に向けた調査業務に着手しました。	85,559	病院 収益的支出 1・1・3	市民病院 新病院整備 推進課
継 続	骨髄ドナー普及啓発助成事業	骨髄ドナー登録者の確保及び移植の促進を図るため、ドナーとなったかたが骨髄等を提供しやすい環境づくりを進めました。 【令和6年度実績】 ・助成件数 1件 ・助成金額 140千円 【令和6年度青森市骨髄ドナー登録者数】 ・2,749人（83人増）	151	4・1・1	保健部 保健予防課
継 続	医師確保対策特別事業	青森県における深刻な医師不足を解消するため、県内医師の最大供給源である弘前大学医学部との連携を促進し、同大学医学部への本県人材の進学誘導及び県内定着並びに地域医療の確保を図りました。 【令和6年度実績】 ・県内医療機関に勤務する制度利用者 174人（令和7年1月1日現在）	6,418	4・1・6	保健部 保健予防課
継 続	病院群輪番制病院事業	急病センター等からの重症患者搬送先である病院群輪番制病院において、休日・夜間における入院等を必要とする重症救急患者の医療を確保しました。 【令和6年度実績】 ・病院群輪番制病院診療日数 365日	21,739	4・1・6	保健部 保健予防課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	ヘルステックを核とした健康まちづくりプロジェクト	市民の健康寿命延伸を目的に、「ヘルステック機器を搭載した車両（ヘルステック・モビリティ）を活用した予防サービス事業」、「IoTを活用したみまもりサービス事業」を実施しました。 【令和6年度実績】 ・予防サービス事業実施回数 45回（参加者数 1,044名） ・みまもりサービス事業実施対象人数 10名	16,444	病院 収益的 支出 2・1・1 2・1・3	市民病院 浪岡病院事 務局

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる
政策	第4節	高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり
施策	第1項	地域包括ケアシステムの更なる充実



前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
65歳以上の地域福祉サポーター数◎	65歳以上の地域福祉サポーターの活動者数（ボランティアポイント交換者数）	+	R5	653	人	目標値	861	928	995	1,062	1,129
						実績値	769				

達成度評価	65歳以上の地域福祉サポーター数は769人となり、目標値を下回りました。
B	

前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
チームオレンジが活動している日常生活圏域数◎	認知症の人や家族を支援するチームオレンジが活動している日常生活圏域数	+	R5	7	圏域	目標値	11	11	11	11	11
						実績値	10				

達成度評価	チームオレンジが活動している日常生活圏域数は10圏域となり、目標値を下回りました。
B	

前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
認知症サポーター一人数◎	認知症サポーター養成講座を受講した累計人数	+	R5	22,600	人	目標値	23,423	24,305	25,187	26,069	26,951
						実績値	23,797				

達成度評価	認知症サポーター数は23,797人となり、目標値を上回りました。
A	

前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
成年後見制度の利用者数	成年後見制度（法定後見・任意後見）を利用している人数	+	R5	636	人	目標値	660	685	711	738	766
						実績値	672				

達成度評価	成年後見制度の利用者数は672人となり、目標値を上回りました。
A	

前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
特別養護老人ホーム入所待機者数	特別養護老人ホームに入所を申し込んでいる在宅での待機者数	－	R5	172	人	目標値	172	172	114	85	56
						実績値	125				

達成度評価	特別養護老人ホーム入所待機者数は125人となり、目標値に達しました。
A	

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	老人福祉施設整備 費補助金交付事務	老人福祉施設の整備を図るため、市が必要と認める老人福祉施設の整備に係る経費の一部について、県の補助金制度を活用し、施設整備等の補助金を交付しました。 【令和6年度実績】 補助金交付件数 5件 ・ 地域密着型サービスの施設整備 - 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1件 ・ 介護施設等の創設を条件に行う施設の大規模修繕 - 特別養護老人ホーム 1件 ・ 高齢者福祉施設感染拡大防止対策の実施 - 特別養護老人ホーム 1件 - 認知症対応型共同生活介護 1件 ・ 認知症対応型共同生活介護施設における防災改修の実施 - 認知症対応型共同生活介護 1件 （負担割合） 補助対象経費に対し、県10/10	162,091	3・1・3	福祉部 介護保険課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
新規	終活情報登録事業	高齢者本人の尊厳が守られ、安心して暮らせるよう、希望に基づき終活関連情報の登録を受け付けました。 【令和6年度実績】 ・登録件数 6件	93	3・1・3	福祉部 高齢者支援課
継続	介護保険認定調査事業	第1号被保険者（65歳以上）や、第2号被保険者（40歳から64歳までの医療保険加入者）で加齢に伴う特定疾病者を対象に、介護保険サービスが必要とするかたの要介護認定申請の受付、認定調査、主治医意見書の作成依頼、介護認定審査会への判定依頼などを行い、審査・判定の上、認定結果を申請者に通知しました。 【令和6年度実績】 ・申請受付 16,533件 ・要介護等認定件数 15,896件（令和6年度申請受付分に対する認定件数）	131,604	介護 1・3・2	福祉部 介護保険課
継続	地域ケア会議推進事業	各地域包括支援センターにおける高齢者の個別課題や高齢者を取り巻く地域課題の解決に向けた地域ケア会議を支援するとともに、地域課題を踏まえた市全体の地域ケア会議を開催しました。 また、介護予防・重度化防止の視点から、専門職が心身機能の改善に向けたアドバイスを行う自立支援型会議を行いました。 【令和6年度実績】 ・地域ケア会議開催回数 137回 （内訳）地域ケア個別会議 115回（うち自立支援型会議3回） 日常生活圏域ケア会議 21回 地域ケア推進会議 1回	99	介護 3・1・3	福祉部 高齢者支援課
継続	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域包括支援センターにおいて、地域の医療機関を含めた関係機関との連携を進めながら、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、在宅・施設を通じた包括的・継続的なケア体制の充実を図りました。 【令和6年度実績】 ・グループホーム等の運営連絡会議への出席回数 388回 ・地域包括ケアのネットワークに加わった関係者数 2,021人	108,254	介護 3・1・3	福祉部 高齢者支援課
継続	介護サービス適正実施指導事業	要介護者等が真に必要な過不足のないサービスが提供されるよう、多職種のアドバイザーによるケアプラン点検を実施したほか、訪問介護の利用が多いケアプランについて地域ケア個別会議（ケアプラン検証会議）で検討を行うなど、介護給付の適正化を図りました。 【令和6年度実績】 ・認定調査状況点検 11,212件 ・ケアプラン点検 17事業所45件 ・住宅改修等の点検 住宅改修点検 22件 福祉用具貸与点検 43件 ・介護給付内容点検 医療情報との突合 113件 縦覧点検 4,364件	597	介護 3・1・4	福祉部 介護保険課
継続	高齢者等見守り体制確保事業（連携）	警察、地域包括支援センター、民生委員・児童委員などの地域関係者及び民間事業者等と連携し、高齢者等を見守る体制の充実を図りました。 また、帰宅困難高齢者等の事前登録とみまもりシールの配布を行うとともに、青森圏域連携中枢都市圏町村において行方不明者情報を市町村間で共有する取組を行いました。 【令和6年度実績】 ・見守り協力事業者数（通報件数） 58事業者（26件） ・SOSネットワーク メールマガジン配信件数 1件 ・帰宅困難高齢者等の新規事前登録者数 120人	251	介護 3・1・4	福祉部 高齢者支援課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	在宅医療・介護連携推進事業（連携）	高齢者が自宅等の住み慣れた生活の場で自分らしい生活を続けられるよう、市医師会・歯科医師会・薬剤師会などの関係機関と連携し、在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築しました。 【令和6年度実績】 ・医療と介護に関する出前講座の開催 35回 ・多職種研修会参加者数 205人（1回） ・在宅医療ケア知識向上研修会参加者数 260人（4回） ・在宅医療・介護多職種ヒアリング実施回数 8回 ・青森市版エンディングノート配付	325	介護 3・1・5	福祉部 高齢者支援課
継続	認知症総合支援事業	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症の人や家族を支援するための体制づくりを進めました。 ・認知症サポーター等がチームを組んで、認知症の人やその家族を支援するための仕組み（チームオレンジ）を構築しました。 ・認知症に関する市民の理解を深めるため「認知症フォーラム」を開催しました。 【令和6年度実績】 ・チームオレンジが活動している日常生活圏域数（構築数）10圏域（11チーム） ・認知症フォーラムの開催（令和6年9月14日）	635	介護 3・1・7	福祉部 高齢者支援課
拡充	こころの縁側づくり事業	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持っていきいきと暮らせるよう、市社会福祉協議会と連携し、地区社会福祉協議会が開催する「地域のつどい」を支援しました。 また、高齢者が気軽に立ち寄れるスーパー等を活用し、地区に関わらず参加できる、生きがいづくり・介護予防・認知症予防等を目的として市民団体と事業所等による「まちなかいいききサロン」の開催を支援しました。 【令和6年度実績】 ○地域のつどい ・開催地区数（箇所数） 38地区（122箇所） （うち週1回以上開催している地区社会福祉協議会数 21地区） ・開催回数 2,486回 ・延べ参加者数 28,197人 ○まちなかいいききサロン ・開催圏域数 6圏域 ・開催回数 148回 ・延べ参加者数 4,748人	11,123	介護 3・2・2	福祉部 高齢者支援課

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる
政策	第4節	高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり
施策	第2項	多様なニーズや特性に応じた障がいのあるかたへの支援



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
啓発事業などの開催回数		障がい及び障がいのあるかたへの理解啓発に関する各種啓発事業の開催回数	＋	R5	24	回	目標値	26	26	26	26	26
							実績値	31				
達成度評価	啓発事業などの開催回数は31回となり、目標値を上回りました。											
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
障がい者福祉に関する相談者数		障がいのあるかたからの相談実人数	＋	R5	1,648	人	目標値	1,651	1,654	1,658	1,661	1,664
							実績値	1,568				
達成度評価	障がい者福祉に関する相談者数は1,568人となり、目標値を下回りました。											
B												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
生活支援のための障害福祉サービス等の利用者数		訪問系サービス、日中活動系サービス、障害児通所サービスにおける延べ利用者数	＋	R5	56,042	人	目標値	62,340	66,240	70,224	70,224	70,224
							実績値	59,306				
達成度評価	生活支援のための障害福祉サービス等の利用者数は59,306人となり、目標値を下回りました。											
B												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
民間企業における障がいの雇用率		障がい者雇用が義務付けられている民間企業の従業員数に占める、障がいのあるかたの割合	＋	R5	2.37	％	目標値	2.50	2.50	2.50	2.70	2.70
							実績値	2.38				
達成度評価	民間企業における障がいの雇用率は2.38％、目標値を下回りました。											
B												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
社会参加のためのサービスの利用者数◎		行動援護、同行援護、外出介護サービス、手話通訳者派遣、要約筆記者派遣、就労移行・就労継続・就労定着支援における延べ利用者数	＋	R5	18,375	人	目標値	20,078	20,810	21,578	21,578	21,578
							実績値	18,624				
達成度評価	社会参加のためのサービスの利用者数は18,624人となり、目標値を下回りました。											
B												

(単位：十円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
拡充	障がい者に対する理解を深めるための啓発事業	障がいのある方々の生活や経験を知ることを通じて、障がいへの正しい理解を深め、すべての人に対して暖かく接する思いやりの心や共に支え合って生きていく意識を育むため、ノーマライゼーションの理念について、市民への普及啓発を行いました。 【令和6年度実績】 ・事業者への合理的配慮に係る周知チラシの配布・出前講座の実施 ・小中学校への「福祉読本」の配付冊数 8,651冊 ・「障がい者週間」におけるパネル展示等 ・ヘルプカードの配布枚数 191枚 ・保育所等訪問件数 17件 ・職員研修回数 12回 ・事業所向け出前講座 2回	2,589	3・1・2	福祉部 障がい者支援課
継続	地域活動支援センター事業	障がいのある方の地域での生活を支援するため、地域の実情に応じて、創作的活動や生産活動の機会、社会との交流の機会などを提供している地域活動支援センターに対し、補助金を交付しました。 [対象施設] 八甲、やましろ、すばる、しらかば作業所、waiwaiはうすコスモス、ワークあかり、フレンドワークぼんじゅ 【令和6年度実績】 ・交流回数 1事業所 平均50回	63,041	3・1・2	福祉部 障がい者支援課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名																														
拡 充	障害者相談支援事業	障がいのあるかたやその家族等からの相談に応じるため、指定特定相談支援事業所5か所に相談業務を委託し、障害福祉サービスの利用支援や情報提供、虐待防止や権利擁護のための必要な援助を行いました。 また、令和6年4月に障がいのあるかたへの総合的・専門的な相談支援の実施や地域の相談支援事業者への専門的な指導・助言を行うなど、地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを設置しました。 【令和6年度実績】 《委託相談支援事業所実績》 ・相談者数 1,193人 ・相談件数 延べ25,847件 ・ケース検討、勉強会、情報交換等実施数 5圏域計60回実施 ・特定相談支援事業所への後方支援 延べ227回（うち10回、市同行支援）	32,239	3・1・2	福祉部 障がい者支援課																														
継 続	日常生活用具給付事業	障がいのあるかた等に対して介護用具等を給付し、日常生活が円滑に行われるよう支援しました。 【令和6年度実績】 ・延べ給付件数 8,198件	92,525	3・1・2	福祉部 障がい者支援課																														
継 続	生活支援のための障がい福祉事業	障がいのあるかた等に対し、 ・自宅、施設、病院において日常生活の支援を行う居宅サービス、生活介護、療養介護、短期入所事業を実施しました。 ・身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行う自立訓練事業を実施しました。 ・一般就労をする上で必要な知識や能力を向上させるための訓練等を行う就労移行支援・就労継続支援・就労定着支援事業を実施しました。 【令和6年度実績】 <table><tr><td>・居宅サービス</td><td>延べ</td><td>303,234時間</td></tr><tr><td>・就労移行支援事業</td><td>延べ</td><td>14,404日</td></tr><tr><td>・就労継続支援事業</td><td>延べ</td><td>262,942日</td></tr><tr><td>・就労定着支援事業</td><td>延べ</td><td>413回</td></tr><tr><td>・短期入所</td><td>延べ</td><td>6,258日</td></tr><tr><td>・療養介護</td><td>延べ</td><td>17,991日</td></tr><tr><td>・生活介護</td><td>延べ</td><td>217,783日</td></tr><tr><td>・生活訓練</td><td>延べ</td><td>18,486日</td></tr><tr><td>・機能訓練</td><td>延べ</td><td>815日</td></tr><tr><td>・宿泊型自立訓練</td><td>延べ</td><td>13,453日</td></tr></table>	・居宅サービス	延べ	303,234時間	・就労移行支援事業	延べ	14,404日	・就労継続支援事業	延べ	262,942日	・就労定着支援事業	延べ	413回	・短期入所	延べ	6,258日	・療養介護	延べ	17,991日	・生活介護	延べ	217,783日	・生活訓練	延べ	18,486日	・機能訓練	延べ	815日	・宿泊型自立訓練	延べ	13,453日	7,390,887	3・1・2	福祉部 障がい者支援課
・居宅サービス	延べ	303,234時間																																	
・就労移行支援事業	延べ	14,404日																																	
・就労継続支援事業	延べ	262,942日																																	
・就労定着支援事業	延べ	413回																																	
・短期入所	延べ	6,258日																																	
・療養介護	延べ	17,991日																																	
・生活介護	延べ	217,783日																																	
・生活訓練	延べ	18,486日																																	
・機能訓練	延べ	815日																																	
・宿泊型自立訓練	延べ	13,453日																																	
継 続	障害者虐待防止対策支援事業	「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、青森市障がい者虐待防止センターを障がい者支援課内に設け、通報、届出、相談等の業務を行いました。 【令和6年度実績】 ・虐待通報等対応件数：51件 ・障がい者虐待防止に係る普及啓発実施数：1回	426	3・1・2	福祉部 障がい者支援課																														
拡 充	外出介護サービス事業	外出時に困難を抱える障がい者等のかたが、公的機関や医療機関に行く際、または公的施策に基づく研修や講座等に出席する際に、ホームヘルパー等を派遣し、外出時の支援を行いました。 また、サービス供給体制の充実を図り、障がいのあるかたの自立した生活や社会参加を促進するため、事業者への委託料単価の見直しを行いました。 【令和6年度実績】 ・個別支援型延べ利用回数 13,189回 ・グループ支援型延べ利用回数 1,323回	27,035	3・1・2	福祉部 障がい者支援課																														

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	障がいのある方の社会参加・交流推進事業	障がいのあるかたの社会参加の推進と福祉の増進を図るため、障がいのあるかたが誰でも気楽に利用し、気軽に相談や親睦を深めることができるよう、障がいのあるかた向けのパソコン教室や体操教室の実施、サークル活動や研修活動等への場の提供等を行いました。 【令和6年度実績】 延べ利用者数 7,764人	5,792	3・1・2	福祉部 障がい者支援課
継続	手話通訳者養成研修事業（連携）	身体障がい者福祉や手話通訳者の役割等の知識と手話通訳に必要な手話語彙、手話表現技術等を習得するクラス別手話通訳者養成研修及び手話通訳者指導者向け研修を実施しました。 【令和6年度実績】 各養成研修修了者総数 32人	2,372	3・1・2	福祉部 障がい者支援課
継続	社会参加のための障がい者福祉事業	障がいのあるかた等の外出や社会参加を促進するため、行動援護、同行援護、外出介護サービスを実施するほか、手話通訳者・要約筆記者を派遣しました。 【令和6年度実績】 - 延べ利用回数 - 外出介護サービス 14,512回 - 手話通訳者派遣事業 1,352回 - 要約筆記者派遣事業 99回	32,250	3・1・2	福祉部 障がい者支援課
継続	青森地域医療的ケア児支援体制検討会運営事業	医療技術の進歩により増加している医療的ケアが日常的に必要な児童の支援体制について、青森圏域及び庁内関係部局との協議を行い、医療的ケア児及びその家族への支援体制の構築を推進しました。 【令和6年度実績】 「青森圏域医療的ケア児支援体制協議の場」開催数：全体会議 4回、庁内連絡会議 1回	144	3・1・2	福祉部 障がい者支援課
継続	障がい福祉に関する相談事業	障がいのあるかた及びその家族に対し、 - 各種相談や障害福祉サービスの利用支援、必要な情報提供や助言、虐待防止や権利擁護のための必要な援助等を行う障害者相談支援事業を実施しました。 - 専門的な相談や療育指導を訪問や来所により行う障害児等療育支援事業を実施しました。 - 精神科医、精神保健福祉士等の専門職が、こころの不安や悩みを抱えたかたや精神障がいのあるかた及びその家族等からの相談に応じる精神保健福祉相談事業を実施しました。 【令和6年度実績】 (相談者数) - 障害者相談支援事業 1,193人《再掲》 - 障害児等療育支援事業 163人 - 精神保健福祉相談事業 212人 計 1,568人 (延べ相談件数) - 障害者相談支援事業 25,847件《再掲》 - 障害児等療育支援事業 534件 - 精神保健福祉相談事業 508件 計 26,889件	37,196	3・1・2	福祉部 障がい者支援課 保健部 保健予防課
継続	障がい者雇用促進事業	障がい者雇用を促進するため、障がいのあるかたの雇用につながるよう地元企業への支援等を行いました。 【令和6年度実績】 - 青森市障害者短期職場実習事業等助成金の交付 1件 - 障がい者雇用促進セミナーの開催 3回	238	5・1・1	経済部 経済政策課

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる
政策	第4節	高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり
施策	第3項	地域共生社会の構築



前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	現状値		R6	R7	R8	R9	R10
地域福祉サポーター登録数◎	青森市ボランティアポイント制度における地域福祉サポーターの登録者数	+	R5 1,943 人	目標値	2,009	2,075	2,141	2,207	2,271
				実績値	1,901				
達成度評価 B	地域福祉サポーター登録数は1,901人となり、目標値を下回りました。								
前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	現状値		R6	R7	R8	R9	R10
地域支え合い会議の開催率	多機関の協働により解決すべき事案が発生した際に開催した割合	+	R5 100 %	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100				
達成度評価 A	地域支え合い会議の開催率は100%となり、目標値に達しました。								

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	地域福祉計画推進事業	青森市地域福祉計画に基づき、地域住民が共に支え合い、助け合い、安心して生活できる地域づくりを推進しました。 ・地域共助ネットワーク構築のため、地域支え合い会議の開催や、地域福祉サポーターの養成に取り組みました。 【令和6年度実績】 ・地域福祉サポーター登録者数 1,901人	9,333	3・1・1	福祉部 福祉政策課
継続	民生委員児童委員活動事業	地域福祉の担い手として地域福祉活動の中心的な役割を果たしている民生委員・児童委員、主任児童委員の活動を支援するとともに、活動に必要な知識の習得や資質向上のための研修を実施しました。 【令和6年度実績】 ・民生委員・児童委員数 594人（令和7年3月31日現在） ・相談・支援件数 28,964件 ・新任委員研修会 3回 ・地区会長研修会 1回	53,747	3・1・1	福祉部 福祉政策課
継続	ほのぼのコミュニティ21推進事業	一人暮らし高齢者など地域とのつながりが必要と認められる世帯を対象に、「ほのぼの交流協力員」（地域住民ボランティア）が、3人程度でグループを構成し、週1回程度の訪問による見守り活動を行いました。 【令和6年度実績】 ・実施体制構築区数 21地区 ・ほのぼの協力員数 265人 ・訪問世帯数 244世帯	691	3・1・1	福祉部 福祉政策課

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる
政策	第5節	誰もが互いに尊重し、支え合う社会の推進
施策	第1項	女性活躍の推進・男女共同参画社会の形成



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
市の審議会等委員に占める女性の割合◎	法律または条例の定めにより設置された市の審議会等委員に占める女性の割合	+	R5	27.9	%	目標値	28.6	31.5	34.3	37.2	40.0	
						実績値	28.6					
達成度評価	市の審議会等における女性委員の割合は28.6%となり、目標値に達しました。											
A												

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
拡充	男女共同参画社会形成促進事業（連携）	男女共同参画社会の実現を図るため、「青森市男女共同参画推進条例」及び「青森市男女共同参画プラン」を踏まえ、男女共同参画に関する理解を促進しました。 また、働く女性を支援し、女性活躍の機運醸成やキャリア形成を支える環境づくりを進めたほか、女性が抱える生活困窮等様々な問題の解決を図りました。 【令和6年度実績】 ○青森市男女共同参画推進表彰 ・個人及び団体の部 1者 ・事業者の部 1事業者 ○情報紙「アンジュール」の発行回数 2回 ○子ども向け啓発小冊子の配布箇所数 ・小学校6年生版 市内 42箇所 ・中学校3年生版 市内 21箇所 ○働く女性支援事業 ・働く女性を対象とした相談イベントの開催 1回 ・事業者向け女性活躍・両立支援セミナーの開催 1回 ○生理用品配付 - 生活困窮等の相談者への生理用品配付	1,099	2・1・9	市民部 人権男女共同参画課
継続	男女共同参画プラザパートナーシップ促進事業	男女共同参画社会の実現を図るため、男女共同参画プラザを拠点に啓発活動や情報発信などを行い、男女共同参画に関する理解を促進しました。 【令和6年度実績】 ・意識啓発講座等の実施 9,691人 ・相談業務 547件 ・施設利用者数 54,720人	9,118	2・1・9	市民部 人権男女共同参画課
継続	DV相談支援センター運営事業	青森市配偶者暴力相談支援センターを設置し、DV被害相談者からの電話相談、来所相談に応じました。 また、相談者の立場に立ったワンストップ支援を行いました。 【令和6年度実績】 ・DV相談件数 555件	986	2・1・9	市民部 人権男女共同参画課

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる
政策	第5節	誰もが互いに尊重し、支え合う社会の推進
施策	第2項	多文化共生社会の形成



前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向	現状値			R6	R7	R8	R9	R10
国際交流事業の参加者数	市が関わっている各種国際交流事業への参加者数	+	R5	2,072	人	目標値	3,194	3,217	3,240	3,263	3,286	
						実績値	3,126					
達成度評価	国際交流事業の参加者数は3,126人となり、目標値を下回りました。											
B												

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	国際交流推進事業	国際交流関係団体の自主的・主体的な活動を支援するとともに、関係団体と連携し、市民が気軽に国際交流活動へ参加できる環境づくりに取り組みました。 【令和6年度実績】 ・市が関わっている各種国際交流事業への参加者数 3,126人	752	2・1・4	経済部 交流推進課

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる
政策	第5節	誰もが互いに尊重し、支え合う社会の推進
施策	第3項	平和意識の継承



前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向		現状値				R6	R7	R8	R9	R10
平和関連事業に参加した 中学校の延べ校数	平和・防災学習事業に参加した市立中学校の延べ校数	+	R5	19	校	目標値	24	29	34	39	44			
						実績値	24							
達成度評価	平和関連事業に参加した中学校の延べ校数は24校となり、目標値に達しました。													
A														

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	平和都市関連事業	7月28日に青森空襲があったという歴史的事実を継承し、「青森市平和の日条例」に定められた平和への思いを次世代に伝えていくため、各種事業を実施して市民の平和意識の醸成を図りました。 平和祈念式典を開催するほか、先の大戦で被害を受け、また、東日本大震災で被害を受けた岩手県釜石市へ本市中学生を派遣する「平和・防災学習事業」を実施しました。 令和6年度は、釜石市の中学生を本市に受け入れる相互交流を行い、更なる平和意識の醸成を図りました。 【令和6年度実績】 ・平和祈念式典（アウガAV多機能ホール）参加者 141人 ・中学生派遣人数 10人 ・釜石市中学生受入人数 10人	956	2・1・1	総務部 総務課

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる
政策	第6節	安全・安心な市民生活・地域社会の確保
施策	第1項	防犯・交通安全対策の充実



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
交通安全に関する活動への参加者数等		交通安全運動に参加した人数及び各種イベント等で交通安全意識の向上を図った人数	＋	R5	14,850	人	目標値	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500
							実績値	16,192				
達成度評価	交通安全に関する活動への参加者数等は16,192人となり、目標値を上回りました。											
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
交通事故による死傷者数		交通事故による年間の死傷者数	－	R5	768	人	目標値	748	728	708	688	668
							実績値	691				
達成度評価	交通事故による死傷者数は691人となり、目標値に達しました。											
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
犯罪発生件数		刑法犯の認知件数	－	R5	1,263	件	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
							実績値	1,290				
達成度評価	犯罪発生件数は1,290件となり、目標値に達しませんでした。											
C												

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
拡充	防犯推進事業（補助金）	警察・行政・市民が一体となった防犯活動を実施していくため、広報活動及び地域安全推進事業等を実施する防犯推進団体への助成等を行いました。 また、令和6年度から安全・安心な市民生活を確保するため、新たに地区防犯協会に補助金を交付し、小・中学校付近や公園等に防犯カメラを設置しました。 【令和6年度実績】 <補助金等交付実績> ・補助金交付団体数/交付金額 2団体/12,091,418円 ・負担金交付団体数/交付金額 3団体/975,000円 <防犯カメラ設置実績> ○防犯カメラ設置箇所数/台数 ・小・中学校付近 13箇所/51台 ・公園等 4箇所/17台	13,085	3・1・1	市民部生活安心課
継続	防犯灯維持管理事業	明るく住みよい地域社会づくりを進め、夜間の歩行者の安全を図るため、防犯灯の維持管理（ランプ切れ等の修繕）を行いました。 また、民間資本を活用したESCO事業により、市内の蛍光灯式防犯灯をLED式へ交換するとともに維持管理を行いました。	129,281	2・1・1	都市整備部道路維持課
継続	交通安全推進補助事業	市民一人ひとりが交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践ができるよう、普及啓発活動及び交通安全教室を行ったほか、交通安全に取り組む団体に補助金等を交付することにより団体の活動を促進しました。 【令和6年度実績】 <補助金等交付実績> ・補助金交付団体数/交付金額 5団体/1,384,000円 ・負担金交付団体数/交付金額 1団体/300,000円	1,684	2・1・7	市民部生活安心課
継続	交通安全啓発・教育推進事業	<啓発活動等実績> ○交通安全啓発活動実施回数/啓発人数 109回/16,192人 ○子ども向け交通安全教室実施回数/人数 ・幼稚園、保育園、認定こども園 104回/4,621人 ・小学校、特別支援学校等 25回/3,952人 ○高齢者向け交通安全指導等実施回数/人数 25回/4,028人	431	2・1・7	市民部生活安心課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	交通安全施設整備事業	交通安全対策のため、車道中央線などの区画線や道路反射鏡、ガードレールなどの必要な安全施設を設置しました。 【令和6年度実績】 ・青森地区 ①区画線 更新43,803m ②反射鏡 新設2基、更新2基 ③ガードレール 新設21.0m、更新64.0m ④横断防止柵など 新設52.0m ・浪岡地区 ①反射鏡 更新2基 ②ガードレール 新設2.6m、更新11.6m	33,522	2・1・7	都市整備部 道路維持課

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる
政策	第6節	安全・安心な市民生活・地域社会の確保
施策	第2項	安全・安心な消費生活の確保



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
消費生活に関する活動への参加者数等		消費生活に関するイベントに参加した人数及び各種イベント等で消費生活に関する注意喚起を図った人数	+	R5	5,011	人	目標値	5,211	5,411	5,611	5,811	6,011
							実績値	5,390				
達成度評価		消費生活に関する活動への参加者数等は5,390人となり、目標値を上回りました。										
A												

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	市民相談事業	市民生活における悩み、疑問等に的確・適切な対応がなされるよう相談窓口を開設し、関係各課、国・県等関係機関、専門家等と連携しながら相談機会の確保・充実を図りました。 【令和6年度実績】 ・一般相談件数 3,035件 ・特別・専門相談件数 580件	440	2・1・2	市民部 生活安心課
継続	あおもり出会いサポートセンター共同運営事業	結婚を希望する方の出会いや結婚を応援する「あおもり出会いサポートセンター（通称：あおサポ）」の県・市町村・民間団体による共同運営に対し、負担金を拠出しました。 【令和6年度実績】 ・AIを活用したマッチングシステムの運営 ・婚活イベントのメルマガ配信	672	2・1・4	市民部 生活安心課
継続	消費生活相談事業（連携）	青森市民消費生活センターにおいて、消費生活相談や多重債務相談を行いました。 また、町会長など地域に密着した活動を行うかたと構築した「相談窓口紹介ネットワーク」を活用し、悩みを抱える高齢者等に適切な相談窓口を紹介しました。 【令和6年度実績】 ・青森市民消費生活センターの相談件数 1,492件 ・青森市相談窓口紹介ネットワーク活動の活動員数 1,121人	47,563	2・1・4	市民部 生活安心課
継続	消費者教育啓発活動推進事業	市民への消費生活に関する知識の普及・啓発を図るため、関係機関と連携し、消費者教育・啓発活動・情報提供を行いました。 【令和6年度実績】 ・消費生活パネル展参加者数 189人	225	2・1・4	市民部 生活安心課

基本政策	第2章	人をまもり・そだてる
政策	第6節	安全・安心な市民生活・地域社会の確保
施策	第3項	地域で支え合う環境づくりの推進



前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向		現状値			R6	R7	R8	R9	R10
まちづくり協議会設立団体数◎		多様な主体の連携・協働による取組を進めるまちづくり協議会の設立団体数		+		R514団体		目標値	15	16	16	17	17
								実績値	14				
達成度評価		まちづくり協議会設立団体数は14件となり、目標値を下回りました。											
B													
前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向		現状値			R6	R7	R8	R9	R10
防災活動への参加者数◎		自主防災組織、町（内）会及び民間団体等が市と連携して実施する防災訓練や防災研修会等への参加者数		+		R52,523人		目標値	2,523	2,523	2,523	2,523	2,523
								実績値	4,416				
達成度評価		防災活動への参加者数は4,416人となり、目標値を上回りました。											
A													
前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向		現状値			R6	R7	R8	R9	R10
自主防災組織活動カバー率◎		市内全世帯数に対する自主防災組織が組織されている地域の世帯数の割合		+		R558.23%		目標値	58.61	58.99	59.37	59.75	60.13
								実績値	59.28				
達成度評価		自主防災組織活動カバー率は59.28%となり、目標値を上回りました。											
A													
前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向		現状値			R6	R7	R8	R9	R10
除雪ボランティア登録者数◎		青森市ボランティアポイント制度における地域サポーターの登録者のうち「雪対策支援」分野の活動を希望する者の数		+		R5827人		目標値	843	859	875	891	907
								実績値	832				
達成度評価		除雪ボランティア登録者数は832人となり、目標値を下回りました。											
B													

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
新規	指定暑熱避難施設設置事業	熱中症による人の健康に係る被害の発生を防止するため、気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）を指定するとともに、市民等の一時的な暑さをしのぐ場所として涼み処を設置し、7月1日から9月30日まで開放しました。 【令和6年度実績】 ・クーリングシェルターの指定 25か所（公共施設25か所） ・涼み処の設置 109か所（公共施設25か所、民間施設84か所）	50	4・1・3	環境部 環境政策課
継続	町会活動支援事業	町（内）会が主体的に取り組む、地域住民が集い、共に活動できる場づくりや環境づくりを支援しました。 【令和6年度実績】 ○町会地域活動費助成金 ・補助率：補助対象経費の10分の10 ・限度額：基本額20千円＋（世帯数×100円） ・実績：396件 17,250千円 ○地域市民館運営費助成金 ・補助率：補助対象経費の3分の1以内 ・限度額：100千円 ・実績：108件 6,208千円 ○一般コミュニティ助成事業補助金 ・補助率：補助対象経費の10分の10 ・限度額：2,500千円（下限1,000千円） ・実績：4件 6,000千円 ○地域コミュニティ活性化事業補助金 ・補助率：補助対象経費の2分の1以内 ・限度額：150千円 ・実績：133件 12,930千円	42,713	2・1・1	市民部 市民協働推進課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
拡充	通信施設・設備等整備事業	全国瞬時警報システム（J-ALERT）や青森県防災情報ネットワークなど複数の通信設備により、平常時及び災害時において機能的かつ確実に情報の収集及び伝達ができる体制を確保するとともに、新たに、青森市災害情報配信システムを導入し、災害情報伝達手段の多重化及び情報伝達の強化を図りました。 【令和6年度実績】 ○各種システム等の保守点検を実施しました。 ・青森市防災情報システム運用・保守業務委託 ・連絡体制用防災行政無線設備保守点検業務委託 ・全国瞬時警報システム受信装置等保守点検業務委託 ・全国瞬時警報システム総合型自動起動装置保守点検業務委託 ○新システムを導入しました。 ・青森市災害情報配信システム構築業務委託	21,285	3・1・1	総務部 危機管理課
拡充	自主防災活動促進事業（連携）	地域の防災活動を効果的に行うことができるよう、町（内）会を母体とした自主防災組織の結成・育成を推進しました。 【令和6年度実績】 ○自主防災組織の防災資機材の整備や防災訓練に要する経費への補助金について、上限額を5万円から10万円（連合町（内）会で構成されている組織は20万円）に拡充しました。 ○防災士資格取得に要する経費への補助金について、自主防災組織及び町（内）会を対象に、上限額を1団体5万円から1団体8万円（4万円×2人）に拡充しました。 ・補助金交付件数 23件 ・補助金額 1,015千円	2,217	3・1・1	総務部 危機管理課
継続	防災対策事業	令和6年度の大雪により災害救助法が適用になったことから、生命・身体に危害を受けるおそれが生じた場合、自らの資力及び労力によって除雪を行うことができない世帯に対して住家の屋根雪下ろし作業を実施し、被災者の保護と社会秩序の保全を図りました。 【令和6年度実績】 ○屋根雪除雪等の申込件数等 ・申込件数 342件 ・屋根雪下ろし作業実施済 55件 ・スノーレスキュー実施済 17件	22,836	3・1・1	総務部 危機管理課
継続	防災拠点機能整備事業	災害の発生に備え、市内各地の防災活動拠点施設等に防災資機材その他生活必需物資を配備しました。 【令和6年度実績】 ○令和5年度に新たに備蓄目標を設定し、目標数量の充足に向け、予定通り更新作業を実施しました。計画期間（令和6年度～令和9年度）	8,100	3・1・1	総務部 危機管理課
継続	防災訓練事業	災害時において市民一人一人及び町（内）会が組織的に防災活動を実施できるよう、市、防災関係機関及び市民が相互に連携した実践的な総合防災訓練を実施するとともに、防災意識の啓発及び防災知識の普及を図りました。 また、新たな取組として、医療的ケア児の実動避難訓練を実施しました。 【令和6年度実績】 ○令和6年度青森市総合防災訓練 ・実施日 9月28日（土） ・実施場所 カクヒログループスーパーアリーナ（青森市総合体育館）	443	3・1・1	総務部 危機管理課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	生活保護適正実施管理事業	生活保護制度の円滑な運用と適正な実施を確保するため、訪問調査、扶養能力調査及び資産調査を行いました。 【令和6年度実績】 ・訪問調査数 24,417件 ・扶養能力調査数 673件 ・収入資産調査数 6,566件 ・自立による生活保護廃止件数 203件 ・自立による生活保護廃止割合 3.11%	13,104	3・3・1	福祉部 生活福祉一課
継続	生活保護対策事業	「生活保護法」に基づき、その利用し得る資産、能力その他あらゆるものを活用してもなお生活に困窮するかたに対し、困窮の程度に応じて必要な保護を行うとともに、その自立を助長しました。 【令和6年度実績】 ・生活保護受給世帯数 6,467世帯 ・生活保護人員数 7,644人 ※令和7年3月末時点	12,702,590	3・3・2	福祉部 生活福祉一課
新規	物価高騰支援給付金給付事業	特に物価高の影響を受ける住民税非課税世帯を支援するため、1世帯当たり30,000円を助成しました。 【令和6年度実績】 助成世帯数：39,152世帯	1,199,369	3・1・1	福祉部 福祉政策課
新規	均等割のみ課税世帯支援給付金給付事業	特に物価高の影響を受ける住民税均等割のみ課税世帯を支援するため、1世帯当たり30,000円を助成しました。 【令和6年度実績】 助成世帯数：4,973世帯	237,990	3・1・1	福祉部 福祉政策課
新規	福祉灯油購入費助成事業	特に物価高の影響を受ける住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯の灯油購入を支援するため、1世帯当たり10,000円を助成しました。 【令和6年度実績】 助成世帯数：44,097世帯	457,455	3・1・1	福祉部 福祉政策課

基本政策	第3章	まちをデザインする				11住み続けられるまちづくりを 17パートナーシップで目標を達成しよう							
政策	第1節	コンパクト・プラス・ネットワークの都市づくり											
施策	第1項	公共交通ネットワークとの連携によるコンパクトな複数の拠点づくりの促進											
前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向	現状値			R6	R7	R8	R9	R10	
居住誘導区域内の居住人口密度◎		居住誘導区域内の1ha当たりの居住人口密度		+	R5	49.4	人/ha	目標値	48.9	48.4	47.9	47.4	46.9
								実績値	48.7				
達成度評価		居住誘導区域内の居住人口密度は48.7人/haとなり、目標値を下回りました。											
B													

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	都市計画基本スキーム構築事業	社会情勢を踏まえた本市の都市の将来像とその実現に向けた「まちづくりの方向性」について検討しました。 【令和6年度実績】 計画策定から6年が経過した「青森市立地適正化計画」について、社会経済情勢の変化や関連計画との整合を図るための見直しを行うとともに、都市再生特別措置法の改正に伴い、防災の観点を取り入れたまちづくりを加速化させるため、新たに、防災指針に関する事項を記載し、改定を行いました。 また、青森市都市計画審議会を1回開催しました。	4	8・4・1	都市整備部 都市政策課

基本政策

政策

施策

第3章

第1節

第2項

まちをデザインする

コンパクト・プラス・ネットワークの都市づくり

交流拠点としての中心市街地の形成

11

住み続けられるまちづくりを



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
中心市街地の観光施設入込客数◎		中心市街地にある観光施設の年間観光施設入込客数	+	R4	1,285,645	人	目標値	1,861,770	1,861,770	1,861,770	1,861,770	1,861,770
							実績値	2,028,806				
達成度評価	中心市街地の観光施設入込客数は2,028,806人となり、目標値を上回りました。											
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
歩行者通行量		中心市街地内における歩行者通行量の合計	+		未測定		目標値	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定
							実績値	未測定				
達成度評価	歩行者通行量は、現在、調査方法や調査期間の見直しを行っていることから、現状値、目標値及び実績値は未測定・未設定となっています。											
-												

基本政策	第3章	まちをデザインする	4 集いの場をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを									
政策	第1節	コンパクト・プラス・ネットワークの都市づくり										
施策	第3項	魅力ある地域のまちづくり										
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
松原地区の社会教育施設等利用者の延べ人数◎		各年度における市が運営する松原地区所在の社会教育施設等の利用者数の合計	+	R5	125,853	人	目標値	125,853	125,853	125,853	125,853	125,853
							実績値	122,653				
達成度評価		松原地区の社会教育施設等利用者の延べ人数は122,653人となり、目標値を下回りました。										
B												

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	福祉館改築事業	青森市ファシリティマネジメント推進基本方針に基づき、施設機能の集約化や周辺既存施設との複合化などによる公共施設の老朽化対策に取り組みました。 【令和6年度実績】 ○滝内福祉館 ・改築工事（令和6年9月1日 供用開始） ○造道福祉館 ・設計 ○桜川福祉館 ・設計	137,309	3・1・5	福祉部 福祉政策課

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
新規	松原地区まちづくり推進事業	棟方志功をはじめとした青森ゆかりの文化・芸術家の業績を学び、未来につなげるため、文化的資源を擁する松原地区のまちづくりに向けた検討を行いました。 【令和6年度実績】 ○松原地区まちづくり有識者会議を開催 ・第1回：令和6年6月21日開催 ・第2回：令和6年9月30日開催 ・第3回：令和6年11月21日開催 ○棟方志功記念館建物現況調査を実施（R6.5月～R6.12月） ○松原地区まちづくりビジョンを策定（R7.3月）	9,666	10・5・1	教育委員会事務局 文化学習活動推進課

基本政策	第3章	まちをデザインする
政策	第2節	災害防止・雪対策の充実
施策	第1項	人口減少に対応した災害に強い都市基盤整備



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
河川改修の進捗率◎	市が現在整備を進めている貴船川河川改修の進捗率	+	R5	78.6	%	目標値	80.8	83.6	85.0	86.3	87.7	
						実績値	80.8					
達成度評価	河川改修の進捗率は80.8%となり、目標値に達しました。											
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
市有特定建築物の耐震化率	耐震化された建築物数の全建築物数に占める割合	+	R5	98.4	%	目標値	98.4	98.8	99.2	99.6	100.0	
						実績値	99.1					
達成度評価	市有特定建築物の耐震化率は99.1%となり、目標値を上回りました。											
A												

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	急傾斜地崩壊防止対策事業	急傾斜地崩壊防止対策事業に負担金を支出し、急傾斜地崩壊危険箇所（高低差5m以上、傾斜角30度以上）の崩壊防止工事を行いました。 【令和6年度実績】 ・野沢字川部地区 ・野内字浦島地区	15,600	8・1・1	都市整備部 公園河川課
継続	民間建築物耐震診断・普及啓発事業（ブロック塀等安全対策事業）	地震等の災害時におけるブロック塀等の倒壊による被害を防止するため、安全対策等の普及・啓発活動を行いました。また、地震の発生時等に倒壊のおそれがある通学路等に面したブロック塀等について、安全対策のため耐震改修等を実施する場合、その費用の一部を補助しました。 【令和6年度実績】 ・補助件数 4件	371	8・1・2	都市整備部 建築指導課
継続	水路浚渫事業	台風等による河川氾濫等の大規模な浸水被害を未然に防止するため、市が管理している河川について緊急的かつ集中的に浚渫（土砂等の撤去・処分、樹木伐採等）を実施しました。 〔令和6年度実績〕 （継続）貴船（きふね）川（浚渫延長：約270m） （新規）仁八堤（にはちづつみ）（浚渫延長：約60m）	18,829	8・2・4	都市整備部 公園河川課

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	水防事業	台風や大雨による洪水等の水災を警戒し、水防器具や資材を備蓄して水防活動に備えました。	483	8・2・4	都市整備部 公園河川課
継続	貴船川河川改修事業	二級河川貴船川において、洪水等の災害発生防止を図るとともに、河川環境の整備及び保全を図るため、河川改修を行いました。 【令和6年度実績】 ・5号橋修正設計業務委託 1件 ・3号排水樋門工事 1件	45,372	8・2・4	都市整備部 公園河川課
継続	宅地耐震化推進事業	東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震等による大規模盛土造成地の滑動崩落の発生を踏まえ、宅地の安全性の「見える化」や事前対策を図りました。 令和4年度に実施した大規模盛土造成地の優先度評価に基づき、優先度の高い箇所から第二次スクリーニング調査を実施しました。	1,485	8・4・1	都市整備部 建築指導課
継続	公共下水道雨水対策施設整備事業	市街地における浸水被害の軽減を図るため、公共下水道の機能確保に努めました。 【令和6年度実績】 雨水出水浸水想定区域の指定に向け、詳細手法による浸水想定シミュレーションを行いました。	29,700	下水道 資本的支出 1・1・1	水道部 下水道整備課

基本政策	第3章	まちをデザインする	9 災害と防災対策の 取組を促す 11 目の届く範囲の まちづくりを 13 無縁交差点に 対峙的な対策を 17 パートナーシップで 目標を達成しよう									
政策	第2節	災害防止・雪対策の充実										
施策	第2項	効果的・効率的な雪対策の推進										
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
除排雪オペレーター講習 会累計受講者数◎		運転技術の向上や安全意識の 向上を目的とした、除排雪オ ペレーター講習会の累計受講 者数	+	R5	108	人	目標値	129	150	171	192	213
							実績値	142				
達成度評価		除排雪オペレーター講習会の累計受講者数は142人となり、目標値を上回りました。										
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
流・融雪溝整備延長◎		整備済みの流・融雪溝の延長	+	R5	47,226	m	目標値	48,326	49,426	50,526	51,626	52,726
							実績値	49,533				
達成度評価		流・融雪溝整備延長は49,533mとなり、目標値を上回りました。										
A												

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	除排雪対策事業	冬期間における道路交通の確保のため、除排雪事業実施計画に基づき、国、県、除排雪事業者及び町（内）会等との連携のもと、効果的・効率的な除排雪作業を実施しました。 〔豪雪災害対策本部設置時における除排雪体制〕 ・「除排雪対策監」を配置し、雪に関する相談・要望を機動的に処理する体制を構築 ・除排雪事業者の作業に遅れが生じた場合の支援体制を整備 ・市職員で構成するスノーレスキュー隊を設置・派遣	7,292,717	8・2・2	都市整備部 道路維持課

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	豪雪地帯安全確保緊急対策事業	自立的で安全な地域を実現するための方針の策定に並行して小型除雪機・安全用具等の貸出し等により、地域の共助による除雪ボランティア活動団体を支援しました。 ・除雪ボランティア活動団体等へ貸出しする除雪機を購入 ・除雪ボランティア活動団体等の安全対策として、安全帯等の安全用具の貸出しを実施	6,172	8・2・2	都市整備部 道路維持課
継続	除排雪力向上連携ネットワーク形成事業	豪雪災害時においても、青森圏域の連携市町村が市民生活の維持及び道路交通の確保ができるよう、連携して除排雪作業ができる体制の構築を目指し、連携市町村の除排雪力の向上や情報共有に資する取組を実施しました。 【令和6年度実績】 ・除雪オペレーター講習会の開催数 1回 参加人数 34人 ・除雪オペレーター育成に係る車両系技能講習等の受講料の一部助成申請数 61件	364	8・2・2	都市整備部 道路維持課
拡充	除排雪管理業務高度化・効率化事業	冬期間の道路除排雪事業の円滑化に向け、豪雪地帯安全確保緊急対策事業において整備している青森市除排雪業務総合管理システムの保守管理業務委託を実施しました。 ・青森市除排雪業務総合管理システムの保守管理業務	7,652	8・2・2	都市整備部 道路維持課
継続	流雪溝整備事業	市民による雪の自主的処理を支援するため、河川水を利用した融流雪溝整備を整備しました。 【令和6年度実績】 ①佃地区 融流雪溝整備 L=1,119m ②篠田地区 融流雪溝整備 L=666m ③北中野地区 融流雪溝整備 L=545m	380,020	8・2・3	都市整備部 道路建設課

基本政策	第3章	まちをデザインする
政策	第2節	災害防止・雪対策の充実
施策	第3項	空家等対策の推進

前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	現状値	R6	R7	R8	R9	R10
空き家・空き地バンク累計登録件数◎	通常では不動産市場に流通しにくい空き家や空き地等を空き家・空き地バンク制度に登録することにより流通物件とした累計件数	+	R5 28 件	目標値 38	48	58	68	78
				実績値 31				

達成度評価	空家・空き地バンク累計登録件数は31件となり、目標値を下回りました。
B	



(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	放置危険空き家対策事業	市民の安全で安心な生活環境を保全するために、近隣住民等から管理不全な危険空き家等に関する情報を受けた場合、関係部署と連携しながら現地調査を行うとともに、所有者調査を行い、当該所有者に対し適切な管理を指導し、管理不全な空家等の解消を図りました。	889	3・1・1	都市整備部 住宅まちづくり課
継続	青森市空き家・空き地バンク事業	空き家・空き地の利活用を通じて、健全な居住環境を維持することを目的とし、不動産市場に流通しにくい老朽化した空き家や空き地等についての情報を広く公開しました。	131	8・5・1	都市整備部 住宅まちづくり課

基本政策	第3章	まちをデザインする
政策	第3節	都市景観・居住環境の充実
施策	第1項	豊かな自然環境と調和した都市景観の形成



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
緑化活動団体数◎		自主的に緑化活動を行っている団体数	＋	R5	77	団体	目標値	77	77	77	77	77
							実績値	76				
達成度評価	緑化活動団体数は76団体となり、目標値を下回りました。											
B												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
景観形成基準適合割合◎		一定規模を超える（大規模）行為が景観形成基準に適合している割合	＋	R5	100	％	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	100				
達成度評価	景観形成基準適合割合は100％となり、目標値に達しました。											
A												

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	景観形成推進事業	市が行う大規模な公共事業等について景観審議会で審議するとともに、景観形成に関する普及啓発を行うなど、自然環境と調和した良好な都市景観の形成に取り組みました。 【令和6年度実績】 令和4年2月に策定した「青森市都市計画マスタープラン」及び令和6年9月に策定した「青森市総合計画 前期基本計画」と整合を図るため「青森市景観計画」の改定を行いました。 また、市長の諮問に応じ、良好な景観の形成に関する事項を調査審議するため、青森市景観審議会を1回開催しました。	92	2・1・4	都市整備部 都市政策課
継続	屋外広告物関係事業	「屋外広告物法」及び「青森市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物許可関係業務、屋外広告業登録・届出関係業務及び屋外広告物講習会（県共催）を行いました。	240	2・1・4	都市整備部 建築営繕課
継続	緑花維持管理事業	公園樹・街路樹等の剪定、病虫害防除、草刈除草、雪囲い等を行い、緑の効用を最大限に生かすことができるよう適切な維持管理を行いました。 また、高木化や老木化した危険木の伐採や樹高を下げる剪定作業などの安全対策を実施しました。 【令和6年度実績】 [樹木適正化業務において剪定・伐採した本数]105本	61,188	8・6・1	都市整備部 公園河川課
継続	パートナーシップ花いっぱい事業（連携）	市民・事業者・行政が一体となった緑化運動である緑と花のまちづくりを推進するため、市民の緑化意識の啓発及び緑化活動への支援を行いました。 【令和6年度実績】 ①地域花いっぱいまちづくり事業 ・参加数：春59団体（青森市51団体、連携町村8団体） ：秋26団体（青森市25団体、連携町村1団体） ②緑と花の市開催事業 ・春、秋 2回実施 ③花だんの写真展開催事業 ・参加数：62団体・個人 ④青森市緑と花のまちづくり推進市民協議会事業（緑と花をテーマとしたコンクール） ・応募数：図画・ポスターの部 125点 標語の部 312点	2,270	8・6・1	都市整備部 公園河川課

基本政策	第3章	まちをデザインする
政策	第3節	都市景観・居住環境の充実
施策	第2項	安全で快適な居住環境の充実



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
居住誘導区域内の居住人口密度〔再掲〕◎		居住誘導区域内の1ha当たりの居住人口密度	＋	R5	49.4	人/ha	目標値	48.9	48.4	47.9	47.4	46.9
							実績値	48.7				
達成度評価	居住誘導区域内の居住人口密度は48.7人/haとなり、目標値を下回りました。											
B												

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	建築指導・相談事務	「建築基準法」に基づき建築物を建築する前に確認申請又は許可申請等を建築主事又は特定行政庁に行い、確認・届出・許可や認定等を受けてから着工する必要があります。この申請が建築基準関係規定に適合しているかを審査・指導しました。 【令和6年度実績】 ・R6確認済証交付件数 155件 ・R6検査済証交付件数 160件	991	8・1・2	都市整備部 建築指導課
継続	屋根雪処理施設設置支援事業	市民等による自主的な雪処理を支援するため、既存の建物の屋根に融雪装置を設置する際や、勾配屋根を無落雪屋根に改修する際の資金を金融機関から借り入れた場合に、その利子を市が負担しました。 【令和6年度実績】 ・利子補給件数 12件	47	8・1・2	都市整備部 建築指導課

基本政策	第3章	まちをデザインする
政策	第4節	社会情勢の変化に対応した交通環境の充実
施策	第1項	広域交通の機能充実



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
市内鉄道駅（新幹線）の1日当たりの乗車人数		JR東北新幹線の市内鉄道駅における1日当たり乗車人数	+	R5	4,636	人	目標値	4,153	4,195	4,237	4,279	4,321
							実績値	未確定				
達成度評価	市内鉄道駅（新幹線）の1日当たりの乗車人数は、今後公表される予定であるため、現時点では未確定となっています。											
未確定												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
青森空港の年間旅客数		青森空港における国内外路線の年間旅客数	+	R5	1,169,342	人	目標値	1,235,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000
							実績値	1,262,930				
達成度評価	青森空港の年間旅客数は1,262,930人となり、目標値を上回りました。											
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
本市が所管する二次交通の年間乗車人数		主たる利用者が観光客である青森市シャトル・ルートバスの年間乗車人数	+	R5	101,013	人	目標値	75,788	77,408	79,208	80,648	82,268
							実績値	102,355				
達成度評価	本市が所管する二次交通の年間乗車人数は102,355人となり、目標値を上回りました。											
A												

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	青い森鉄道線活用推進事業	青い森鉄道株式会社や県、沿線市町と連携し、青い森鉄道線の利活用を推進を図りました。	169	8・4・1	都市整備部 都市政策課

基本政策	第3章	まちをデザインする
政策	第4節	社会情勢の変化に対応した交通環境の充実
施策	第2項	域内交通の充実



前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	現状値		R6	R7	R8	R9	R10
本市が所管する域内交通の年間乗車人数	青森市営バス、青森市市バス、市内デマンド型交通の年間乗車人数	+	R5	6,603,840人	目標値	6,603,840	6,603,840	6,603,840	6,603,840
					実績値	6,900,052			
達成度評価	本市が所管する域内交通の年間乗車人数は6,900,052人となり、目標値を上回りました。								
A									
前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	現状値		R6	R7	R8	R9	R10
市内鉄道駅（在来線）の1日当たりの乗車人数	JR東日本在来線・青い森鉄道線の市内鉄道駅における1日当たりの乗車人数	+	R5	15,609人	目標値	15,609	15,609	15,609	15,609
					実績値	未確定			
達成度評価	市内鉄道駅（在来線）の1日当たりの乗車人数は、今後公表される予定であるため、現時点では未確定となっています。								
未確定									

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
新規	デマンド型交通実証運行事業	公共交通の小規模需要地域等を対象として、満足度・利便性・費用等について既存の路線バスと比較検証し、利用者ニーズに対応した持続可能な公共交通を検討するため、AIデマンド型交通の実証実験を期間限定で実施しました。 【令和6年度実績】 - 運行区域 孫内地区（小規模需要地域）、～旗の台団地、新城平岡団地（公共交通不便地域）～新青森駅（交通結節点） - 運行台数 1台 - 運行日時 令和6年10月1日～11月30日（2ヶ月間）8:00～17:00 - 利用料金 一般運賃200円 いき・粋乗車証をお持ちの方100円 小学生以下、フリーパス又は福祉乗車証をお持ちの方無料 - 利用者数 342人	4,530	8・4・1	都市整備部 都市政策課
新規	浪岡地区AIデマンド交通運行実証実験事業	公共交通空白地区の解消及び高齢者等が利用しやすい公共交通サービスの提供を図るため、利用者が事前に予約し、ドア・ツードアで乗り合い運行するAIデマンド交通の実証実験を行いました。 【令和6年度実績】 - 運行区域 浪岡地区内全域 - 運行台数 3台（ワゴン車） - 運行日時 月～土曜日及び祝日 8:00～17:00 - 利用料金 1人利用400円 2人利用300円 3人以上200円 いき・粋乗車証をお持ちの方100円 小学生以下、障がい者及び浪岡病院利用者（無料券）は無料 - 利用者数 16,969人	46,480	8・4・1	浪岡振興部 総務課
継続	公共交通円滑化促進事業	観光客等の利便性確保に向け、新青森駅と青森駅などの交通拠点や「三内丸山遺跡」等の主な観光施設を結ぶ二次交通として青森市シャトル・ルートバス「ねぶたん号」を運行しました。 観光需要の回復を踏まえ、新青森駅から三内丸山遺跡間の運行を強化及びその区間における増便期間の設定、また、二次交通としての機能維持のため、青森駅西口を発着地とした運行を継続しました。（運行便数12便/日、4月～9月の増便設定日は20便/日）	9,827	8・4・1	都市整備部 都市政策課

基本政策	第3章	まちをデザインする
政策	第4節	社会情勢の変化に対応した交通環境の充実
施策	第3項	安全で快適な道路交通環境の確保



前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
都市計画道路整備率	都市計画道路が整備されている割合	+	R5	69.1	%	目標値	69.2	69.3	69.4	69.5	69.6
						実績値	69.1				

達成度評価	都市計画道路整備率は69.1%となり、目標値を下回りました。										
B											

前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
橋梁修繕措置箇所数	定期点検の結果、修繕が必要と判断した橋梁において措置をした箇所数	+	R5	44	橋	目標値	46	49	52	55	59
						実績値	46				

達成度評価	橋梁修繕措置箇所数は46橋となり、目標値に達しました。										
A											

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	路面下空洞調査事業	道路施設の老朽化等による陥没事故を未然に防ぐため、計画的に路面下空洞調査を実施しました。 【令和6年度実績】 ・調査区間 14.2km	4,653	8・2・2	都市整備部 道路維持課
継続	道路ストック修繕事業	道路ストック総点検の結果を基に、道路舗装、照明灯などの修繕工事を計画的に実施しました。 【令和6年度実績】 ・青森地区 舗装 680m (4,130㎡) 道路照明灯 3基 ・浪岡地区 舗装 165m (1,252㎡)	49,660	8・2・2	都市整備部 道路維持課
継続	道路施設等維持管理事業	道路施設等に設置された融雪設備及び排水施設等の機能を維持し、道路環境の保全を図りました。	368,192	8・2・2	都市整備部 道路維持課

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	都市計画道路整備に関する事業	交通の円滑化を図るため、都市計画道路を整備します。 ・3・2・2号内環状線（浜田）街路整備 浜田小学校付近において、都市内交通の円滑化を図り、歩行者・自転車の交通安全を確保するとともに、本市の道路ネットワーク網を構築するため、当該路線を整備しました。 【令和6年度実績】 ・整地工事 1式 ・用地補償 7件 ・油川新城線（3・4・16）道路整備 青森港方面から国道7号方面への交通の分散化を図るとともに、本市の道路ネットワーク網を構築するため、当該路線を整備しました。 【令和6年度実績】 ・排水構造物 L=25m ・桑原29号線（3・2・2）道路整備 自由ヶ丘、浜館地区の交通アクセス向上を図るとともに、本市の道路ネットワーク網を構築するため、当該路線を整備しました。 【令和6年度実績】 ・資材価格特別調査委託 1式 ・3・5・4号堤町通り浜田線（奥野）街路整備 奥野三丁目付近から奥野四丁目付近までの交通円滑化を図り、歩行者・自転車の交通安全を確保するとともに、本市の道路ネットワーク網を構築するため、県が整備する当該路線について、事業費の一部を負担しました。 【令和6年度実績】 ・県事業負担金 1式 ・3・4・2号西滝新城線街路整備 新青森駅周辺の交通の円滑化を図り、歩行者・自転車の交通安全を確保するとともに、本市の道路ネットワーク網を構築するため、県が整備する当該路線について、事業費の一部を負担しました。 【令和6年度実績】 ・県事業負担金 1式	445,767	8・2・3 8・4・2	都市整備部 道路建設課
継続	道路整備事業	生活道路の舗装や側溝の改修・新設工事を実施し、道路機能の確保と生活環境の向上を図りました。 【令和6年度実績】 ・青森地区 側溝 新設 10m 機能回復 1,673m 舗装 新設 426㎡ 打換 14,216㎡ ・浪岡地区 側溝 機能回復 132m 舗装 打換 1,342㎡	241,391	8・2・3	都市整備部 道路維持課

基本政策	第3章	まちをデザインする
政策	第5節	未来につながる自然環境の保全・快適な生活環境の確保
施策	第1項	自然環境の保全及び資源の適切な利活用



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
陸奥湾の環境基準達成率◎	陸奥湾の水質調査（3地点）における環境基準の達成率	+	R5	100	%	目標値	100	100	100	100		
						実績値	99.0					
達成度評価	陸奥湾の環境基準達成率は99.0%となり、目標値を下回りました。											
B												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
自然保護活動参加者数◎	清掃活動や植樹活動などの自然保護活動への参加者数	+	R5	2,828	人	目標値	2,979	3,131	3,283	3,435	3,587	
						実績値	3,411					
達成度評価	自然保護活動参加者数は3,411人となり、目標値を上回りました。											
A												

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	むつ湾環境保全活動促進事業（連携）	美しい陸奥湾を守るため、6/1～21を「むつ湾週間」とし、清掃活動を行うことで環境保全意識を高めるとともに、陸奥湾沿岸市町村や関係団体と連携し、陸奥湾の水質保全に関する理解を深め、環境保全活動を実施しました。 【令和6年度実績】 ・「むつ湾週間」に清掃活動等を行った18団体へ軍手等の支給やのぼり旗の貸出による支援を実施 ・浅虫及び油川地区の海岸漂着物調査を実施	246	4・1・3	環境部 環境政策課
継続	眺望山・梵珠山自然休養林保護管理事業	眺望山・梵珠山自然休養林の利用促進を図るため、普及啓発活動や環境美化活動等を行っている眺望山・梵珠山自然休養林保護管理協議会を支援し、自然環境の保全及び利用環境の向上を図りました。 【令和6年度実績】 環境美化活動 2回	74	6・2・2	農林水産部 農地林務課
継続	漁場環境保全事業	閉鎖水域である陸奥湾及び沿岸部の自然環境の維持・保全を図るため、海岸漂着物の回収・処理を行いました。 【令和6年度実績】 ・委託先 青森市漁協、後潟漁協 ・実施区域 青森市沿岸の県管理海岸 ・回収実績 22.39t	5,565	6・3・2	農林水産部 水産振興センター
継続	八甲田地区自然環境保全事業	国、県、関係市町村及び八甲田地域の事業者等が一般社団法人十和田湖国立公園協会へ負担金を拠出し、国立公園内の各園地の散乱ごみや事業系ごみの収集を行いました。	1,995	7・1・4	経済部 観光課
継続	森と湖に親しむ集い事業（連携）	小学生を対象に、森林の水涵養やダム湖の貯水機能といった「森と湖」が担う役割について、さまざまな体験を通じて学習する機会を提供しました。 【令和6年度実績】 ・「森と湖に親しむ集い」に筒井小学校の4年生、83人が参加	248	8・1・1	都市整備部 公園河川課

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
新規	犬・猫等一時預かりボランティア事業	犬猫等の殺処分数の減少を図るとともに譲渡を推進するため、譲渡が決まるまでの一定期間、離乳前の仔猫や飼い主不明の犬などを育成する市民ボランティアに、必要な物品の貸出及び消耗品の支給を行いました。 【令和6年度実績】 ・ボランティア登録者 7人 ・預けた動物数 4頭	347	4・1・2	保健部 生活衛生課
継続	犬・猫等引取収容事業	飼い主のやむを得ない理由による犬猫の引取りを行うとともに、負傷動物や所有者不明の犬などの収容・返還を行いました。 また、引取り、収容した犬猫等を飼養管理するとともに、SNSを活用し新たな飼い主を探す譲渡事業を実施しました。 【令和6年度実績】 ・犬・猫の引取り数 145頭 ・犬・猫等の負傷収容数 52頭 ・犬猫等の譲渡数 91頭	16,929	4・1・2	保健部 生活衛生課
継続	狂犬病予防対策事業	犬の登録と狂犬病予防注射接種の徹底を図るため、春と秋に飼い主へ啓発ハガキを送付するとともに、市民センターなど市内各所において、犬の登録と狂犬病予防集合注射を実施しました。 【令和6年度実績】 狂犬病予防注射接種率 84.8%	3,442	4・1・2	保健部 生活衛生課
継続	騒音・振動・水質調査等公害監視事業	大気環境・公共用水域の水質環境・騒音等の常時監視を行うとともに、工場などへの立入調査により、大気・水質等の排出基準に基づき必要な指導を行い、公害防止に努めました。 【令和6年度実績】 ・環境騒音、道路交通騒音、航空機騒音等の調査 ・河川、海域、水浴場、地下水の水質調査 ・大気環境の常時監視 ・ダイオキシン類常時監視 ・大気汚染防止法、水質汚濁防止法、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく事業場等への立入調査	50,861	4・1・5	環境部 環境政策課
継続	公害苦情処理事業	市民から寄せられた公害苦情相談を受け、現地調査や関係機関との連絡調整などを実施し、原因者に対して改善に向けた指導等を行いました。	202	4・1・5	環境部 環境政策課
継続	地盤沈下防止対策事業	昭和48年度に地盤沈下が発生するおそれのある地域を指定地域として定め、地下水採取を規制することで地盤沈下の防止に努めました。 【令和6年度実績】 ・揚水機設置の審査及び設置の立会 ・地下水の消雪利用を取り締まるパトロールの実施 ・地下水採取量の報告書の徴取	14	4・1・5	環境部 環境政策課

基本政策	第3章	まちをデザインする
政策	第5節	未来につなぐ自然環境の保全・快適な生活環境の確保
施策	第3項	適正な污水排除・処理による生活環境の確保



前期基本計画の目標指標			指標の説明			方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
公共下水道水洗化率	処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合					＋	R5	90.2	%	目標値	90.5	90.8	91.1	91.4	91.7
										実績値	90.4				
達成度評価	公共下水道水洗化率は90.4%となり、目標値を下回りました。														
B															

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	合併処理浄化槽設置促進事業	下水道等が整備されていない地域においても快適な生活ができるよう、一定の条件のもと、汲み取りトイレや単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に転換設置する費用の一部を補助することで、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に努めました。 【令和6年度実績】 合併処理浄化槽補助基数 7件	3,355	4・1・3	環境部 廃棄物対策課
継続	上水道施設整備事業	安全・安心な水を安定的に供給するため、老朽化した浄水設備及び配水管等の更新を計画的に進めました。 【令和6年度実績】 ・天田内配水所配水流量計更新事業（R6～7継続工事） ・配水管整備事業 ほか	1,744,556	水道 資本的支出 1・1・1 1・1・2 1・1・3	水道部 上水道整備課
継続	公共下水道汚水処理施設整備事業	「快適な生活環境の確保」、陸奥湾などの「公共用水域の水質保全」等を目的として、公共下水道の整備を計画的に進めるとともに、既存処理施設を更新しました。 【令和6年度実績】 下水道未整備地区において、管布設工事（961m）、老朽化対策として、管更生工事（271m）、汚水ポンプなどの汚水処理設備において、改築工事・長寿命化工事（43基）等を実施しました。 ○汚水管渠整備 ・八重田処理区 0.67ha ・新田処理区 1.48ha ・浪岡処理分区 0.12ha ○終末処理場（浄化センター）整備 ・八重田浄化センター中央監視制御設備改築工事 ほか ○汚水ポンプ場整備 ・桜川第二ポンプ場No.2破砕機改築機械工事	838,169	下水道 資本的支出 1・1・1 1・1・2 1・1・3	水道部 下水道整備課 上下水道課
継続	未水洗化家屋啓発事業（公共下水道）	くみ取り式からの切替による水洗化36件、浄化槽からの切替による水洗化85件、家屋の建替に伴う水洗化35件の計156件の下水道接続工事が行われました。また、あおりウォーターフェア開催時には、下水道に関する相談受付をしたほか、広報あおりによる水洗化の啓発活動を行いました。	2	下水道 収益的支出 1・1・4	水道部 営業課

基本政策	第3章	まちをデザインする
政策	第6節	脱炭素・循環型社会の実現
施策	第1項	地球温暖化対策の推進



前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	基準値		R6	R7	R8	R9	R10
温室効果ガス排出量削減率◎	2013年度を基準とした市域における温室効果ガス排出量の削減率	—	R3 △ 21.7 %	目標値	△ 30.6	△ 33.6	△ 36.6	△ 39.5	△ 42.5
				実績値	未確定				
達成度評価	温室効果ガス排出量削減率は、令和6年度実績が都道府県別エネルギー消費統計により令和8年度に公表予定のため、未確定となっています。								
未確定									

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	協働による環境教育・環境学習推進事業（連携）	市民を対象とした地球温暖化に関する学習機会の提供、地球温暖化への意識醸成に関する業務や地球温暖化防止活動推進員（エコサポーター）の研修を行うとともに、CO₂排出削減行動を推進する業務をNP0などの市民団体と連携して実施しました。 また、青森圏域連携中枢都市圏事業として、東青地域の5市町村で連携して作成した共通の環境教育ツール「むつわんかるた」を活用して保育園や幼稚園において幼児向け環境教育を実施しました。 【令和6年度実績】 ・青森市環境フェアの開催（令和6年12月15日（日）） ・地球温暖化対策に関する出前講座、セミナー等の実施（22回） ・東青地域の保育園等の園児を対象とした「むつわんかるた出前授業」の実施（25回）	4,329	4・1・3	環境部 環境政策課
継続	CO ₂ 削減行動推進事業	省エネ等のCO₂削減行動に継続的に取り組んでいる市内の4団体を表彰し、その活動を広く市民にPRしました。 また、元気都市あおもり応援基金を活用し、市民向けにCO₂削減行動を促すため、市営バス広告を活用し、「デコ活」の環境啓発活動を行いました。	486	4・1・3	環境部 環境政策課
新規	地球温暖化対策実行計画推進事業（重点支援交付金分）	市民向けの省エネ家電等の買換えや太陽光発電設備、蓄電池、電気自動車等充電設備の導入にかかる費用の一部を補助する事業（令和7年4月1日受付開始）について、当該事業の協力依頼文書やチラシを関係事業者へ郵送したほか、市HP、広報あおもり等により市民へ周知し、受付開始に向けた準備を行いました。	712	4・1・3	環境部 環境政策課

基本政策	第3章	まちをデザインする
政策	第6節	脱炭素・循環型社会の実現
施策	第2項	ごみの減量化・リサイクルの強化



前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
市民 1 人 1 日 当たり の ごみ 排出 量		ごみの排出量を市民 1 人 1 日 当たり に 換 算 し た 量	－	R5	985	g	目標値	984	983	982	981	980
							実績値	965				
達成度評価	市民 1 人 1 日 当たり の ごみ 排出 量 は 965 g と な り 、 目 標 値 に 達 し ま し た 。											
A												
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	現状値				R6	R7	R8	R9	R10
リサイクル率◎		一般廃棄物の総排出量に占める資源化量の割合	＋	R5	13. 7	%	目標値	14. 2	14. 7	15. 3	15. 8	16. 3
							実績値	13. 7				
達成度評価	リサイクル率は13. 7%となり、目標値を下回りました。											
B												

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	有価資源回収団体活動奨励事業	資源の再利用等を促進する市民運動を育成するとともに、ごみの減量を推進することを目的に、市に届け出ている団体が集団回収を実施した場合、回収量に応じて奨励金を交付しました。 【令和6年度実績】 集団回収による資源ごみ収集量 3,164 t	12,658	4・2・1	環境部 清掃管理課
継続	ごみ問題対策・市民啓発事業	ごみ出しマナーの向上を図るとともに、ごみの減量化・リサイクルを進めるため、各家庭へ「清掃ごよみ」の配布のほか、小学4年生を対象とした「ジュニア版ハンドブック」を作成し、ごみの減量化・資源化に係る意識啓発を図りました。 【令和6年度実績】 ・清掃ごよみ配布数 114,361枚 ・ジュニア版ハンドブック配布数 2,317部	12,699	4・2・1	環境部 清掃管理課
継続	生ごみリサイクル推進事業	家庭から排出される生ごみを減量・堆肥化する処理機等を購入するかにに対し、購入費の一部を助成することにより、処理機の普及を促し、生ごみの排出量の減量化を図りました。 また、助成対象者に対するアンケート調査を行い、結果を公表することで市民の生ごみ処理機購入のきっかけを作り、生ごみ減量に対する意識高揚を図りました。 【令和6年度実績】 生ごみ処理機等購入助成金申請件数 21件	188	4・2・1	環境部 清掃管理課

基本政策	第3章	まちをデザインする
政策	第6節	脱炭素・循環型社会の実現
施策	第3項	廃棄物の適正処理の確保



前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向		現状値				R6	R7	R8	R9	R10
廃棄物処理施設などの適合率	立入検査において、適正処理を確認できた廃棄物処理業者や事業用施設の割合	+	R5	92.6	%	目標値	93.6	94.6	95.6	96.6	97.6			
						実績値	94.4							
達成度評価	廃棄物処理施設などの適合率は94.4%となり、目標値を上回りました。													
A														
前期基本計画の目標指標		指標の説明		方向		現状値				R6	R7	R8	R9	R10
市民などからの不法投棄通報件数	市民などの通報により不法投棄を確認し、対応した件数	－	R5	39	件	目標値	36	33	30	27	24			
						実績値	47							
達成度評価	市民などからの不法投棄通報件数は47件となり、目標値に達しませんでした。													
B														

(単位：千円)

区分	事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	産業廃棄物適正処理指導事業	産業廃棄物の適正な処理を確保するため、処理業者や排出事業者のほか、最終処分場や焼却施設などに対して立入検査を実施し、法に規定する処理基準を遵守するよう指導しました。 【令和6年度実績】 産業廃棄物処理業者の立入検査合格率 100%	2,940	4・2・1	環境部 廃棄物対策課
継続	不法投棄防止対策事業（一般廃棄物）	一般廃棄物の不法投棄防止対策として、市職員による山間部等の監視パトロール、監視カメラや警告看板の設置などを行いました。 通報・パトロールにより不法投棄等が発見された際には、現地調査を実施し、必要に応じた指導等の対応により、現場の原状回復に努めました。 【令和6年度実績】 ○市民などからの不法投棄通報件数 47件	2,246	4・2・1	環境部 廃棄物対策課
継続	不法投棄防止対策事業（産業廃棄物）	産業廃棄物の不法投棄防止対策として、市職員による山間部等の監視パトロール、監視カメラや警告看板の設置などを行いました。 また、建設資材廃棄物の引渡完了に関する報告や、産業廃棄物を一定規模以上の保管場所で保管する場合の届出を受け、保管基準等を遵守するよう指導しました。 【令和6年度実績】 産業廃棄物の不法投棄発生（確認）件数 0件	1,335	4・2・1	環境部 廃棄物対策課
新規	青森市清掃工場火災対策整備事業	青森市清掃工場の破碎選別処理施設の再稼働に向け、リチウムイオン電池等の危険性を踏まえた火災対策整備工事を実施しました。	1,109,350	4・2・1	環境部 清掃管理課
継続	分別収集推進事業	循環型社会の構築を図るため、資源ごみを分別収集し、リサイクルするための中間処理を行いました。回収された資源物は、売却あるいは再商品化事業者に引き渡し、限りある資源を有効に活用しました。 【令和6年度実績】 ・資源ごみの収集量 6,382t ・資源ごみの再資源化量 6,042t	409,008	4・2・1	環境部 清掃管理課
継続	清掃工場運営管理事業（施設運営）	一般廃棄物を処理するため、青森市清掃工場の効率的な運営・維持管理を行いました。	548,872	4・2・1	環境部 清掃管理課

政策を実現するために

- 1 人材確保・育成と職場環境の整備による組織力向
- 2 行財政改革による行政の進化
- 3 健全な財政運営
- 4 積極的な情報発信・市民の声を市政に反映
- 5 SDGsの理念を踏まえた各種施策の展開

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
1 人材確保・育成と職場環境の整備による組織力向上					
継続	職員採用試験に係る事務	必要な人材を確保するため、職員採用試験を実施しました。また、首都圏等からのU・Iターンによる人材の更なる確保等を目指し、第一次試験を東京都内でも実施しました。 さらに、多様な人材を確保するため、他都市の試験内容等を調査・研究し、令和7年度から順次、試験方法や試験日程を見直し、実施していくこととしました。 【令和6年度実績】 ・採用試験 6回実施（うち東京会場 1回実施）	2,634	2・1・1	総務部 人事課
継続	職員表彰事務	主体的かつ積極的に挑戦する人材の育成と褒める組織風土を醸成するため、「チャレンジスピリット表彰」を実施しました。 令和6年度は、様々な業務の功績が評価される体制を構築するため、特別賞の導入及び選考基準の見直し等を行い、業務上特別顕著な功績があった職員を表彰しました。 【令和6年度実績】 ・職員表彰者数 7人（大賞 3名、特別賞 4名） ※令和5年度からオレンジカードのみ選考対象	103	2・1・1	総務部 人事課
2 行財政改革による行政の進化					
拡充	自治体DX推進事業	青森市自治体DX推進方針に基づき、「市民サービスのデジタル化」、「地域のデジタル化」、「行政のデジタル化」を推進するため、デジタル技術を活用した市民サービスの向上や業務の効率化に取り組みました。 【令和6年度実績】 ・住民異動届や証明書交付等の申請書類の記載を一部省略化できる、マイナンバーカード等読取機器を市民課窓口（駅前庁舎・浪岡庁舎）に導入し、「書かない窓口」の運用を令和6年10月1日に開始しました。 ・ペーパーレス会議システムの導入や幹部職員へのタブレット端末の配備、庁舎内会議室等の一部無線LAN化等により、庁内におけるペーパーレス化を推進しました。	23,842	2・1・1	総務部 情報政策課
新規	スマートシティ推進事業	ICTなどの先端技術を活用し、地域課題の解決やまちの魅力を高めるスマートシティについて、有識者の活用やワーキンググループ等により地域課題の抽出や取り組むべき対策の検討を行いました。 【令和6年度実績】 本市のスマートシティ推進に関する分野横断の指針である「青森市スマートシティビジョン」の策定	1,298	2・1・4	企画部 企画調整課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
拡充	財務会計DX等推進事業	財務会計業務の効率化、高度化等を図るため、キャッシュレス化、ペーパーレス化、業務自動化等のDXを推進しました。 【令和6年度実績】 クレジットカード決済機能を活用した電子商取引対応や支払業務の集約化の検討を行い、令和7年4月から公共料金の一部にバーチャリングカードによる支払を導入しました。 決算書作成業務等にRPA（ロボティック・プロセス・オートメーションによる業務自動化）を活用しました。 ○導入業務 ・決算書作成支援業務 ・資金管理計画支援業務 ・支払遅延防止リマインド業務	1,551	2・1・1	会計課
拡充	固定資産税賦課事務	固定資産（土地・家屋・償却資産）の評価及び課税を行っています。 新たに新旧航空写真の比較判読業務の委託を行い、土地の地目変更、新築・滅失家屋等の異動状況確認作業の効率化を図りました。 【令和6年度実績】 市内を5地区に分け、令和6年度は東部方面（合浦公園から東側）地区の現況調査を実施しました。	85,791	2・2・1	税務部 資産税課
継続	テレワークシステム運営事業	多様で柔軟な働き方の1つとして、市職員がテレワーク（在宅勤務、モバイルワーク）を実施しました。 【令和6年度実績】 ・テレワーク実施日数 1,783日	22,182	2・1・1	総務部 人事課
継続	コンビニ交付システム運用管理事務	全国のコンビニ等でマイナンバーカードを使用して市役所の窓口営業時間外にも住民票等の各種証明書を取得できるコンビニ交付サービスを提供しました。 【令和6年度実績】 ○サービス対象証明書及び発行件数 ・住民票の写し 30,232件 ・印鑑登録証明書 22,687件 ・各種税証明書（所得、課税、所得・課税証明書）6,883件 ・戸籍証明書（全部、個人事項証明書）7,590件 ・戸籍の附票の写し 840件	31,875	2・1・1 2・3・1	総務部 情報政策課 市民部 市民課
3 健全な財政運営					
継続	まちづくり寄附制度推進事業	寄附によるまちづくりへの参画が実感できる制度として「青森市ふるさと応援寄附制度」（ふるさと納税）を推進するため、1つのふるさと納税ポータルサイトを追加し（計10サイト）、本市の魅力を全国にPRしました。 【令和6年度実績】 ・寄附件数 116,471件 ・寄附金額 1,574,225,398円	1,574,226	2・1・1	市民部 市民協働推進課
拡充	企業版ふるさと納税推進事務	本市の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行う「企業版ふるさと納税」を推進しました。 市HPやチラシによる制度周知のほか、ポータルサイトの活用や地元金融機関へのマッチング委託による、当該金融機関が有するネットワークを活用した企業への広報・周知等により、本市の企業版ふるさと納税の利用促進を図りました。 【令和6年度実績】 ・寄附件数 5件 ・寄附金額 2,240,000円	11	2・1・4	企画部 企画調整課

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	納付促進対策事業	全国のコンビニエンスストア（以下、「コンビニ」と記載）等で、休日や夜間を問わずコンビニの営業時間なら、いつでも市税を納めることができるコンビニ納付のほか、スマートフォンを利用した市税納付ができるサービスを提供し、納付しやすい環境づくりに取り組みました。 【令和6年度実績】 ○市税（普通徴収分） ・コンビニによる 納付件数：255,965件 ・インターネットバンキングによる 納付件数：626件 ・クレジットカードによる 納付件数：6,499件 ・電子マネーによる 納付件数：21,162件 ・ダイレクト納付、ペイジーによる 納付件数：3,261件 ○水道料金等 ・コンビニによる 納付件数：197,948件 ・スマートフォンを利用した電子マネーによる 納付件数：36,319件	36,883	2・2・2 国保 1・2・1 水道 収益的 支出 1・1・7	税務部 納税支援課 国保医療年金課 水道部 営業課
4 積極的な情報発信・市民の声を市政に反映					
拡充	広報あおもり発行事業	より魅力的で読みやすい広報紙とするため、紙面制作に係る業務を外注化し、全面フルカラー（タブロイド判 基本24ページ）にリニューアルしました。 月1回の発行へ見直したものの、情報量は変わらずに、市民の皆様に最新の情報をいち早くお届けし、事務の効率化と経費削減も図ることができました。 【令和6年度実績】 発行回数 12回	70,689	2・1・2	企画部 広報広聴課
継続	あおもり未来ミーティング事業	市民ニーズや地域の課題を把握し、市政運営の参考とするとともに、みんなで未来を育てるまちに向けてみんなで対話を深めるため、直接対話形式とワークショップ形式による「あおもり未来ミーティング」を開催しました。 【令和6年度実績】 ○直接対話形式 ・開催回数…12回 ・参加人数…156人 ○ワークショップ形式 ・開催テーマ…「青森市のスマートシティを考えよう～便利で快適な10年後の青森市～」 ・「みんなで未来を育てるまちに」 ・開催回数…計3回 ・参加人数…66人	109	2・1・2	企画部 広報広聴課
継続	SNS等情報発信事業	若い世代に本市の魅力を知ってもらい、興味を抱いてもらうための広報プロモーションを実施しました。 YouTubeやInstagramを積極的に活用し、市政に関する情報や市内でのイベントなど、本市ならではの魅力を発信しました。 【令和6年度実績】 ○市公式YouTubeチャンネル登録者数 ・R6.3.31時点 6,232人 ・R7.3.31時点 9,837人 (+3,605人) ○市公式Instagramフォロワー数 ・R6.3.31時点 5,574人 ・R7.3.31時点 6,321人 (+747人)	4,540	2・1・2	企画部 広報広聴課